

## 在外事業に必要な経費

### 京都支部

1. 京都支部

### 海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. ブダペスト日本文化センター
19. モスクワ日本文化センター
20. カイロ日本文化センター

※ベトナム日本文化交流センターの事業費については「日本語普及事業に必要な経費／日本語事業費／1. 日本語企画調整費／  
(4) ベトナム日本文化交流センター」(147ページ) 参照

京都支部

京都支部

合計額 19,478,535 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング2008	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2008.08.11	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇分野の日本研究専門家や学生を対象として、京都芸術センターが毎年夏に行っている日本の伝統芸能集中講座。3週間にわたる集中的な稽古指導を受けた参加者たちが、その成果を市民に披露する発表会を京都支部が京都芸術センターと共催で実施。
2	国際交流のタペー能と狂言の会	京都市	京都観世会館	財団法人 片山家能楽・京舞保存財団 社団法人 京都観世会	2008.10.24	京都をはじめとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、関西の各国総領事館員等）に、日本の伝統文化にふれてもらう機会を提供することを目的として、毎年秋に開催。1974年から実施し、2008年度で第35回目。演目は、狂言/大蔵流 茂山 千五郎「濯ぎ川」、能/観世流 片山 清司「葵上 梓之出 空之祈」

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	2008年度 第1回フェローセミナー	京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館	2008.06.14	国際交流基金フェローのGalyna SHEVTSOVA（ガリーナ・シェフツォバ：ウクライナ/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「ウクライナと日本の木造建築の系譜と共通点」
4	2008年度 第2回フェローセミナー	京都市	財団法人京都府国際センター	財団法人京都府国際センター	2008.07.02	国際交流基金フェローのJohn BREEN（ジョン・ブリーン：英国/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「近江・日吉大社山王祭」
5	2008年度 第3回フェローセミナー	京都市	京都精華大学交流センター	京都精華大学	2008.07.11	国際交流基金フェローのChomnard SETISARN（チョムナード・シティサン：タイ/2007年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「闘牛とクモ合戦にみる日本人の動物遊戯の文化」
6	2008年度 第4回フェローセミナー	京都市	アーバネックス御池ビル東館2階		2008.11.21	国際交流基金フェローのRAKOTOMANANA, S. Ambinintsoa（ラクトマナナ・アンビニンツァ：マダガスカル/2008年度基金フェロー）が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「日本のテレビCMとマダガスカルのテレビCMの比較」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	2008年度 第5回フェローセミナー	京都市	アーバネックス御池ビル東館2階		2008. 11. 25	国際交流基金フェローのMEHDI, Syed Sikander (サイド・シカンダール・メイディ: パキスタン/2007年度基金フェロー) が日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「イスラム社会における平和の構築: 平和博物館の潜在的な役割」

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	外国語字幕付き日本映画上映会	大阪市	財団法人大阪国際交流センター	財団法人大阪国際交流センター	2009. 01. 16 ~ 2009. 03. 20	日本の生活や文化を映画を通して外国人に紹介することを目的として日本の劇映画の名作をシリーズで上映。2009年1月16日に『東京物語』、2月20日に『嫌われ松子の一生』、3月20日に『男はつらいよ望郷篇』を上映。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	国際交流情報コーナー (図書室を含む) 運営	2008. 04. 01 ~ 2008. 12. 19	外国語による日本研究書ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など。2008年12月19日にて閉館。所蔵図書に関しては、国際交流基金本部JFICライブラリー、国際交流基金関西国際センター図書館、京都市国際交流会館図書館、龍谷大学図書館等に移管及び寄贈。

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
10	若者と学ぶ源氏物語とその世界	日本	京都文化創生実行委員会	2008. 06. 01 ~ 2008. 11. 29	大学と地域の連携・交流を図りながら、若者と他世代府市民が、日本が世界に誇る文学作品「源氏物語」とその背景となる社会的・文化的状況に関する理解を深めるために開催。講座/全8回: 2008. 6. 1~9. 28 (会場: 同志社大学、同志社校友会新島会館、平安会館)、シンポジウム/1回: 2008. 10. 12 (会場: 新島会館)、公演/3回: 2008. 11. 28、29 (会場: 京都府立府民ホールアルティ)
11	国際文化フォーラム	日本	財団法人京都府国際センター	2008. 07. 05	日本の国際協力活動を広く一般市民に紹介する催し。(二部構成) 映像、音楽、語りを融合させたパフォーマンスにより幅広い一般市民を対象に国際協力についての理解を深めること、また、活動への参加の契機となりうることを目的として開催。第一部: 地球のステージ「医師の目から見た世界の現実と希望」講師: 桑山紀彦 第二部: パネルディスカッション 各パネラーの国際協力活動について語るとともに、今後の国際協力のあり方についての意見交換。

京都支部

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
12	京都市日中青少年交流 京都市少年合唱団・杭州市愛楽天使合唱団交流演奏会	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2008.07.30	日中の青少年交流を目的とし、杭州市より愛楽天使合唱団50名を招いて、京都市少年合唱団との合唱交流会を開催。2008年「日中青少年友好交流年」認定事業。
13	第60回毎日書道展関西展外国人作品解説会	日本	財団法人 毎日書道会関西支部	2008.08.09	書の国際化の流れを受け、2008年8月6日～8月10日に開催する第60回毎日書道展関西展において、8月9日に外国人を対象として英語を交えた作品解説会を開催。関西在住の外国人留学生、研究者等が、日本の伝統文化の一つである書を理解する一助とすることを目的に実施。
14	第3回『チェロ&ピアノ デュオリ サイタル京都公演』	日本	京都国際交流フォーラム	2008.09.07	京都市・パリ市との姉妹都市50周年を記念して、パリ在住の音楽家夫妻を招へいし、両市の文化的な交流を深めるために開催。
15	2008京都国際文化協会エッセーコンテスト《私の見た日本》	日本	財団法人京都国際文化協会	2008.09.28	日本に在住する外国籍の人々から、日本やその文化、社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対比、あるいは経験に基づいたエッセーを国際交流団体や大学、専門学校を通じて全国から募集。多様な環境にある人々からの応募に対応するため、エッセーは日本語の部と英語の部に分けて実施。優秀作品の作者6名を京都に招き、登壇発表とフォーラムを行って表彰し、一般参加者との交流を深める。
16	嶋田しづ展 一漂えど沈まずー	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2008.10.01 ～ 2008.10.26	第15回井上靖文化賞の受賞者である嶋田しづの京都初展。女子美術大学を卒業し、早稲田大学文学部芸術科にて會津八一（東洋美術史）に私淑する。以降パリにて20年に渡る活動実績を持つ。国内外で高く評価された画家「嶋田しづ」の軌跡を辿る展覧会。
17	京に舞ふ 日韓伝統芸能の真髄	日本	韓国伝統舞研究会京都支部	2008.10.07	源氏物語千年紀を機会に日本と韓国の伝統芸術を通して日韓親善を行うことを目的に実施。韓国の伝統舞とともに源氏物語にちなんだ創作を上演。また能の観世流シテ方、片山清司による源氏物語の演目もあわせて上演。
18	京都市国際交流会館2008年度「外国人のための日本語弁論大会」	日本	京都市 国際化推進室	2008.11.22	世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年行っている事業。本年度で22回目。「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催。
19	第9回LAMP展	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2008.12.12 ～ 2008.12.25	「富者の万灯より貧者の一灯」をモットーとし活動を行う京都藝際交流協会の通年の企画展。灯りをテーマに照明作家、画家、彫刻家等、様々なジャンルの作家作品を紹介。平和や希望を主題とした作品を展示。展覧会の収益の一部はアフガン難民支援基金として中村哲のベシヤワール会へ送金。今回は軍港としての歴史を持つ舞鶴市まいづる智恵蔵との共同開催。

京都支部

	事業名	実施国	主催機関	期間	事業内容
20	第6回書と非書の際	日本	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	2009.01.09 ～ 2009.01.18	「書と絵画の違い」を探る企画展覧会の第6弾。故中村二柄先生の呼びかけで始まった展覧会。墨から生まれる造形の面白さから、文学芸術、絵画的表現へとひろがり、様々な反響が寄せられている。既成概念にとらわれず、再度『書く（描く）こと』を展覧会形式で検証。会期中作家によるワークショップを開催。NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴との共催、巡回展実施。
21	国際理解講座 '09 変貌する東ヨーロッパ	日本	財団法人京都府国際センター	2009.02.07 ～ 2009.02.28	国際化に関する分野の第一線で活躍している大学教授や専門家などを招いて、最新の世界情勢や国際関係、地域の国際化に関わる問題について分かり易く解説する講座を実施。2/7(土)「東欧へ拡大するEU」講師：須藤眞志（京都産業大学教授）、2/14（土）「プラハから来た大和撫子～和敬静寂に魅せられて～」講師：ナデジダ・ウィリアムス（裏千家淡交会チェコ協会会員）、2/21（土）「ブルガリアの市場経済移行～市民生活を中心に～」講師：ディミター・ヤルナゾフ（京都大学経済学部専任講師）、2/28（土）「ポーランドの文化～アイデンティティとその行方～」講師：タデウシュ・オジュグ（有限会社ニッポ代表取締役）
22	きょうと北部21世紀セミナー（国際情勢講演会）	日本	財団法人京都府国際センター	2009.03.08	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図る。講演会テーマ「世界遺産と文化交流」、講師：門司健次郎（外務省広報文化交流部長）、対談：白幡洋三郎（国際日本文化研究センター教授）ほか、コーディネーター：須藤眞志（京都産業大学教授）

ローマ日本文化会館

合計額 122,892,002 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ふりかえる人形 大野初子 作品展	ローマ、 ヴェネチア	ローマ日本文化会館、 ヴェネチア大学		2008.05.29 ~ 2008.06.28	アンジェイ・ワイダ監督が「立体浮世 絵」と表現した、大野初子による繊細 さと表情や姿などのしなやかさを追求 した作品約30点を紹介。キュレーター は森美可
2	北陸の伝統工芸・現代ガラ ス展	ローマ	ローマ日本文化会館	富山市、イセ文化基金	2008.10.11 ~ 2008.11.21	人間国宝等著名作家の作品を含む工芸 作品56点・ガラス工芸作品21点を展示 北陸の高い美意識と洗練された感性に 支えられた工芸、そこから生まれた新 たな現代ガラス工芸等、日本の優れた 地域文化の魅力を紹介
3	日本の現代書道展（平安か な書道レクチャーデモン ストレーション関連イベント）	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.12.05 ~ 2009.01.16	ローマ日本文化会館所蔵作品の展覧 会。本年度は源氏物語千年紀である ことから、高木厚人（大東文化大学教 授）の平安かな書道の掛け軸作品2巻 および色紙10枚も展示。12月4日オープ ニング当日は同氏による平安かなレク チャー・デモンストレーションを開催
4	東京・江戸展	ローマ	ローマ日本文化会館、 ヒルトンホテル	東京都	2009.01.21 ~ 2009.02.02	2016年東京オリンピック招致に向けた PRパネルや、東京観光名所の写真展を 展示。広重の浮世絵を通じた江戸の町 並みから、世界にそのテクノロジーや 機能性を誇る現代東京の写真を対比さ せ、江戸から東京へと伝わる文化の流 れを豊富なヴィジュアル素材を用いて 紹介
5	篠田桃紅展	ローマ、ミ ラノ	ローマ日本文化会館、 ミラノトリエンナーレ	伊日財団	2009.02.07 ~ 2009.03.03	墨を用いた独特の造形で知られる篠田 桃紅の絵画作品を、イタリア収集家の 個人コレクションを中心に展示（海外 展助成事業）

【公演】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	自然の声 II 邦楽コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館、 ローマ日本人学校		2008.04.23	前年度の邦楽コンサート『自然の声』 に引き続いて行なわれた、尺八と三弦 のコンサート 尺八は 田嶋謙一、三 弦・唄は菊央雄司
7	つるとかめ・坂田明 コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.06.10	祭りや日本舞踊で使われる日本の民謡 を、津軽三味線・津軽民謡のユニット 「つるとかめ」が演奏。特別ゲストと してサクソ奏者の坂田明も参加。 唄・津軽三味線は澤田勝秋、唄・太鼓は 木津茂理（海外公演助成事業）
8	ピアノ・バイオリンデュオ コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館、 マルチェッロ劇場	テンピエット国際音楽 祭	2008.06.20	意欲的な演奏活動により、多くの受賞 歴をもち、国際的に活躍するヴァディ ム・チジク氏（バイオリン）と船越清 佳氏（ピアノ）が日本と西洋の音楽を 演奏
9	Jazz From Japan ジャズ コンサート XUXU	ローマ	ローマ日本文化会館	全日空	2008.06.24	2001年に結成された、4人の日本人女性 から成るアカペラグループXUXU(しゅ しゅ)による、高度なヴォイス・パ フォーマンス
10	ジャズグループ・サルガ ヴォ コンサート	ローマ	サン・ロレンツォロー マの夏ジャズフェス ティバル、カーサ・デ ル・ジャズ		2008.09.05 ~ 2008.09.06	ジャズグループ・サルガヴォによる ジャズ演奏会（海外公演助成事業）
11	狂言と現代詩による源氏 物語	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.09.16	源氏物語をテーマに活動してきたパ フォーマンス・ユニット「chori/童 司」が、千年の昔と現代の時間を超え て織り成される男女の恋を表現。詩の 朗読（chori）と狂言（茂山童司）の 融合するユニークな舞台
12	いちひめ雅楽会公演	ローマ、 フィレン ツェ、ラ ヴェンナ	ローマ日本文化会館、 サント・ステファノ・ デル・ポンテ、アリギ エリ劇場		2008.11.10	ローマ音楽財団の「カリオペ・プロ ジェクト」の一環として実施した雅楽 公演。ローマ・ラ・サピエンツァ大学 にて雅楽についてのシンポジウムも開催 ローマ公演では雅楽のレパートリーに 加えて、武満徹作曲の「秋庭歌」も演 奏（海外公演助成事業）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	サキタハジメのこぎり音楽コンサート	ローマ、フィレンツェ	ローマ日本文化会館、サンステファノ教会		2008.11.17	独学でのこぎり演奏を習得し、アメリカ・サンタクルズで開催されたミュージカルソウ・フェスティバル（のこぎり音楽世界大会）で2度優勝したサキタハジメ氏と、ピアノの山下憲治氏のコンサート
14	森山開次・津村禮次郎ダンス公演	ローマ	グレコ劇場		2008.12.03	コンテンポラリーダンサー森山開次と観世流能楽師津村禮次郎による「OKINA」等の上演
15	尺八・箏コンサート	ローマ、モデナ、サンマリノ	ローマ日本文化会館、サピエンツァ大学東洋学部、バルアルド・デッラ・チッタデッラ、ティターノ劇場		2009.02.25	尺八と箏による演奏会。楽器の歴史や音の特徴についての説明を交えながら、邦楽の魅力を伝える企画。尺八は米澤浩、箏は熊沢栄利子

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	笠井勲舞踏ドキュメンタリー上映・シンポジウム	ローマ	ローマ日本文化会館、フリオ・カミッロ劇場	国際舞踏フェスティバル「Trasform' azioni 08」	2008.06.03	日本を代表する舞踏家の笠井勲とジャーナリストで演劇史専門のマリア・ピア・ドラツィが、ジャーナリストで舞踏批評家のロッセツラ・バッティステイの進行で対談。併せてイタリアでは初上映となるドキュメンタリー映画を上映。イタリア人写真家2名による舞踏写真展示も同時に実施
17	マッドハウス アニメ特集 映画上映会および講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.10.07 ~ 2008.10.28	アニメ制作で知られるMad Houseの丸山正雄と小島正幸監督による講演会。併せて同社の代表的な作品『ユニコ』『東京ゴッドファーザーズ』『パブリカ』『ピアノの森』を4週にわたって上映。講演会のモデレーターはフューチャー・フィルム・フェスティバルのルカ・デッラ・カーサ（Mad House丸山・小島は、国際交流基金日本研究・知的交流部主管アニメーション専門家派遣事業での派遣）
18	狂言レクチャーデモンストレーション	ローマ、アクアペンデンテ、ボルセーナ	ローマ日本文化会館、ボニ劇場、聖フランチェスコ劇場		2008.11.24	小笠原匡（和泉流狂言師）が、狂言の起源について解説し、その技術や表現方法についてデモンストレーションを交えて紹介



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	書道レクチャーデモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館		2008. 12. 04	源氏物語千年紀関連事業。高木厚人（大東文化大学教授）による平安かなレクチャー・デモンストレーション。同時にローマ日本文化会館所蔵作品による展覧会も開催
20	源氏物語レクチャー・リーディング	ローマ	ローマ日本文化会館		2008. 12. 11	源氏物語を翻訳中のマリア・テレーザ・オルシ（ローマ・ラ・サピエンツァ大学教授）による源氏物語の本質とその魅力についての講演。また、片桐弥生（静岡文化芸術大学教授）による源氏物語絵巻の映像に合わせ、俳優のステファニア・ミケリスが一節を朗読。
21	源氏物語絵巻講演会	ローマ、フィレンツェ	ローマ日本文化会館、ガビネット・ビッサー	ガビネット・ビッサー	2009. 02. 20	源氏物語千年紀関連事業の一環として、四辻秀紀（徳川美術館副館長）による源氏物語絵巻及び源氏絵の由来とその美術史的意義、さらに現代日本のアニメーション文化との関連についてのレクチャーを実施。日立デジタルイメージシステム社の協力を得て、五島美術館所蔵の源氏物語絵巻のデジタル復元製品の展示も実施
22	現代日本文学講演シリーズ	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 03. 06 ～ 2009. 03. 16	第一線で活躍している日本の近・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による講演。第1回は「森鷗外と日本の古典の世界」をテーマに、マティルデ・マストランジェロ（サピエンツァ・ローマ大学）が講演、第2回は村上春樹、よしもとばななの翻訳で知られるナポリ東洋大学のジョルジョ・アミトラノが「マンガ時代の日本文学」をテーマに講演
23	香道デモンストレーション 源氏物語と香	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 03. 09	茶道・華道とならぶ三道の1つとされている香道のデモンストレーション。源氏千年紀にちなみ宗家三條西堯水が源氏物語と香の関係について解説

## 【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	「エキセントリック ビジョン」日本映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	ミネルバ ラロビデオ出版グループ	2008.02.12 ~ 2008.04.08	平成19年度からの継続事業。ラロビデオ社の協力により実施した日本映画上映会。北野武、吉田喜重、小津安二郎等の作品11本を上映。20年度は溝口健二『歌麿をめぐる五人の女』、野村芳太郎『事件』を上映。映画評論家・ローマ第三大学教授アドリアーノ・アブラ教授によるトークも実施
25	新着映画特集	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.05.06 ~ 2008.05.27	ローマ日本文化会館主管フィルムライブラリーに新たに加わった『春の雪』（行定勲監督）、『HINOKIO』（秋山貴彦監督）『パッチギ！』（井筒和幸監督）のほか、本部所蔵の『ベアテの贈りもの』（藤原智子監督）を上映。『ベアテの贈りもの』の上映にあわせ、ローマ・ラ・サピエンツァ大学ダニエーラ・デ・パルマ教授が日本国憲法と日本の女性の社会的立場や法的権利について講演し、上映後には、栗崎（製作委員会）及び石橋（イタリア語字幕翻訳者）によるティーチインを実施

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本語講座運営	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、II、土I、II、III）、中・上級コースを開講
27	日本語会話会	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ在住の日本語学習者のために、在住日本人と日本語で日伊の文化について語り合う機会を設定。本年度は4、11、1、3月に実施
28	欧州日本語教師研修	コルマル（フランス）	アルザス日本学研究所	アルザス日本学研究所	2008.06.30 ~ 2008.07.12	アルザス日本学研究所（フランス）で行なわれた欧州の日本語教師研修会に日本語教師を派遣
29	ロンバルディア州高等学校日本語教育セミナー	ミラノ	ロンバルディア州ミラノ県中等教育監理監督局		2009.02.04 ~ 2009.03.31	ロンバルディア州で行なわれている、高校での日本語教育を支援するため、教師向けセミナーを実施

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
30	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ローマ日本文化会館図書館は、イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う。日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実も目指す。インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指す。蔵書数は、日本語 20,093冊、外国語 13,102冊、視聴覚資料 1,735 登録会員数 6,014名、来館者数 4,747名

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
31	事業案内	2008.04.01 ~ 2009.03.31	会館事業を紹介するプログラム（事業案内）を年3回、各回3,000部を発行
32	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	会館案内ウェブサイトの運営管理 URL: <a href="http://www.jfroma.it/">http://www.jfroma.it/</a>
33	年報	2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成19年度の会館事業を総括する年報を作成

## 【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	川喜多かしこ生誕100周年記念日本映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	川喜多かしこ記念財団	2008.01.08 ~ 2008.03.19	川喜多記念映画文化財団が選ぶ日本の代表的映画監督の作品21本を上映。関連企画としてマルコ・ミュラーによる講演会も実施。日本映画の素晴らしさを世界に知らしめるために尽力した、川喜多かしこおよび和子の足跡を紹介し、海外における日本映画の受容の歴史についても紹介（本部主催事業）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	日本の現代写真 1970年代から今日まで - 同時代へのまなざし	ローマ	ローマ日本文化会館		2008.04.04 ~ 2008.05.17	23人の写真家による60年代末から70年代以降の作品76点を展示(巡回展)
36	邦楽巡回公演	ローマ、パレッタ(マルタ)	ローマ日本文化会館、フェニキアホテル・ホール	マルタ日本友好協会	2008.10.24	市川慎、山野安珠美(箏)、田野村聡(尺八)による邦楽コンサート

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
37	HIGAN 2008	彼岸文化協会	2008.05.06 ~ 2008.06.02	座禅に関する会議等、総合的な日本文化紹介イベント
38	日本の日「こどもの日」	ローマ子供博物館	2008.05.10	こどもの日にちなんで、日本文化・日本社会を紹介するイベント
39	世界のざわめき	Museo Laboratorio di Arte Contemporanea, Università di Roma La Sapienza	2008.06.03 ~ 2008.06.27	Silvia Stuckyによる日本の写真とビデオの展覧会
40	写真展「ディアリオ・ジャポネーゼ(日本日記)」	伊日財団	2008.06.18 ~ 2008.07.31	Andrea Quattriniによる日本の写真展
41	TANABATA	あじさい交流会	2008.07.12	日本人画家タメイ・ユウコが参加する他、総合的に日本を紹介するイベント
42	第8回国際盆栽・水石会議	Crespi盆栽協会	2008.09.12 ~ 2008.09.21	盆栽と水石に関する第8回国際会議
43	道場から家族、社会へ	Yoshokan	2008.09.19 ~ 2008.09.21	武士、空手についての会議他日本紹介イベント
44	第12回欧州日本研究学会	サレント大学	2008.09.20 ~ 2008.09.23	第12回欧州日本研究学会
45	日本の精神、書道	楊心流	2008.09.24 ~ 2008.09.28	書道展および会議、ワークショップを実施
46	BCI-IBS 2008	Collegio Nazionale Istruttori del Bonsai e del Suiseki	2008.09.24 ~ 2008.09.28	盆栽と水石に関する会議
47	木版画の展覧会	シンバレン文化協会	2008.10.17 ~ 2009.01.09	浮世絵の展覧会
48	セカンドライフ	ローマ第三大学	2008.10.09	セカンドライフ：ヴァーチャルリアリティを題した国際会議

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
49	源氏物語展	ヴェネチア東洋美術館	2008. 09. 11 ~ 2008. 11. 09	ヴェネチア東洋美術館所蔵のコレクションによる源氏物語の展覧会
50	東アジアのアイディンティティ：東洋と西洋の境の日本	カタールニア大学	2008. 11. 24	東アジアのアイディンティティ：東洋と西洋の境の日本と題した会議
51	琳派と広重-ガラスアート展	琳派と広重展実行委員会	2008. 11. 28 ~ 2009. 10. 25	ガラス作家黒木国昭が琳派と広重の感性をガラスで表現した作品による展覧会
52	第11回フューチャーフィルムフェスティバル	フューチャー・フィルム・フェスティバル	2009. 01. 27 ~ 2009. 02. 01	第11回フューチャーフィルムフェスティバルにおける中川信夫監督特集
53	桃の節句祭り	いろは協会	2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 16	ひな祭りの機会にコンサート、会議等総合的に日本を紹介するイベント
54	山中千尋公演	フリーフロムジャズ・プロダクション	2009. 03. 27	ジャズミュージシャン山中千尋によるコンサート
55	Karate	FIKTA協会	2009. 03. 31 ~ 2010. 12. 31	空手の写真コンクール

【会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
56	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会、裏千家ローマ出張所	2008. 05. 29	イタリア俳句友の会及び裏千家ローマ出張所による第22回俳句賞授賞式。イタリア国内でイタリア語による俳句を公募し、優秀作品を式典にて発表

ケルン日本文化会館

合計額 136,623,114 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	京都の庭園展	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.04.11 ~ 2008.05.30	ケルン日本文化会館所蔵巡回展「京都の庭園展」をドイツお披露目として当館で開催。
2	対話展「Raum und」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.11 ~ 2008.07.31	日本とドイツの新進アーティストが共通のテーマで展覧会を開催する対話展。平成20年度第1回はKeiko KoanaとAnette Hurstによる空間をテーマにした展覧会。
3	日本のこども60年	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.09.12 ~ 2008.10.31	基金海外巡回展。子どもの日常をとらえて撮影された写真100点を通じて、戦後から今日に至る60年間の日本社会の変遷を紹介。
4	日独対話展” Zwei Voegel Eine Klappe”	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.11.21 ~ 2009.01.23	ドイツのアーティストJohannes Jensenと日本のアーティストTaka Kagitomiによる対話展。デュオとしてすでに活動実績がある二人のアーティストによる大規模なインスタレーション作品に加えて、ドローイングやオブジェなどを展示。
5	川喜多かしこ生誕100年記念映画祭上映作品ポスター展	ケルン	ケルン日本文化会館	財団法人川喜多記念映画文化財団	2009.02.09 ~ 2009.03.31	川喜多かしこ生誕100年を記念して映画祭を実施し、上映映画作品の貴重なポスターを展示。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	コンサート「Not I, but the wind...」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会、WDR放送局	2008.04.22	日本の現代音楽作曲家6人の作品をドイツのアンサンブルeccoが演奏。
7	コンサート「Folk Song meets Jazz」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.13	澤田勝秋（唄、津軽三味線）と木津茂理（唄、太鼓）によるユニット「つるとかめ」が、ジャズミュージシャン坂田明（唄、サクソ）と共演。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	コンサート「XuXu (しゅしゅ)」	ケルン	ケルン日本文化会館	ANA	2008. 06. 20	女性アカペラグループ「XuXu (しゅしゅ)」。クラシック、ジャズ、ポップスと様々なジャンルの歌を素晴らしいハーモニーで披露。
9	福間洗太郎ピアノリサイタル	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会、Deutschlandfunk放送局	2009. 02. 27	ベルリン在住の福間洗太郎のコンサート。1982年生まれと若手でありながらすでに米国・欧州で活躍中。「ピアノによる武満徹へのオマージュ」と題したコンサートでは、ドビュッシー、メシアン、ケージ、バッハなど武満が影響を受けたとされる作曲家の作品も取り上げた。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	ぬちマースとオオニシ恭子によるヨーロッパ薬膳料理	ケルン	ケルン日本文化会館	JETRO デュッセルドルフ事務所 Coral Tree Okinawa Trade KG 株式会社ぬちマース	2008. 06. 06	ぬちマース (命の塩) とオオニシ恭子によるヨーロッパ薬膳料理。高安正勝 (ぬちマース社長) が製造法等について講演し、ヨーロッパ薬膳を発展させた料理研究家オオニシ恭子がぬちマースを利用した料理について講演、その後実演を披露。
11	アニメーションを作ろう	ケルン	ケルン日本文化会館	スタジオきんぎょ	2008. 07. 23 ~ 2008. 07. 31	アニメーションスタジオ「スタジオきんぎょ」のツジシンヤを招待し講演会およびワークショップを開催。7月23日から25日は子供向け、7月28日から31日は一般向けワークショップ。制作された作品は7月31日に上映。
12	シンポジウム「高齢者の再出発 - 高齢期をどうデザインするか：日独比較」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学人文学部 教育研究所 デュッセルドルフ大学 現代日本研究科 Toyota Deutschland GmbH	2008. 11. 21 ~ 2008. 11. 22	高齢化が著しいスピードで進む日本とドイツをさまざまな切り口で比較するシンポジウム。ケルン、デュッセルドルフ両大学ほかとの共催。高齢者が積極的に社会参加し、充実した高齢期を送るための様々な論点や方策について、両国の学者が議論。さらに高齢者のネットワーク活動など実際の例を実践団体自らが紹介。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	アニメと失われた子供時代： 1945年以降の日本の家族危機の鏡としてのアニメーション映画」	ケルン	ケルン日本文化会館	ボン大学	2008. 10. 22	ボン大学日本学科のツェルナー (Zoellner) 教授を講師に迎えた「日本の子供60年展」関連企画。1945年以降根本的に変化した日本の家族像と子供たちが失なったものをテーマに、宮崎駿、高畑勲らがアニメーション映画の中でどのような視点から子供たちを捉えているかを考察。
14	大江健三郎朗読会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館、フィッシャー出版社	2008. 11. 04	著書「さようなら、私の本よ！」のドイツ語訳出版を機に、ノーベル賞作家大江健三郎を迎えての朗読会。
15	武者小路千家若宗匠千宗屋講演会「日本文化における茶道について」	ケルン	ケルン日本文化会館	武者小路千家	2008. 11. 25	武者小路千家の若宗匠であり日本美術史家でもある千宗屋が、日本文化における茶道について講演。ベルリン・アジア美術館とケルン日本文化会館にて講演会及びデモンストレーションを実施。
16	岡田利規講演会「私にとっての演劇と小説の違い」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008. 11. 28	岡田利規（劇作家・小説家）が、自分の作品づくりについて講演。演劇と小説という異なる分野での作品創作における独自の的方法論、アプローチやそのアウトプットについて、映像資料なども用いて語った。
17	伊藤比呂美朗読会	ケルン、トリアー、フランクフルト・アム・マイン、ライプチヒ、ベルリン	ケルン日本文化会館	ベルリン日独センター	2009. 01. 12 ~ 2009. 01. 16	米国カリフォルニア州を拠点に活動する作家伊藤比呂美の作品から、「カノコ殺し」、「とげぬき」等を朗読。司会は、日地谷・キルシュネライト（ベルリン自由大学教授）。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	五所平之助特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2008. 03. 03 ~ 2008. 06. 30	五所平之助監督24作品の特集上映。
19	天野喜孝特集	ケルン	ケルン日本文化会館	Amano Yoshitaka, Yoshi Camui, Office Art Cologne Galerie Michael Janssen ケルン見本市会社	2008. 04. 18	2008年4月16日から20日までケルンで開催される国際アートフェア「ART COLOGNE」の特別企画で天野喜孝の作品が展示される。日本文化会館ではケルンメッセとの協力で天野のフィルム3点を紹介。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	アートアニメ上映会	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.07.10 ~ 2008.07.28	たむらしげる、村田朋泰、伊東存、青木陵子、東芋、様々なジャンルで活躍するアーティストによる珍しいアニメ映像作品を上映。
21	バルトの楽園	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン独日協会	2008.07.11	第一次世界大戦中の徳島県鳴門市の板東俘虜収容所が舞台で、収容所所長・松江豊寿の活躍や、俘虜となったドイツ兵と地元の住民の交流などを描いた作品を上映。
22	ドキュメンタリー映画特集 「小川紳介・土本典昭・原一男監督特集」	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.10.02 ~ 2008.12.22	日本のドキュメンタリー映画を代表する3名の監督の特集上映。60年代後半から90年代までの日本社会の記録ともいうべき映像作品を紹介。
23	フラガールズ	ケルン	ケルン日本文化会館	Koeln Comedy Film Festival	2008.10.17	ケルンコメディ主催、ケルン日本文化会館共催の特別映画上映会。常盤ハワイアンセンターの誕生を支えた人々の笑い感動の物語。日本アカデミー賞など数々の賞を受賞。李相日監督作品。
24	川喜多かしこ生誕100年記念映画祭	ケルン	ケルン日本文化会館	財団法人川喜多記念映画文化財団、国立フィルムセンター	2009.01.05 ~ 2009.03.05	川喜多かしこ生誕100年を記念し、川喜多賞を受賞した映画監督の24作品を上映。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	日本語講座	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級～上級まで9レベル11クラス（半期制）の講座を開講。
26	Expedition Colonia	ケルン	ケルン日本文化会館	Expedition Colonia	2008.03.28 ~ 2008.04.11	毎年4月に開催される「Expedition Colonia（ケルン市探検フェスティバル）」に今年も参加。事前に申込みのあった参加者に折り紙と日本の歌を紹介。

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
27	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ケルン日本文化会館図書館は、日本に興味のある人々すべてに日本に関する情報を提供している。その目的は、ドイツ語圏における日本文化の理解及び日本語学習者や日本学研究者の拡大と支援であり、日本の伝統文化から現代社会事情まで日本全般に渡る資料（主に日本語、ドイツ語、英語）を収集し利用に供している。 蔵書数：20,979冊 視聴覚資料数：7,394点 会員数：4,641名 来館者数：3,408名

## 【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	KulturSonntag in Koeln	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.06.01	ケルン市の「文化事業に触れる日曜日」と題したこの行事、今回は1960年から1970年代にかけて建てられた建築物を訪問する企画。1969年建造の日本文化会館もその対象になり、館内設備および図書館が紹介された。

## 【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	ケルン市美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.11.01 ~ 2008.11.02	ケルン市およびKoelner Stadt Revueの主催で開催され、40以上の施設が参加する「ケルン市美術館の長い夜」に参加。21時と23時に日本のバンド「たそがれワールド」が演奏、1時にはツジシンのアニメが上映された。

## 【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日本のこども60年展	ケルン	ケルン日本文化会館		2008.09.12 ~ 2008.10.31	子どもの日常をとらえて撮影された写真100点を通じて、戦後から今日に至る60年間の日本社会の変遷を紹介する。国際交流基金の海外巡回展。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
31	Eriko Nagai展	Handwerkskammer fuer Muenchen und Oberbayern	2008.06.13 ~ 2008.07.26	ミュンヘン在住のジュエリーデザイナー、永井えりこの作品展示会。このほか独日の陶芸家の作品も展示。
32	ハイデルベルク大学日独通訳ゼミ	ハイデルベルク大学日本学科、ベルリン日独センター	2008.09.11 ~ 2008.09.20	通訳の基礎を理論、方法論の両面から学ぶ10日間の集中ゼミ。
33	Masao Yamamoto展 "Kawa"	Galerie la-condition-japonaise, Berlin	2008.10.03 ~ 2008.11.02	アメリカでも活躍中の日本人写真家山本昌男の個展。
34	Experimenta Folklore	Frankfurter Kunstverein	2008.12.12 ~ 2009.03.01	民族性（フォークロア）と音楽をテーマに、各国の作家20名を紹介。日本からは島袋道浩がサンパウロなどで制作したビデオ作品を紹介。
35	Asia Hot Shots 映画祭	asian hot shots berlin	2009.01.13 ~ 2009.01.18	アジアの映画、ビデオアートを紹介する映画フェスティバル。
36	PICTOPIA 展	ベルリン世界文化の家	2009.03.03 ~ 2009.05.03	ゲームやアニメなどのポップカルチャーに関わる展覧会及びシンポジウムの開催。

パリ 日本文化会館

合計額 564,290,072 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	『現代日本建築展1996-2006 《パラレル・ニッポン》』	パリ	パリ 日本文化会館	日本建築学会	2008.04.16 ~ 2008.06.21	日本建築学会の協力を得て、過去10年（1996年～2006年）に日本の地で竣工した建築と、日本人が海外で実現させた建築を対象として、安藤忠雄、伊東豊雄、隈研吾、妹島和世、坂茂などの110作品を選び、日本の社会文化状況と対比させながら、写真や模型の展示を通じて紹介。
2	『富岡製糸場とフランス』 展	パリ	パリ 日本文化会館	富岡市	2008.09.30 ~ 2008.10.04	ユネスコ世界文化遺産の暫定リストに載った群馬県富岡市にある富岡製糸場にまつわる錦絵複製や写真を展示、日本の近代化の過程における同製糸場とフランスとの関係への理解を深める。
3	『WA-現代日本のデザインと 調和の精神』展	パリ	パリ 日本文化会館		2008.10.22 ~ 2009.01.31	本部主催展。日本のプロダクトデザインのさまざまなフィールドから優れたデザイン161点を選び出して紹介し、現代日本デザインのダイナミックな動きとその背景となる事象を展観。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	能オペラ『隅田川』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.03 ~ 2008.04.05	吉田進作曲による仏政府委嘱作品能・オペラ『隅田川』。観世元雅の古典「隅田川」を下敷きに、好評だったカンパール、ナント、レンヌ、アンジェでの公演に続き、パリでの初公演となる。ミッシェル・ロスタン演出、カレン・ヴィエルバ（ソプラノ）、アルマンド・ノゲラ（バリトン）、パーカッショングループ《リゾーム》が音楽を担当。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	現代演劇『EXCHANGE』	パリ	パリ日本文化会館	指輪ホテル	2008.04.17 ~ 2008.04.19	日本の演劇シーンで異彩を放つ、指輪ホテルの新作「EXCHANGE」。「交換 (EXCHANGE)」をテーマに、言葉、記憶、コンタクト、ムーブメントが錯綜する「イメージの洪水」が、舞台上で繰り広げられた。
6	水曜のミニ・コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2008.04.23 ~ 2009.03.31	在仏日本人音楽家による定期コンサート。2年前より実施。広いジャンルにわたって (クラシック、ジャズ、ロック、邦楽) 在仏のアーティストに発表の機会を与えると同時に、手ごろな値段で定期的なコンサートを提供することで会館の会員や近隣住民へのコンサートの定着を狙う。
7	コンテンポラリーダンス『彩-巡る季節の中で』	パリ	パリ日本文化会館	カンパニー・フォレスト・ビーツ	2008.05.15 ~ 2008.05.16	フランスで活躍する日本人ダンサー、竹井豊率いる「カンパニー・フォレスト・ビーツ」によるダンス公演。「四季」をテーマに、自然と人間のふれあいを創造性豊かなコンテンポラリーダンスを通して模索した。
8	コンサート『みやざき・えみことヴォチェ・ヴェント』	パリ	パリ日本文化会館		2008.06.07	在仏の音楽家 みやざき・みえこの琴演奏とコルシカのボーカルグループ、ヴォチェ・ヴェントのコラボレーション。コルシカのハーモニーに乗せて奏でられる日本のメロディーが、新たな世界へと誘うコンサート。
9	コンサート『HALCALI』	パリ	パリ日本文化会館	ハルカリ	2008.06.20 ~ 2008.06.21	若い世代を中心に圧倒的な支持を集める女性ラップデュオ「HALCALI」のパリでは2回目となるコンサート (日本文化会館で初。現代の若者が親しみ易い歌詞に合わせたメロディーで歌われるラップは、「脱力ラップ」との異名も。
10	狂言『茂山家狂言公演』	パリ	パリ日本文化会館	ARTA 茂山家	2008.07.01 ~ 2008.07.03	茂山家によるパリ狂言公演。今回は『伯母ケ酒』『棒縛り』の二曲を公演。狂言の魅力を現代に伝えるべく、精力的に活躍する茂山家は公演の度に新たな観客層を掘り起こしている。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	JAZZ IN JAPAN 08	パリ	パリ 日本文化会館		2008.09.25 ~ 2008.09.27	5年以上続く会館のジャズ・フェスティバルの2008年企画。今年もジャズ評論家の草分け、副島輝人をアーティストック・ディレクターに迎え、知られざる日本のジャズシーンを伝えるようなユニットを紹介する。今回はSalle Gaveau、今田勝トリオ、大友良英トリオの3組のコンサートを実施。
12	クラシック・コンサート (工藤重典、Clement Dufour)	パリ	パリ 日本文化会館	ヤマハ・フランス	2008.10.10	エコール・ノルマル音楽院教授で世界的にも有名なフルート奏者工藤重典とフランスのフルート奏者クレモン・デュフルの競演。日仏コラボレーションでクラシック界を印象付けるほか、ヤマハとも協力して実施した。
13	J-Danse 08『翁』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.11.28 ~ 2008.11.29	日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。今回はコンテンポラリーダンスと伝統舞踊の融合というテーマで日本のダンス新世代を代表する森山開示と能楽の津村禮次郎のコラボレーション作品を紹介。
14	J-Danse 08『鬼』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.12.05 ~ 2008.12.06	日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。今回はコンテンポラリーダンスと伝統舞踊の融合というテーマで、舞踏の大門四郎と鼓の大倉正之助のコラボレーション作品を紹介。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本企業における社会貢献活動に関するシンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.10	CSRは持続可能な社会を目指すために企業も責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念であるが、国によってその考え方やアプローチの仕方には相違がある。同シンポジウムでは、日仏のパネリストを招き、CSRに関してディスカッションを実施。
16	レクチャー・デモンストラーション『日本文化としての将棋』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.12	文化庁文化交流使としてパリに派遣された本間博による将棋に関する講演会。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：味噌』	パリ	パリ 日本文化会館	Miyasaka Brewery Co., Ltd. 味の素ヨーロッパ	2008.04.18	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
18	第3回小山裕久デモンストレーション&講演会『日本の食文化を探る』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.05.22 ~ 2008.05.24	平成19年度に引き続き小山裕久を迎え、聴衆に日本の食文化の素晴らしさと奥深さを理解して貰う。シリーズ制とし、5月、11月、2月に各1回、計年3回実施する。
19	シンポジウム『日本の現代建築を考える』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.05.31	4月16日から開催のパラレルニッポン展に合わせ、日本の建築に関する講演会を実施。
20	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：醤油』	パリ	パリ 日本文化会館	キッコーマン・ヨーロッパ 味の素ヨーロッパ	2008.06.13	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
21	『日本酒利き酒会』	パリ	パリ 日本文化会館	日本八壺会	2008.06.19	老舗蔵元の若手が結成した八壺会の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナー。プレス対象試飲会も継続して実施。
22	日仏海洋学シンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館	日仏海洋学会	2008.09.12	日仏海洋学会及び日仏海洋学会のイニシアティブの下、パリ日本文化会館大ホールにて「人と海の関係をめぐる考察」をテーマに社会学的、環境学的等様々なアプローチで人と海の関係について日仏パネリスト6名が意見交換。
23	第4回小山裕久デモンストレーション&講演会『日本の食文化を探る』	パリ	パリ 日本文化会館		2008.09.18 ~ 2008.09.20	平成19年度に引き続き小山裕久を迎え、聴衆に日本の食文化の素晴らしさと奥深さを理解して貰う。シリーズ制とし、5月、11月、2月に各1回、計年3回実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	食文化シリーズ『家庭で作る和食の基本の味付け：米酢』	パリ	パリ日本文化会館	味の素ヨーロッパ	2008. 10. 10	2007年10月に味の素との協力の下、「和食入門」デモンストレーションを実施し、大変好評を得た。その続きとして、「これさえあれば和食ができる」をテーマに、毎回取り上げる食品を替え、多様な和食レシピを紹介。他の企業からも協賛を得た。
25	レクチャー・デモンストレーション『武道・武士道・サムライ2008』	パリ	パリ日本文化会館		2008. 10. 28	日本の武道に関する講演会及びデモンストレーションを実施。基調講演として在仏大使館の飯村大使（当時）が武道に関する歴史や哲学を講演し剣術、合気道、拳法のデモンストレーションを順番に実施。
26	ギメ美術館『金毘羅展』関連シンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	金刀比羅宮展実行委員会	2008. 10. 30	2008年10月15日～12月8日までギメ美術館で開催の「金刀比羅宮展」に併せ、当館でシンポジウムを開催。モデレーターは同展監修者である高階秀爾、ほか日仏パネリスト6名が参加。
27	基金元フェロー懇親会	パリ	パリ日本文化会館		2008. 10. 31	国際交流基金元フェローの懇親会。日本研究、文化人の元フェロー及び関係者22名が参加。館内開催中の展覧会見学と懇親会を行った。
28	虎屋主催・和菓子デモンストレーション&講演会	パリ	パリ日本文化会館	株式会社虎屋	2008. 11. 13 ～ 2008. 11. 15	和菓子の老舗虎屋の協力を得て、パリ日本文化会館で和菓子のデモンストレーションと講演会を実施。テーマは「和菓子と日本の四季」。虎屋の職人による和菓子デモンストレーションを2日間厨房で実施し、最終日は大ホールで虎屋文庫の学芸員が講演。
29	志野流香道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	株式会社松栄堂	2008. 11. 20 ～ 2008. 11. 22	2006年に引続き松栄堂との共催で香道デモンストレーションを実施。同社の畑社長による組香の説明、蜂谷若宗匠によるデモンストレーションを行う。会場の参加者も組香ゲームに参加し結果を競い合う。1日3回、計3日間実施。
30	俳句香/子供向け香道・墨絵レクチャー・デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	日本雅藝倶楽部	2008. 12. 05 ～ 2008. 12. 06	俳句を黛まどか（俳人）に、香を日本雅藝倶楽部の講師に依頼し俳句香を実施。また子供向け香道デモンストレーション、書道デモンストレーションも実施。対象年齢は8-14、15歳。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	「フランスにおける日本研究の現状と展望」シンポジウム	パリ	パリ 日本文化会館	大学都市日本館	2008. 12. 06	大学都市日本館で2008年の1年間をかけて行った、在フランス日本研究者9人による全9回の講演会シリーズを総括するシンポジウム。参加者は、ヨーロッパ日本研究学会会長及びフランスの日本研究者5人。 フランスにおける日本研究の歴史と近年の研究の潮流、今後の課題を討議。フランスにおける日本学の伝統とは何か、国際的な日本研究に対して発信できるもの、アジアへの関心が高まる中での「日本学」の位置づけの変化などを討議。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	ドキュメンタリー特集上映会	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 05. 31 ~ 2008. 06. 21	「原爆の傷跡」「河村勇樹監督特集」「ツヒノスミカ」「大衆演劇の世界」4種のドキュメンタリー映画を上映。
33	日本映画回顧：松竹の歴史	パリ	パリ 日本文化会館	アミアン映画祭	2008. 09. 09 ~ 2008. 10. 04	日本映画の歴史を作った大手映画会社6社の1つである松竹の歴史を、無声時代から現代まで各時代を彩った名作23作品を上映して全体的に紹介する特集。平成19年度に実施した「日活の歴史」特集から始めた日本映画史回顧シリーズの第2弾。
34	外国文化週間・オーソン・ウェルズ「マクベス」と黒澤明「蜘蛛巣城」の比較上映	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 09. 27	オーソン・ウェルズ「マクベス」と黒澤明「蜘蛛巣城」の比較上映を実施。
35	黒澤明没後10周年記念小特集	パリ	パリ 日本文化会館		2008. 10. 24 ~ 2008. 10. 28	「一番美しく」、「明日を創る人々」等、フランスでは未公開の初期映画を加え、プリントの現地調達が可能なお作品を上映。
36	第3回KINOTAYO映画祭	パリ	パリ 日本文化会館	KINOTAYO映画祭事務局	2008. 11. 18 ~ 2008. 11. 22	2007年または2008年に製作された作品を中心に紹介し、日本の現在を肌で感じさせるという理念に基づいて開催されるKINOTAYO映画祭との、3回目の共催事業。日仏交流150周年記念の主要事業の1つ。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	現代映画小特集	パリ	パリ 日本文化会館		2009.01.17 ~ 2009.03.28	2000年代に日仏で制作された映画の中から話題の作品を紹介。フランス人研究者による関連トーク等も実施。
38	ビデオクリップSHOW by PROTOCLIP	パリ	パリ 日本文化会館	PROTOCLIP	2009.03.13 ~ 2009.03.14	ビデオクリップの国際フェスティバル PROTOCLIPによる、日本を題材とした作品集の上映会を実施。ビデオクリップの作り方ワークショップもあわせて実施。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	折り箱教室	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.01 ~ 2009.03.31	平成19年度秋期から実施している折り箱教室。講師はパリ日本文化会館で書道講師としても協力を得ている大島妙子。
40	茶道デモンストレーション	パリ	パリ 日本文化会館	パリ 裏千家	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の一部を見学した後、参加者も実際に体験。毎週水曜日。
41	茶道入門教室	パリ	パリ 日本文化会館	パリ 裏千家	2008.04.02 ~ 2009.03.31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を学ぶ。每期2カ月、2コース。
42	書道教室	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.03 ~ 2009.03.31	漢字を基本とした指導を行い、書を通じた日本文化に触れてもらう。毎週木曜日、各期10回。
43	囲碁教室	パリ	パリ 日本文化会館	財団法人日本棋院、フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ	2008.04.05 ~ 2009.03.31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力で継続している囲碁教室。毎週土曜日、各期10回。
44	MANGA入門講座	パリ	パリ 日本文化会館		2008.04.05 ~ 2009.03.31	14歳から受講可、最大20名クラス。3時間授業で全8回。イラストの描き方やストーリーボードの作り方など、漫画の基礎を学習する漫画入門講座。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
45	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	イケバナ・インターナショナル	2008.04.08 ～ 2009.03.31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験。毎期初めに館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする。火・木曜日、各流派各期6回。
46	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2008.04.09 ～ 2009.03.31	平成18年度秋期以降開催し、好評を得ている子供向け・大人向け折り紙教室。講師は折り紙アーティストとしてフランスの各地で活躍しているエリック・ジョワゼル。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
47	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム(チュニジア)	カルタゴ	アクロポリウム・カルタージュ	在チュニジア大使館第14回カルタゴ音楽祭実行委員会	2008.10.23 ～ 2008.10.26	在チュニジア大使館の要望により、「第14回カルタゴ音楽祭」へ邦人ピアニストを派遣。同音楽祭にてリサイタルを実施。
48	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム(アルジェリア)	アルジェ	アルジェ国立劇場	在アルジェリア大使館アルジェリア国立交響楽団	2009.03.10 ～ 2009.03.19	在アルジェリア大使館の要望により、同国国立交響楽団へ邦人指揮者およびバイオリニストを派遣し、演奏指導およびコンサートを実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
49	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。 (1) 所蔵資料数(2009.03.31現在) 図書資料 24,181冊 視聴覚資料 2,418点。 (2) 入館者数：13,231名 会員数：167名。 (3) 貸し出し数：3,826点 (図書資料 2,418冊、視聴覚資料 1,743点) (4) レファレンス件数：4,152件 (5) 「図書館便り」(各1,500部を年3回、累計4,500部を作成・配布)

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
50	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	パリ日本文化会館の施設案内、事業紹介、イベント告知、実施報告等を掲載。 URL: <a href="http://www.mc.jp.fr/">http://www.mc.jp.fr/</a>

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
51	PAJ : The Diver	Soho Theatre	2007.10.01 ~ 2008.07.19	野田秀樹がアイルランド出身の作家・演出家Colin Teevanと源氏物語をベースにした舞台作品を共同制作。2008年7月にロンドン公演、9月に東京にて公演。
52	PAJ : Exchange European Tour, Spring 2008	Chapter(Cardiff)Ltd.	2008.03.24 ~ 2008.04.20	指輪ホテルの新作Exchangeの3カ国巡回公演。カーディフでは現地のアーティストと7日間のワークショップを開催。国際交流基金はパリを除く3都市での公演のみ助成。
53	PAJ : Free Time, Air-Conditioner	Associazione med Kunstenfestival des arts	2008.05.17 ~ 2008.06.08	岡田利規の新作Free TimeのKunsten Festival(ブリュッセル) およびWiener Festwochen(ウイーン)での公演。Uovo performing arts festival(ミラノ)ではAir-Conditionerを上演。
54	PAJ : A Flight of songs -Europe Tour May 2008 -	GMKonzerte	2008.05.21 ~ 2008.05.25	谷川俊太郎の詩にスイス人作曲家ワルター・ギーガーがつけた曲を、河村典子(ヴァイオリン)、白土文雄(コントラバス)、荒牧小百合(ソプラノ)が演奏し、谷川俊太郎自身も朗詩を行い3カ国を巡回するコンサートツアー。
55	PAJ : Zensor	Public Art Lab / Weigner & Pop GbR	2008.05.21 ~ 2008.05.30	メディアパフォーマンス・アーティスト山川冬樹、藤本隆行、飯名尚人、真鍋大度と、ヨーロッパのダンサー、デザイナー、DJ、ミュージシャンら約20人が、ワークショップを通してメディアテクノロジーパフォーマンスを共同制作。ベルリンにて公演。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
56	PAJ : Sonore Komponent Scandinavian Tour 2008	Jaapan Sarl	2008.05.22 ~ 2008.05.28	DJ・電子音楽家の永田一直 (Organization)やCarre、Jon the dog、Busratchによる北歐3都市ツアー。
57	PAJ : Andersens European Tour	Switchico Records	2008.06.28 ~ 2008.07.20	東京を拠点に活動する小野崎清一を中心としたグループAndersensが12都市、3カ国で14日間の公演を行うコンサートツアー。
58	PAJ : Ohayo, Japan! 2008	Lindenfels Westflugel	2008.07.01 ~ 2008.11.30	舞踏カンパニー金沢舞踏館、百鬼どんどろ、劇団解体社メンバー等、総勢8グループのアーティストがコンテンポラリーダンスフェスティバルOhayô! , Japan! 2008 (ライブツイヒ)をはじめ、各地フェスティバル (ドレスデン、ポーfum) 等で公演。
59	PAJ : Toujours plus a l'Est	centre national de danse contemporaine	2008.09.22 ~ 2009.04.30	舞踏ダンサー笠井叡、室伏鴻がCentre National de Danse Contemporaineにてそれぞれ2カ月、2週間のワークショップを実施。

ソウル日本文化センター

合計額 186,667,175 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	北斎・広重、浮世絵の中の風景画展	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.06.04 ~ 2008.07.04	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵（葛飾北斎作「富岳三十六景」、歌川広重作「東海道五拾三次」）を73点展示
2	浮世絵で見る川辺風景展	ソウル	ソウル歴史博物館清溪川文化館	ソウル歴史博物館清溪川文化館	2008.06.10 ~ 2008.08.31	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵のうち、川辺風景を描いた作品57点を清溪川文化館にて展示
3	19世紀日本彩色木版画-浮世絵展	全州	全羅北道道庁企画展示室	全羅北道道立美術館	2008.09.16 ~ 2008.10.10	19世紀後半の印象派画家たちに及ぼした影響を再考するため、全羅北道道民を対象に江戸時代の浮世絵を紹介。ソウル日本文化センター所蔵作品約70点を展示
4	永井 一正グラフィックポスター展	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.24 ~ 2008.11.01	日本のグラフィック・デザイナーを紹介するシリーズ。田中一光、福田繁雄、中村誠、横尾忠則に続いて、永井一正の動物画を展示。オープニングでは、「永井一正の作品世界」と題して片岸昭二（富山県立近代美術館学芸員）とジョン・ビョンギョ（韓国視覚情報デザイン協会会長）による講演会も実施
5	韓日Cartoon Match展 & 読売国際漫画大会受賞作特別展	ソウル	ソウル日本文化センター	韓国Cartoon協会 韓日Cartoon Match展 準備委員会	2008.11.11 ~ 2008.11.28	韓国と日本で活躍中の作家10人によるCartoon展。Cartoon公募大会として世界的に有名な読売漫画展で受賞経歴のある作家たちの作品を紹介
6	ロッテギャラリー大田店新年特別展示-日本伝統文化の象徴-浮世絵の世界展	大田	ロッテギャラリー大田店	ロッテギャラリー大田店	2009.01.08 ~ 2009.02.04	日本の伝統美術を世界に知らせる機会となった浮世絵の展示を通して、大田および忠清南道地域の住民に日本の伝統文化と美術を紹介
7	カズマサ・ショック展	ソウル	ロッテアートギャラリー	韓国ロッテ・ショッピング株式会社	2009.03.13 ~ 2009.04.01	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター100点を用いて日本のグラフィックデザインを紹介

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	日韓若手音楽家交流コンサート	ソウル	聖公会教会大聖堂、ヨンサン・アートホール	日韓若手音楽家交流委員会	2008.08.27	スイスのバロック音楽学校で学ぶ日韓の若手音楽家による演奏会をそれぞれの母国である韓国と日本で開催。14時より聖公会大聖堂で学生向けに無料公演（主催）、19時30分よりヨンサン・アートホールで有料公演（後援）を実施。8月29日から9月1日にかけては日本でも開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	第2回国際交流基金ボラナビ 著作・翻訳賞	ソウル	教保文庫本社	教保文庫 大山文化財団	2009.03.29 ~ 2009.03.31	日本に関する著述・翻訳活動を行っている韓国の若手・中堅の著述家および翻訳家を支援する顕彰事業。今回は現代日本小説の翻訳家を対象とし、吉田修一の『悪人』『ひなた』を翻訳した李英美が授賞。吉田修一も出席し、サイン会、記者発表、授賞式、作品朗読会など多彩なイベントを開催。日韓マスコミが多数の記事を掲載

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本映画上映会（日本学入門）	ソウル	ソウル日本文化センター	延世大学校国際学大学院	2008.04.11	延世大学校国際学大学院で日本学入門を受講している学生を対象に、日本の多様な姿を理解してもらうため、図書館案内と映画『ゆきゆきて、神軍』を使った授業を実施
11	JF未公開日本映画上映会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.14 ~ 2008.04.18	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーから、『警察日記』、『土と兵隊』、『紅の流れ星』、『山びこ学校』、『邂逅』の5作品を上映
12	日本アンダーグラウンド映画傑作選『ゆきゆきて、神軍』特別無料上映会	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.04.23	ソウル日本文化センター所蔵の『ゆきゆきて、神軍』を上映。上映後は日本のドキュメンタリー監督の特徴およびドキュメンタリーの美学についてジョン・ヨンジュ（映画監督）と観客とのシネトークを開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	日本映画の集い	安養	ソウル日本文化センター	安養知識産業振興院	2008.04.25	延世大学校政治外交学部同期入学者の定期的な同窓会にて、ソウル日本文化センター所蔵『海女のリャンさん』を上映。同作品を通じて「日韓文化意識の差異」について討論
14	極東大学校日本映画上映会	陰城	極東大学校観光館	極東大学校社会福祉学科	2008.04.28 ~ 2008.04.29	2008年7月からの長期老人療養保険制度導入に合わせて、老人性の病気である「認知症」をより身近な問題として理解するため、ソウル日本文化センター所蔵の『花いちもんめ』上映会を実施
15	Invest KOREA Movie Night 「5月家庭の月」日本映画上映会	ソウル	Invest Korea Plaza	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）	2008.05.27	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）が所有する施設を活用し、地域住民を対象にソウル日本文化センター所蔵の、日本アカデミー賞13部門受賞作『Always 三丁目の夕日』を上映
16	祥明大学校日本映画上映会	ソウル	祥明大学校人文社会学部	祥明大学校日語教育学科	2008.05.27 ~ 2008.05.29	祥明大学校の学園祭に合わせて日本映画上映会を実施。上映作は『長靴をはいた猫』、『クラブ進駐軍』、『風音』、『わたしのグランパ』の4作品
17	江南大学校日本映画上映会	龍仁	江南大学校シャロム館	江南大学校シルバー産業学部	2008.06.05	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
18	韓国痴呆家族協会日本映画上映会①	ソウル、水原	ソウル市立中溪老人福祉館、水原三一ホール、松坡老人福祉館	韓国痴呆家族協会	2008.06.19 ~ 2008.06.26	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
19	韓国痴呆家族協会日本映画上映会②	ソウル	ハンアルム福祉館、龍頭山協会	韓国痴呆家族協会	2008.07.11 ~ 2008.07.25	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	「2008シネバカンス・ソウル」日本映画傑作定期無料上映会	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.07.21 ~ 2008.08.11	日本映画の新黄金期にあたる1960年代の傑作の中から同時期の代表作『拳銃は俺のパスポート』、『砂の女』を上映
21	韓国痴呆家族協会日本映画上映会③	蔚山	慶熙医療院、蔚山中区保健所、蔚山広域市老人福祉館、蔚山マダス病院ゴダンホール	韓国痴呆家族協会	2008.08.10 ~ 2008.08.18	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
22	韓国痴呆家族協会日本映画上映会④	ソウル、木浦	ソウル大学、チョダン大学、木浦大学、木浦カトリック大学、国立木浦病院、ソウル市立西部老人専門療養センター	韓国痴呆家族協会	2008.09.02 ~ 2008.09.23	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
23	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会①	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2008.09.22 ~ 2008.12.22	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルム・ライブラリーを毎月1回無料上映。上映作は『飢餓海峡』、『日本侠客伝』、『大殺人』、『紅の流れ星』の4作品
24	『海女のリャンさん』日本映画上映会	済州	済州海女博物館	済州海女博物館	2008.10.01 ~ 2008.12.31	毎週土曜日に主に近隣の高校生を対象に『海女のリャンさん』上映会を開催。海女社会や在日コリアンたちの生き方を通じて日本文化理解を促進
25	祖国近代化を遊覧-京釜高速道路から大阪'70万博まで	ソウル	韓国映像資料院シネマテック (KOFA)	韓国映像資料院	2008.10.16 ~ 2008.10.26	映像を通じて60年代から70年代の産業近代化に光を当てる企画として、大阪で開催された万国博覧会を色濃く反映している映画『家族』を上映
26	小栗康平監督企画展	ソウル	アートハウス・モモ	白頭大幹映画社	2008.11.06 ~ 2008.11.12	小栗康平監督企画展と題して、今まで公開された映画『泥の河』、『伽耶子のために』、『死の棘』、『眠る男』、『埋もれ木』5作品を上映。付帯行事として、韓国のイ・チャンドン（監督）やアン・ソンギ（俳優）との対談を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	韓国痴呆家族協会日本映画上映会⑤	ソウル	麻浦区痴呆支援センター	韓国痴呆家族協会	2008.11.24 ～ 2008.11.25	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
28	私たちはいつも青春－日本映画上映会	ソウル	東大門区庁講堂	東大門区痴呆支援センター	2008.12.11	認知症高齢者や家族そして認知症高齢者を取り巻く社会問題を理解する機会を提供するため、ソウル日本文化センター所蔵の『花いちもんめ』を上映
29	痴呆サポーターズ養成教育－日本映画上映会	ソウル	松坡老人総合福祉館、麻浦区庁大講堂	韓国痴呆家族協会	2008.12.11 ～ 2008.12.12	痴呆サポーターズ養成教育の一環として『折り梅』を上映。痴呆に対する認識改善およびネットワークを構築し、お互いが助け合う地域社会を模索
30	Invest KOREA Movie Night 年末日本映画上映会	ソウル	Invest Korea Plaza (IKP)	KOTRA (大韓貿易投資振興公社)	2008.12.22	KOTRA (大韓貿易投資振興公社) 所有のIKPプラザを活用し、地域住民を対象にソウル日本文化センター所蔵の『私のグランパ』を上映
31	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会②	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.01.12 ～ 2009.03.16	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルム・ライブラリーを毎月1回無料上映。上映作は『につつまれて』、『かたつもり』、『13人の刺客』、『八月の濡れた砂』の4作品
32	JF日本映画特別展	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.02.16 ～ 2009.02.27	ソウル日本文化センターが所蔵する、フィルム・ライブラリーを用いて、家族、子どもを対象とした日本映画上映会を実施
33	市立仁川短期大学日本映画無料上映会	仁川	市立仁川短期大学	市立仁川短期大学日語科	2009.03.09 ～ 2009.03.30	地方大学と共催し、ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から『十三人の刺客』『ながつ三銃士』『長靴をはいた猫－80日間の世界一周』を上映
34	韓国痴呆家族協会日本映画上映会⑥	咸平	咸平エキスポ内上映館、草堂大学校、イルロ第一教会、エデン院大講堂	韓国痴呆家族協会	2009.03.10 ～ 2009.03.12	認知症高齢者やその家族、そして認知症高齢者を取り巻く社会問題について理解する機会を提供し、高齢者の健康増進および療養保護サービス分野における介護のあり方を模索するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映

【日本語教育】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	平成20年度前期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.03.03 ~ 2008.05.26	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳A、翻訳B、日本文化、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文、聴解
36	ウェブサイト連載企画	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級を修了した頃から難しいと感じる日本語の表現を月2回1つずつ取り上げ、例文を中心に使い方を解説するコーナー「今すぐ使える日本語」と、授業中に短い時間でできる日本事情クイズとその解説からなるコーナー「一口文化クイズ」をウェブサイトに掲載
37	留学生ボランティア派遣プログラム	ソウル、京畿道、仁川	ソウル、京畿道、仁川の高校および中学校		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウルに日本から留学している日本語ネイティブ留学生を、ソウル首都圏の中学・高校にボランティアとして派遣し、日本語教師と一緒に授業を実施。20人のボランティアを15校に延べ300回派遣
38	日本語教師サロン	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップ。日本語教授法に関して、教材および授業内容等について講義
39	釜山在勤日本語教育専門家事業	釜山、蔚山、大邱、慶尚北道、慶尚南道	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会等	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会等	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教師対象日本語講座（年間のべ6クラス、各クラス全30時間）を開講したほか、地方教師会等への出講、各種日本語学習者奨励事業（日本語コンテストなど）への協力活動等を実施
40	日本語教育研究講座平成20年度前期中学・高校日本語教師研修コース	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.16 ~ 2008.06.18	中学校・高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全11回（総30時間）実施
41	日本語教師チームティーチング情報交換会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.07.22	韓国の外国語学校でチームティーチングを実施しているネイティブ教師と韓国人教師のネットワーク形成のための情報交換会を開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	夏季中等日本語教師集中研修（釜山）	釜山	釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 釜山韓日文化交流協会	2008.07.28 ～ 2008.08.01	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
43	夏季中等日本語教師集中研修（ソウル）	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.08.04 ～ 2008.08.08	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
44	平成20年度後期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.01 ～ 2008.11.21	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳A、翻訳B、日本文化、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文、聴解
45	全国学生日本語演劇発表大会	ソウル	在韓国大使館公報文化院	韓国三井物産株式会社 韓国日本語教育研究会 在韓国大使館公報文化院	2008.09.06	中等教育日本語学習者の学習意欲向上のため、日本語演劇発表大会を開催。参加校は約90校
46	日本語教育研究講座平成20年度後期中学・高校日本語教師研修コース	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.10.08 ～ 2008.12.10	中学校・高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全11回（総30時間）実施
47	中等日本語教師集中研修プログラム5（釜山）	釜山	釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館、釜山韓日文化交流協会	2009.01.05 ～ 2009.01.09	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	中等日本語教師集中研修プログラム5（ソウル）	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.01.12 ～ 2009.01.16	「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」、「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」、「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした教授法中心の集中研修を1日6時間計30時間実施
49	平成21年度前期日本語講座	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.03.02 ～ 2009.05.26	一般学習者向けに9コース、週2コマ（総コマ数各20コマ）を開講。開講コースは、翻訳、対話技術1、対話技術2、テーマ討論1、テーマ討論2、作文1、作文2、聴解、待遇表現

【図書館運営】			
	事業名	期間	事業内容
50	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	蔵書合計：19,416点（書籍13,325点、雑誌62種・1,894点、その他661点、ビデオ・DVD・CD等視聴覚資料3,536点）、会員数：11,361名（2009年3月31日現在）
【出版・広報】			
	事業名	期間	事業内容
51	ニューズレター作成・発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インターネット上で韓国の日本語学習者を対象としたニューズレター『カチの声』を配信。8月分の第19号より改編し、ソウル日本文化センターのニューズレターと統合する形で月1回発行
52	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウル日本文化センターを紹介するウェブサイトを運営管理。ウェブサイトは事業案内、特集記事、連載企画等で構成。主な使用言語は韓国語で、一部は日本語と英語でも掲載 URL: <a href="http://www.jpfc.or.kr/">http://www.jpfc.or.kr/</a>
53	連合ニュース有料ニュース配信	2008.08.13 ~ 2009.08.12	広報強化を目的として「連合ニュース」を通じてマスコミ各社に情報を配信するサービスに加入
54	ニュースアドカムによるオンライン広報	2008.09.04 ~ 2009.09.03	広報強化を目的としてオンライン広報代理業者であるニュースアドカム社による報道資料の作成およびマスコミ各社への配信サービスに加入
55	MBC文化放送社ウェブサイト（iMBC）上でのセンター広報	2009.03.05 ~ 2010.03.04	MBC文化放送社のウェブサイトにソウル日本文化センター事業情報提供ページを開設。センター施設や事業案内動画などを含む様々な事業情報を提供

【その他】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
56	海外アドバイザー運営	全羅南北道、光州			2008.04.01 ～ 2008.05.31	全羅南北道、光州市を管轄地域とする海外アドバイザー（池 炯源特別委員）を5月末日まで委嘱
57	日韓交流ネットワーク事業	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本と韓国の交流事業活性化のため、助成プログラムや交流相手など実際の事業実施に必要なさまざまな情報を提供するサイトを、ウェブサイトリニューアルの一部として設置。サイトの管理にあたる臨時職員を雇用
58	聖公会大学校学部生訪問	ソウル	ソウル日本文化センター	聖公会大学校	2008.06.10	聖公会大学校の学部生20名の訪問にあたり、ソウル日本文化センターの紹介、「北斎・広重、浮世絵の中の風景画」展の観覧、文化情報室の見学を実施
59	李 秀賢氏記念韓国青少年招へい事業参加者同窓会	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.07.04	李 秀賢氏記念韓国青少年招へい事業に参加したOB、OGおよび同氏のご両親を招待して同窓会を実施
60	江原道人材開発院研修員訪問	ソウル	ソウル日本文化センター	江原道人材開発院	2008.08.25	江原道人材開発院で研修を受けている公務員19名がセンターを見学。ソウルセンター広報用DVD等によりセンターを紹介、文化情報室を案内
61	瑞逸大学日本語科学生訪問	ソウル	ソウル日本文化センター		2008.09.10	瑞逸大学の日本語科学生90名と教授3名がセンターを見学。ソウルセンター広報用DVD等によりセンターを紹介、文化情報室を案内
62	セムンギル博物館祝祭	ソウル	ソウル歴史博物館等	ソウル歴史博物館	2008.10.09 ～ 2008.10.15	新門通りに所在する博物館等が合同で開催する文化イベント。ソウル日本文化センターも、日本の凧作り体験や永井一正グラフィックポスター展を実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
63	次世代日本専門家ネットワーク月例会	次世代日本専門家ネットワーク	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国民大学校、ソウル大学校、高麗大学校、ソウル市立大学校、韓国外国語大学校の日本研究専攻の大学院生による研究成果と情報を共有するためのネットワーク。2008年度を通して合計6回の月例会に対して助成、会場提供。日本研究分野の教授による講演と参加者による発表・討論を実施
64	2008年春季学術大会「日本近代文学と都市」	韓国日本近代文学会	2008.04.03	文学において最も重要な舞台・背景の一つと言える「都市」をテーマに、作品の中で描かれた都市の重要性、文学との関係性について発表と討論を実施。日本から平野 芳信（山口大学教授）が基調講演者として参加
65	全国女性教授連合会10周年記念国際学会	全国女性教授連合会	2008.06.20	韓国全国の女性教授により組織される連合会の10周年記念学会。日本からは板東真理子（昭和女子大学長）、水田宗子（城西国際大学理事長）、江尻美穂子（日本YWCA元会長）が出席し、「世界女性リーダーの責任とリーダーシップ」をテーマに米国、中国などの参加者とともに講演、討論会を実施
66	2008年韓国日語日文学会夏季学術大会	韓国日語日文学会	2008.06.21	2008年韓国日語日文学会夏季学術大会の基調講演で、日本の脱亜論について、福沢諭吉の朝鮮とのかかわりを中心に飯田泰三（島根大学教授）が発表したほか、日本文学・日本学分野の64の個別発表を実施
67	2008光州ビエンナーレ	財団法人光州ビエンナーレ	2008.09.05 ~ 2008.11.09	単純な展示の枠を越え、議論のための現場と芸術文化を生産するための革新的な交流の場として展示会を開催。世界各国から100名の作品を展示。日本からの作品輸送費を助成



海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
68	コミュニティー・ビジネス 韓日国際フォーラム	希望製作所	2008. 09. 18	「コミュニティー・ビジネス」に関する日本の事例発表、日韓両国の専門家による討論などを通じて、今後「コミュニティー・ビジネス」を韓国において広げるにあたり、必要な要件や示唆点を明示
69	多文化共生政策の日韓比較セミナー	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 09. 23	韓国内に居住する外国人が急増する今日、1990年代以後に政府および地方が進めてきたグローバル化対策を振り返り、今後の新しい改善策について議論
70	新日韓関係パートナーシップ共同宣言10周年記念国際シンポジウム	高麗大学校日本研究センター	2008. 10. 07 ～ 2008. 10. 08	1998年の「日韓関係共同宣言」により日韓関係における新たなビジョンが提示されてから10周年を記念し、日韓両国の学者・言論人・文化人・政界人を中心に、共同宣言の成果と今後の方向性、更に東アジア地域における社会・文化・経済面での共同体構築について議論。テーマは「回想、懸案、ビジョン」
71	2008公演ジャーナリズム・ソウルフォーラム	国際舞踊協会 (CID-UNESCO) 韓国本部	2008. 10. 11 ～ 2008. 10. 14	日本をはじめ世界各国の著名な公演芸術専門ジャーナリストを招き、「今日の舞踊批評の危機」をテーマに意見交換会を開催。ソウル日本文化センターは武藤大祐の旅費を助成
72	2008全南日本語教育研究会教室授業改善事例発表大会	全南日本語教育研究会	2008. 10. 25	全羅南道地域の中等学校の韓国人日本語教師およびネイティブ教師42名が集まり、チームティーチングの問題点を診断し、改善案を模索
73	第6回アジアナ国際短編映画祭	社団法人アジアナ国際短編映画祭	2008. 11. 05 ～ 2008. 11. 10	多様なジャンル、テーマと文化を取り上げた韓国最大の国際短編映画祭。世界30カ国が参加。審査委員長を務めた小栗康平（映画監督）の旅費を助成
74	2008学年度コミュニケーション能力向上のための日本語教師職務研修	韓国教員大学校総合教育研修院	2009. 01. 05 ～ 2009. 01. 09	2001、2002年度に研修を受け、フランス語・ドイツ語の教育免許を有したまま日本語の副専攻免許を取得した中等教師を対象に、日本語運用能力の向上を目的とする5日間の集中研修を実施。教授法授業に日本語教育専門家も派遣

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
75	第12回韓日漫画家年賀状交流展	社団法人韓国漫画家協会 韓国Cartoon協会	2009.02.02 ～ 2009.02.13	日韓の漫画家による年賀状漫画交流展。韓国だけでなく日本の川口市、広島市、別府市でも開催
76	カガクするココロ3-バルカン動物園	トゥサンアートセンター 第12言語演劇スタジオ	2009.03.24 ～ 2009.04.12	日本現代演劇界を代表する平田オリザ(劇作家)の『カガクするココロ』シリーズ作品である『バルカン動物園』を翻訳・上演。平田オリザとのフォーラムや観客との対話も実施

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
77	韓・日・中・ロ Main Artist展	NEMAO(North East Main Artist Organization)	2008.05.19 ～ 2008.05.30	韓国・日本・中国・ロシア4カ国間の持続的な美術文化交流の協力関係の増進を図り、4カ国間の交流システムの構築を目的とした合同展示会。ソウル日本文化センターは後援名義付与および会場提供で協力
78	「焼肉ドラゴン」ソウル公演	芸術の殿堂 新国立劇場	2008.05.20 ～ 2008.05.25	新国立劇場設立10周年と芸術の殿堂設立20周年を記念して制作された日韓共同演劇。焼肉屋を営む家族を中心とした在日コリアンの生活を表現した悲喜劇。ソウル日本文化センターは後援名義を付与し韓国公演の広報に協力
79	第5回釜山広域市大学生日本語弁論大会	釜山外国語大学校ビジネス日本語学部	2008.06.05	釜山外国語大学校と長崎外国語大学が共同主催した釜山の大学生を対象にした日本語弁論大会
80	2008日本留学総合説明会	ライセンス・アカデミー	2008.06.21 ～ 2008.06.22	韓国の学生および一般人を対象に、日本の大学、専門学校、日本語学校等の情報を提供する日本留学説明会を釜山とソウルで開催
81	わが心に映る山	日本山岳写真同人四季	2008.07.10 ～ 2008.07.14	日本山岳写真同人「四季」の40周年記念韓日親善写真展。約55点を展示。ソウル日本文化センターは後援名義付与と施設貸出で協力
82	第1回日本語・日本文化キャンプ	千駄ヶ谷日本語教育研究所	2008.07.23 ～ 2008.07.25	日本に関心のある韓国の若者を対象に日本文化体験および日本語授業を行うプログラム。両国の若者の交流の場になることを目的として日本人学生も参加

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
83	Invest KOREA Concert 2008:BATI-HOLIC OVER THE OCEAN	KOTRA (大韓貿易投資振興公社)	2008. 07. 24	KOTRA (大韓貿易投資振興公社) が所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本伝統の和太鼓公演を実施
84	日韓青少年リコーダー演奏会 in Seoul	ソウルリコーダー音楽教育研究会	2008. 08. 02	韓国青少年リコーダー合奏団と、その定期演奏会に招待された神戸ジュニアリコーダー「wink」との共同演奏会。ソウル日本文化センターは後援名義付与と施設貸出で協力
85	2008年全国中・高等学生日本語競試大会	社団法人韓日協会	2008. 08. 19	中等教育の学生を対象とする韓国で最大規模の弁論大会。後援名義付与のほか、賞状への名義付与、日本語教育専門家を審査員として派遣
86	カガクするココロ2-北限の猿	第12言語演劇スタジオ	2008. 08. 01 ~ 2008. 09. 07	芸術と科学の交流および日本演劇と韓国演劇の交流に寄与するため、日本現代演劇界を代表する平田オリザ(劇作家)のシリーズ作『カガクするココロ』のうち『北限の猿』を翻訳・上演
87	「悔しい女」ソウル公演	劇団展望	2008. 09. 04 ~ 2008. 09. 14	2007年にソウル日本文化センターの助成で開催された「現代日本戯曲リーディング」で題材となった「悔しい女」を公演
88	第8回ソウル国際公演芸術祭	社団法人ソウル国際公演芸術祭	2008. 09. 18 ~ 2008. 10. 19	「衝突と調和、SPAf is SPArk」をモットーに演劇、舞踊、複合ジャンルなど、13カ国39団体の38作品を公演
89	バチ・ホリック大邱公演	啓明大学校	2008. 09. 24	太鼓演奏グループ「バチ・ホリック」による大邱・啓明大学校での公演に協力
90	日本伝統演劇狂言公演・講演	中央大学校韓日文化研究院	2008. 10. 01	日本の舞台芸術文化に対する理解を深めるため、「狂言」の公演及び講演を実施
91	第11回ソウル世界舞踊祭	国際舞踊協会 (CID-UNESCO) 韓国本部	2008. 10. 10 ~ 2008. 10. 30	韓国内における舞踊の大衆化および舞踊を通じた国際交流の実現と発展を目指し、16カ国から39団体が参加、計26回の公演を実施

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
92	ソウル国際版画写真アートフェア SIPA2008	社団法人韓国版画写真振興協会	2008. 10. 18 ～ 2008. 10. 22	レベルの高い文化的サービスの提供、優秀な人材への積極的な支援（国際舞台への進出機会の提供）、一般大衆のための教育の場の設置を目的としてソウルで開催される版画・写真専門のアートフェア
93	紀尾井シンフォニエッタ東京 来韓公演	株式会社クレディア	2009. 01. 16	日本国内最高のチェンバーオーケストラとして高く評価されている「紀尾井シンフォニエッタ東京」の韓国初公演。本公演では、韓国の新鋭バイオリニスト、チャン・ユジンが共演
94	London-Tokyo-Seoul tour show 2008: Floating Odyssey	ロンドン・ソウル・東京3カ国ツアー展実行委員会	2009. 01. 31 ～ 2009. 02. 22	東洋と西洋の文化を融合させることにより、お互いを高め合い、芸術作品の質をより高めることを目的とした、日本、中国、イギリス出身のアーティストによるインターナショナルツアー展。ロンドンよりスタートし、東京、ソウルに巡回

【会場提供】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
95	日本社会文化研究会月例発表会	日本社会文化研究会	2008. 04. 01 ～ 2008. 12. 31	イ・ジョング（聖公会大学校社会学教授）を代表に、韓国内の大学で日本地域学を主な専門とする研究者12名が発足させた研究会。月例発表会では日本社会の動向と文化的特性を研究し、必要に応じ、公開セミナーも実施
96	韓日メディアフォーラム「韓日メディア選挙比較」	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 04. 03	2008年4月9日の韓国国会議員総選挙を念頭に日韓の選挙報道を比較し、両国の差異を探るフォーラムを開催。1部では韓日メディアの選挙報道比較、2部では韓日メディアの市民教育的機能について発表が行われ、3部で総合討論を実施
97	日本語教師資格基準開発と評価領域詳細化のためのセミナー	韓国教育課程評価院	2008. 04. 26	韓国教育課程評価院が2009年度から中等教師新規任用候補者を選定する競争試験の出題および採点方式を変更するにあたり、各専攻別の基準開発を各学会に依頼。このうち日本語部門の公開セミナーをソウル日本文化センターで開催

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
98	八田りチングのチンチャトーク	吉本興業株式会社	2008. 05. 13	日本と韓国でお笑い芸人として活動しているチングと、八田靖史（コリアンフードコラムニスト）の3人によるトークライブを開催
99	韓日メディアフォーラム「李明博大統領の実用外交と日韓関係」	社団法人韓日未来フォーラム	2008. 05. 15	「日韓新時代」における日韓関係の位置付けについて、対日外交政策の中核にいる朴ジュヌ（外交通商部企画調整室長）が講演、討論会も実施
100	韓国日語教育学会学術発表会	韓国日語教育学会	2008. 05. 17	韓国日語教育学会の会員の研究活動の方向性を提示するとともに韓国の日本語教育学研究の活性化を目的として、「日本語教育に占める日本文化教育の実像と課題」というテーマで発表会およびセミナーを実施
101	第27回韓日メディアフォーラム	韓国老人人力開発院 社団法人韓日未来フォーラム	2008. 07. 24	日韓両国の言論人、大学教授、企業人、文化人が参加する月例討論の場。「韓国と日本の高齢化対策比較」をテーマに現実的な対策を比較・討論
102	韓日交流展	韓日婦人会	2008. 12. 08 ～ 2008. 12. 12	韓国の「三星レポート婦人会」と「SJC婦人会」の会員が作品（水墨画、陶磁器等）を出品する交流展覧会。出品作家は全員アマチュア
103	京畿道外国語教育研修院中等日本語教師海外専門課程第2次協議会	京畿道外国語研修院	2008. 12. 09	京畿道外国語教育研修院主催の中等日本語教師訪日研修の参加者13名による訪日準備会議のためソウル日本文化センターの講義室を提供
104	韓国日語教育学会教員研修会	韓国日語教育学会	2008. 12. 13	「体験学習活用を通じた日本語教育」というテーマによる韓国日語教育学会主催の第14回目の教員研修会。発表会の会場としてソウル日本文化センターのホールおよび講義室を提供
105	県民ジュニア第2回ソウル展	神奈川県美術家協会	2008. 12. 15 ～ 2008. 12. 19	2008年に日本で開催された第32回県展ジュニア展に韓国より入選した作品と日本、アジアの参加作品を展示
106	X JAPAN映像会&写真展	X JAPAN KOREA FAN CLUB WEEKEND	2008. 12. 20	J-POPの代表格であるX JAPANのファンクラブであるKOREA FAN CLUB WEEKEND主催のイベント

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
107	ソウル日本語教育研究会主催2008冬季 職務研修	ソウル日本語教育研究会	2009.01.05 ~ 2009.01.09	中等日本語教師40名を対象とした「新しいパラダイムの日本語教授学習方法」というテーマの冬季職務研修の実施会場としてソウル日本文化センターの施設を提供
108	時越サランバン	時越サランバン実行委員会	2009.01.16 ~ 2009.01.30	日本で活躍している多様なジャンルの韓国人新人芸術家の作品を日本に紹介するプロジェクト「時越サランバン」に出品された作品の一部を展示する展覧会。プロジェクトについての報告会も実施
109	二人展（書の軌跡及び油彩画）	長 敦子	2009.03.23 ~ 2009.03.27	古代文字から現代まで甲骨文、金文、カナ、子供の書による金文作品20~30点、掛軸20点、油彩画10点の展示と「女」という文字の変遷を映像で表した国際交流展

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
110	河瀬直美企画展	映画社ジンジン	2008.04.17 ~ 2008.04.27	ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリーの中から、『にっつまれて』および『かたつもり』を上映

【その他】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
111	忠清北道日本語教育研究会セミナー出 講	忠清北道日本語教育研究会	2008.04.11	中等学校日本語教育研究会セミナーで「楽しい会話指導法」として会話指導の方法および国際交流基金開発教材『エリンが挑戦』を紹介
112	又石大学校特別講義	又石大学校	2008.05.01	又石大学校の学部学生・院生・研究員等約550名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、聴衆との意見交換会も開催
113	高麗大学校講演会	高麗大学校	2008.05.14	高麗大学校の学部学生・院生・研究員等約150名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、聴衆との意見交換会も開催

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
114	全羅北道日本語教育研究会ワークショップ	全羅北道日本語教育研究会	2008. 05. 23	全羅北道日本語教育研究会が主催するワークショップに、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講し、会話文に現れる表現の使用場面を考えさせるワークショップを実施。約70名が参加
115	ソウル大学校師範大学特別講義	ソウル大学校外国語教育研究所	2008. 05. 29	ソウル大学校師範大学大学院に所属する、英語教育、ドイツ語教育、フランス語教育を専攻する大学院生および教員に対し、ソウル日本文化センター日本語・日本研究部長が国際交流基金の日本語事業に関する特別講義を実施
116	蔚山大学校講演会	蔚山大学校	2008. 06. 03	蔚山大学校学生および国立放送通信大学校・蔚山市受講生を合わせた約240名を対象にソウル日本文化センター所長による国際交流基金事業に関する講演を実施。講演会終了後は、蔚山大学校の学生・院生・助教など16名との交流会も開催
117	大田中等日本語教育研究会セミナー	大田中等日本語教育研究会	2008. 06. 03	大田中等日本語教育研究会が実施するセミナーでの講義および大田高等学校での日本語公開授業の見学。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「楽しい会話指導法」として会話指導の方法を講義し、国際交流基金開発教材『エリンが挑戦』も紹介
118	全南第1高等学校公開授業視察	全羅南道教育庁	2008. 06. 26 ～ 2008. 06. 27	木浦地域の中等日本語教員を対象とした教授法セミナーにソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講。全羅南道教育庁が開催する日本語公開授業も視察
119	京畿道中等日本語教育研究会夏期セミナー	京畿道中等日本語教育研究会	2008. 07. 05	京畿道の中等学校で日本語を教える教師のための研修会。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「コミュニケーションのための教室活動を考える」というテーマで講義。約50名が参加

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
120	2008年度第2外国語専門課程オンライン研修特別講演	京畿道外国語研修院	2008. 07. 17	京畿道外国語研修院で実施している日本語教師対象の研修会で、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「覚えるための教室活動を考える」というテーマで講演
121	仁川日本語教育研究会夏期セミナー	仁川日本語教育研究会	2008. 07. 24	仁川特別市の中等学校日本語教育研究会でのセミナー。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「コミュニケーションのための教室活動を考える」というテーマで講演
122	2008年度忠南日本語教科教育研究会教員特殊分野日本語会話職務研修	忠南日本語教科教育研究会	2008. 07. 31	「グローバル人材育成のための日本語教育教科（意思疎通能力の向上）」 「先端マルチコンテンツ制作を通じたe-Learning教育の強化」を目的とした研修。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「多様な学習方法～文型ドリルについて考える～」というテーマで講演
123	京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院、筑波大学留学生センター	2008. 08. 27 ～ 2008. 09. 26	京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師48名に日本語と教授法の研修を実施。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが教授法科目および日本語科目を担当
124	順天高校ワークショップ	順天高校	2008. 10. 01 ～ 2008. 10. 02	全羅南道の順天高校で行われ、近隣高校を含む日本語教師10名が参加したワークショップに、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講。講義テーマは「ひらがなの注意点とひらがなゲーム体験」および「口頭ドリルについて考える」
125	全羅南道中等日本語教育研究会セミナー	全羅南道日本語教育研究会	2008. 10. 25	全羅南道日本語教育研究会が主催するセミナーにソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講し、「楽しい会話指導について考える」をテーマに講義
126	2008年度済州道日本語教科研究会セミナー	済州道日本語教科研究会	2008. 10. 30 ～ 2008. 10. 31	済州地域の会員たちによるセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが日本文化としての俳句の指導方法および会話力向上のための練習方法等について講義



海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
127	2008年度江原道日本語教育研究会セミナー	江原道日本語教育研究会	2008.12.06 ～ 2008.12.07	研究会の会員40名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが「聴解活動について考える」というテーマで講義
128	京畿道中等日本語教育研究会2008年度冬季研修会	京畿道中等日本語教育研究会	2008.12.13 ～ 2008.12.14	研究会の会員55名が集まり、「多様媒体を活用した学習資料開発」というテーマでセミナーを実施。ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講、「画像素材等の教材としての利用法について」というテーマで講義
129	全羅南道中等日本語教師職務研修	全羅南道教育研修院	2009.01.07 ～ 2009.01.08	全羅南道地域の中等日本語教師を対象にした教師職務研修に、ソウル日本文化センター日本語教育アドバイザーが出講、「日本語教授法」科目を担当

北京日本文化センター

合計額 110,314,233 円

## (1) 主催・共催事業

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	J-Meeting 2008	北京	クンルン飯店	財団法人音楽産業・文化振興財団	2008.06.21	株式会社ジェネオンエンタテインメント制作プロデューサーの川村明廣による「アニメ音楽の多様な楽しみ方」をテーマとした講演会及び中国でも知名度のある若手歌手タイナカサチのコンサートとファン交流会。
2	J-pop Concert in Beijing	北京	北京外国語大学千人礼堂	在中国大使館、財団法人音楽産業・文化振興財団、北京外国語大学日本語学部	2008.11.28	「日中青少年友好交流年」を記念して、中国の青少年の間で人気が高い日本のアニメ・J-pop音楽を通じて日本理解・日中交流を促進するため、北京の若者を対象に日本のアニメソング歌手によるコンサート・交流会を実施。

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	アジア国際将棋交流 (AISEP 将棋大会)	北京	北京日本文化センター多目的ホール	AISEP	2008.05.30 ~ 2008.06.02	羽生善治 (棋士) が北京にて講演会、各国大学生と交流を実施。また、東アジア各国及び地域の大学生代表 (中国、日本、中国香港、シンガポール、マレーシア) が将棋を通じて交流を行い、将棋を軸に、各国の文化や歴史、社会の比較討論を実施。
4	日中平和友好条約締結30周年 関西・湖北友好週 文化フォーラム「中国人作家の眼に映った日本・関西」	武漢	華中師範大学	関西広域機構、華中師範大学	2008.10.25	日中間の相互理解、友好親善を目的として、武漢の日本語専攻大学生に対し、日本在住中国人作家の毛丹青 (2008年6月ようこそ日本親善大使に任命)、中国南京在住作家の蘇童 (2008年4月に訪日) の両氏に、日本・関西の旅、生活風景、心情等を語ってもらう講演会を実施。
5	講演会「JENESYS環境」	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2008.11.22	平成20年度JENESYSプログラム環境グループ (市民青少年交流課実施分) の参加者、NGO組織「自然之友」の胡卉哲を迎え、訪日報告会として、ゴミ問題をめぐり、講演会を開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	鈴木貞美講演会	北京、上海	北京第二外国語大学、北京日本文化センター多目的ホール、上海外国語大学	中国日本語教学研究会	2008.12.17	中国日本語教学研究会主催の日本学研究国際学術研討会にゲストスピーカーとして招聘された鈴木貞美教授を講師に招き、北京日本文化センターに加え、中国社会科学院外国文学研究所、北京第二外国語学院と復旦大学と上海外国語大学において、「新たな生命観が問われている」というテーマで講演を実施。
7	本田雅俊講演会	北京、武漢	北京日本学研究センター、北京日本文化センター多目的ホール、武漢大学	武漢大学日本研究センター	2009.01.09 ~ 2009.01.13	中国の青少年層の日本理解促進のため、主に大学生、大学院生を対象とした日本政治に関する講演会を北京及び武漢において開催。講演会においては、議院内閣制に基づく現代日本の政治制度の概要をわかりやすく解説した上で、現在、日本の政治が直面する課題や今後の展望などについて説明。
8	李鋭・毛丹青講演会「中国人作家の眼に映った日本」	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2009.02.06	2007年、国際交流基金は中国人作家の李鋭を日本に招聘し、「中国と私の文学の道」と題した巡回講演を実施。その旅の中で、当該事業のコーディネーターである毛丹青等と意見を交わし、日本文化について考察した内容が、広西師範大学出版社から「焼夢」と題して出版されたことを記念し、李鋭と毛丹青による講演会を実施。
9	漫画賞受賞者 尹川講演会	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2009.03.21	2008年度国際漫画賞銀賞受賞者の尹川（漫画家）と、馬桂林（漫画雑誌編集者）を招き、日本の漫画が中国の漫画に与えた影響や中国の漫画の現状について講演会を実施。併せて尹川の受賞作品をギャラリーにて展示。
10	日系企業の社会貢献活動講演会	昆明	雲南大学	雲南大学	2009.03.21	中国における日系企業の社会貢献活動について、北京日本文化センターが中国日本商会等と協力して実施したアンケート調査報告をもとに分析結果を紹介。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	日本文化紹介講座「日本のポップカルチャー」	北京	北京日本文化センター多目的ホール	日中文化交流推進会	2009.03.28	日本文化に触れる機会が比較的少ない若者や、日本に対する関心がそれほど高くない若者に対し、衣食住や娯楽といった身近なテーマの日本文化を紹介し、日本に対する関心と理解を深めてもらうことを目的とした講演会シリーズ。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	2008年春季遼寧省初級高級中学校進学検討会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	2008.04.03 ~ 2008.04.06	遼寧省内の中学・高校の日本語教師を対象に、高校入試、大学入試の日本語科目の過去問題の分析を中心とした教師研修会。
13	第3回全国大学日本語教師研修会（広州）	広州	広東省広州市華南農業大学	高等教育出版社	2008.07.19 ~ 2008.07.24	中国の日本語教師とりわけ若手の日本語教師の日本語能力および日本語教授能力を高めることを目的に、全国の大学の日本語教師を対象に開催。
14	遼寧省高級中学校新教材研修会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培训中心	2008.07.20 ~ 2008.07.23	遼寧省内の高校日本語教師を対象に、新しい高校日本語教育シラバスと教科書の関係、また新しい教科書を使ってどのように授業を進めていくかを中心とした研修会を実施。
15	2008年夏季全国中等日本語教師研修会（長春）	長春	吉林省長春市日章学園	教育部人民教育出版社、日章学園	2008.07.26 ~ 2008.07.30	全国の高校で日本語を教える教師を対象にした教師研修会。2007年から順次刊行されている高校指定日本語教科書の教授法について派遣専門家による講義とワークショップを中心に実施。
16	第3回中国中等日本語教師研修参加者同窓会	北京	北京日本文化センター		2009.02.15 ~ 2009.02.16	1999年から日本語国際センターで実施している中国中等日本語教師研修に過去参加した日本語教師を集め、帰国後のフォローアップミーティングとワークショップを実施。
17	2008年度さくらネットワーク中核事業：第2回大学日本語教師同窓会	北京	北京日本文化センター		2009.03.07 ~ 2009.03.08	1993年から毎年40名日本語国際センターに招へいする本研修のこれまでの修了生を対象にした同窓会。谷部弘子東京学芸大学教授による特別講演のほか、参加者座談会を実施。また、西安市でも大学日本語教師を対象にした巡回講演会を開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	2009年春季全国中等日本語教師研修会（北京）	北京	北京市華育賓館	教育部人民教育出版社	2009.03.13 ～ 2009.03.15	中等教育の第一線で活躍している日本語教師を対象に日本語教授法、日本語、日本事情の3分野に関する研修会を実施。
19	遼寧省小学校日本語コンテスト	阜新	佛寺鎮中心小学	遼寧省基礎教育教研培訓中心、阜新市進修学校、阜新県進修学校	2009.03.20	阜新地区の小学校で使用されているテキスト「小学用日本語教材」第1冊～第4冊を使用した、テスト式による小学生対象の日本語学習奨励コンクールを実施。
20	2009年春季遼寧省初級高級中学校進学検討会	瀋陽	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培訓中心	中国遼寧省瀋陽市基礎教育教研培訓中心	2009.03.27 ～ 2009.03.29	遼寧省内の中学・高校の日本語教師を対象に、高校入試、大学入試の日本語科目の過去問題の分析を中心とした教師研修会。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	2009年春季日本語教育研究講座	北京	北京日本文化センター		2009.02.27 ～ 2009.05.17	北京市内の若手大学日本語教師を対象にした定期講座を試験的に開講。毎週金曜日の夜2時間、北京日本文化センター内で日本語教授法と日本語の2本立てによる講座を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	留華ネット	北京、天津、上海、瀋陽、成都、南京、西安、大連、広州、昆明	北京日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本人留学生のネットワーク「留華ネット」は、2009年02月現在、10都市に代表があり、現地の日本人コミュニティや日本語・日本文化に関心を持つ中国の学生等と交流イベントを企画したり、各地方の文化交流イベントに関する情報交換を行っている。6月、9月、3月に北京日本文化センターで全体ミーティングを行って活動報告等を行った他、12月には成都ふれあいの場で現地学生との交流会を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	在外日本文化専門家第三国間派遣（モンゴル／華道）	ウランバートル	在モンゴル大使館、モンゴル日本センター、自然史博物館	在モンゴル大使館	2008.10.14 ～ 2008.10.19	在モンゴル大使館からの要請に基づき、在北京の大坪光泉（華道家）をウランバートルに派遣。ウランバートルの在モンゴル大使館、モンゴル日本文化センター、自然史博物館にて生け花のデモンストレーションとレクチャーを実施。
24	日中交流大学サークル交流会	北京			2008.12.13	北京市内の大学にある日中交流サークルの代表者を集め、国際交流基金事業について紹介するとともに、相互の活動紹介や活動を進める上での課題等について意見交換を実施。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	Soothe北京公演	北京	民族文化宮、MAO、長富宮飯店		2008.10.09 ～ 2008.10.12	三味線、和太鼓、現代楽器を組み合わせたバンド(Soothe)によるコンサートを、北京日本文化センターの文化センター設置式典とも合わせて実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
26	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営。 (1) 所蔵資料数 (2009.03.31現在) 日本語図書 11,025冊、中国語、英語図書2,793冊、DVD 104点、ビデオ 428本、CD 545本を所蔵。 (2) 入館者数：7,557名。 (3) 貸し出し数：6,250点。 (4) レファレンス件数：50件 (5) 図書館用リーフレット作成 2,000部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
27	ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ～ 2009.03.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベント告知、実施報告等を、豊富な画像と共に掲載。 URL: <a href="http://www.jpfbj.cn/">http://www.jpfbj.cn/</a>

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
28	215教師ウェブサイト運営管理	2008.04.01 ~ 2009.03.31	公募プログラムお知らせ、研修会・セミナー報告、日本語教師のためのリンク集、当北京日本文化センターからのお知らせや日本語スピーチコンテスト、シンポジウム等の情報も掲載。 URL: <a href="http://www.jfb215kyooshi.com/">http://www.jfb215kyooshi.com/</a>
29	ニューズレター作成・配布	2008.04.01 ~ 2009.03.31	事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。「てふてふ」を年3回、各3,000部を作成・配布

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	魯東大学第1回日本文化祭	魯東大学	2008.05.10	剣道、華道のレクチャーデモンストラーションのほか、煙台市内の4つの大学生によるひらがな書道大会、日本料理展示等の日本文化祭に対する助成。
31	北京大学中日文化節	北京大学中日交流協会	2008.05.10 ~ 2008.06.01	北京大学学生および日本人留学生の主催で「交流・青年・文化」をテーマとした文化祭を実施。文化展示会、中日合作映画上映会、カラオケ大会、サッカー親善試合、日中著名人シリーズ講演会などを開催。
32	合肥地区職業学院第1回日本文化祭	安徽中澳科技職業学院	2008.05.31	安徽省合肥市の単科大学で日本語を専攻する学生を対象とした、日本知識クイズ大会、日本語寸劇、朗読コンテストなどの日本文化祭に対する助成。
33	広東省中山市小欖実験高級中学第8回日本語スピーチ大会	中山市小欖実験高級中学	2008.06.21	中山市小欖実験高級中学の校内日本語スピーチコンテストに対する助成。
34	「日本語教育と日本学研究論叢 第三集」出版助成	北京師範大学外文学院日本語学科	2008.08.01 ~ 2008.09.31	2006年に北京師範大学外国語学院日本語学部が開催した「東アジアの中の日本文学」国際学術会議の成果を広く社会へ還元させるため、この大会の発表内容と一部の日本語言語教育の研究成果を「日本語教育と日本学研究論叢」として出版。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
35	第11回日本文学全国大会国際学術シンポジウム	中国外国文学学会日本文学研究会	2008.08.18 ～ 2008.08.21	中国日本文学研究会が「文化交流視野における日本文学」というテーマで全国的な学術シンポジウムを開催。日本、韓国、ロシア、中国など国内外の学者、およそ100人が参加。
36	2008 China Trip	復旦大学中日学生サロン	2008.08.25 ～ 2008.08.31	日本の大学生12名を上海に招へいし、上海側メンバー（日本語を学ぶ中国人大学生及び日本人留学生）計29名が、5日間の合宿形式で討論会、料理大会、スポーツ大会を通じて交流。
37	学術講座「文化対話の根源探求」	厦門大学文学院日本語教育研究センター	2008.09.01 ～ 2008.11.31	アモイ大学外文学院日本語教育研究センターが9月から11月にかけて、日本から著名な学者を招へいし、「文明対話の根源探求」をテーマとしたシリーズ講演を開催。文明対話の可能性と未来について検討し、日中両国の文化対話と学術交流を促進することを目的としたもの。
38	京論壇	北京大学学生国際交流協会	2008.09.08 ～ 2008.09.14	東京大学と北京大学の学生による交流事業で本年度3年目。「企業文化と業務方式」「食品安全問題」「歴史教育」「公衆の日中軍事問題に関する見方」の4つのテーマで、日中の学生が英語で討論。
39	切り絵交流展	陝西・乾県剪纸協会	2008.09.12 ～ 2008.09.15	2001年より日本東京切り絵会と交流を続けている陝西省の切り絵協会が日中の切り絵作品の展覧会を開催。
40	ボイド眞理子講演会	青年戯劇節「電の駅」劇組	2008.09.12 ～ 2008.09.15	「北京青年演劇祭」で日本の劇作家・演出家の太田省吾の一周忌を記念して制作した作品「電の駅」が上演されるのにあわせ、演劇研究者のボイド眞理子（上智大学教授）による講演会を実施。
41	第三回中国SGRA論壇	延辺大学アジア研究センター	2008.09.26	アジア学生文化協会の工藤正司常務理事が、同協会の創設者穂積五一の思想と、アジア学生文化協会を通して見た日本とアジアのつながり、民間人による活動の意義等について講演を実施。



海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
42	日本漫画交流会@瀋陽	一墨千寧書芸院	2008.10.10 ～ 2008.10.11	日本漫画学院長および日本の漫画家3名を招き、現地漫画学校関係者等との交流会（ワークショップ）を実施。あわせてアニメ学校学生を対象とした漫画教室を開催。
43	2008中日青少年花芸文化交流展覧	広東花卉文化学会	2008.10.11 ～ 2008.10.12	日中青少年の華道コンテストを行うと同時に、日本・中国・香港・台湾の華道家による華道展を実施。また、華道家・水上雅夫氏を招聘し、デモンストラーションを実施。デモンストラーションには約400名が来場。広州ジャパンディ事業。
44	日本漫画交流会@ハルビン	黒龍江省人民政府外事弁公室日本処	2008.10.11 ～ 2008.10.13	日本漫画学院長および日本の漫画家3名を招き、現地漫画学校関係者等との交流会（ワークショップ）を実施。あわせてチャリティサイン会、原画展、アニメ学校学生を対象とした漫画教室等を開催。黒龍江ジャパンウィーク事業。
45	日本語演劇祭（内蒙古大学）	内蒙古大学外国語学院日本語学部	2008.10.12	内蒙古大学2008年日本文化祭日本語演劇大会で、日頃の日本語学習成果を披露すべく、学生たちの日本語演劇の公演を実施。
46	大道芸交流会	黒龍江省人民政府外事弁公室日本処	2008.10.14 ～ 2008.10.16	日本の大道芸人を黒龍江省・ハルピンに招き、現地の学校（小・中・大学、福祉施設）を訪問して、大道芸実演およびからくり人形を使った遊びを紹介。黒龍江ジャパンウィーク事業。
47	人民大学日本文化祭	中国人民大学中日交流協会	2008.10.18	中国人民大学の学生サークル「中日交流協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し、中日両国の文化を展示することを通して、学生たちが日中文化を体験する文化祭を実施。
48	昆明卓球大会	日中昆明卓球交流会実行委員会	2008.10.26	日本人留学生が中心となり、日中の若者たちが気軽に楽しく参加できる卓球大会を実施。
49	二高派遣	二高表演	2008.10.28 ～ 2008.11.02	財団法人福岡市文化芸術振興財団が実施する「アジア・コンテンポラリーダンス・ナウ」にて中国人ダンサー二高の公演を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
50	貴州大学第4回アニメソング大会	貴州大学外国語学院	2008. 11. 07	貴州市内にある大学の学生たちによるアニメソングの歌唱大会を実施。
51	重慶大学外語文化節	重慶大学外国語学院	2008. 11. 09 ～ 2008. 11. 29	重慶大学外国語学院が実施する第8回外語文化節において、市内他大学や在重慶総領事館が共催して、専門家による和服講座、学生による演劇「大正四谷怪談」公演、近隣大学生による日本語朗読コンテスト・日本語作文コンテストを実施。大学生約200名が参加。重慶ジャパンウィーク事業。
52	「日中韓地域協力と国民相互理解」国際シンポジウム	同済大学アジア太平洋研究センター	2008. 12. 13 ～ 2008. 12. 14	中国、日本及び韓国の国際問題研究者が集まり、東アジア地域における共同繁栄の経済基礎と各国国民間の相互認識を促進させる交流メカニズムの設立等について議論を実施。
53	貴州大学茶道ワークショップ	貴州大学外国語学院	2008. 11. 19 ～ 2008. 11. 20	裏千家北京駐在員によるデモンストラーションおよびワークショップを実施。貴州市内にある大学の学生等約200名が参加。
54	北京科技職業学院日本語学院 日本語スピーチコンテスト	北京科技職業学院	2008. 11. 21	北京科技職業学院の第1回校内日本語スピーチコンテストに対する助成。
55	パードハウスプロジェクト	2008 “地球新巢” 国際設計大賽組織委員会	2008. 11. 28 ～ 2008. 12. 14	「未来の住環境・未来の地球環境」をテーマに、世界的な建築家・スペースデザイナー等と世界各地の小中高大学生たちがテーマにちなんだ作品を作成し、展示すると同時に、日本からの学生等も参加して環境問題のシンポジウムを実施。
56	語言大学紅白歌合戦	北京語言大学日語協会	2008. 12. 19	音楽を通し、日中両国の学生の文化交流を促進すべく、北京語言大学の学生サークル「日語協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し紅白歌合戦を実施。
57	北京理工大学 北京市大学2年生日本語スピーチ大会	北京理工大学	2008. 12. 19	北京市内の9校の大学で日本語を専攻として学ぶ大学2年生を対象にした、日本語スピーチコンテストに対する助成。
58	海南省第2回日語戯劇大会	海南大学外国語学院	2008. 12. 20	海南大学にて、海南省の大学で日本語を学ぶ学生たちによる日本語演劇の大会を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
59	秋元珠江+小阪淳展	「秋元珠江+小阪淳展」実行委員会	2008. 12. 20 ~ 2009. 02. 15	日本人アーティスト秋元珠江+小阪淳の個展を798芸術区内の東京画廊にて開催。
60	瀋陽文化祭	遼寧大学日本人会	2008. 12. 21	瀋陽大学にて、留学生が中心となって、もちつきや浴衣ファッションショー、ダンス、クイズなどの文化祭を実施。
61	日本ドキュメンタリー映画交流会2008 REAL	中央戯劇学院	2008. 12. 22 ~ 2008. 12. 24	日本のドキュメンタリー映画作品を通して、現代日本を紹介すると共に、日本より映画監督を招へいし、中国の監督、研究者、学生との交流会を開催。
62	黒龍江省第2回中等日本語スピーチコンテスト	黒竜江省教育学院	2008. 12. 25 ~ 2008. 12. 26	黒竜江省内の朝鮮族の中学・高校生を対象にした日本語スピーチコンテストに対する助成。
63	演劇公演「杏仁豆腐のココロ」	Office30	2008. 12. 25 ~ 2008. 12. 27	『杏仁豆腐のココロ』の作家、演出家である鄭義信と舞台美術家の池田ともゆき、舞台監督の吉木均を日本から香港に招聘し、香港スタッフと共に作品作りをし、香港の観客に提供。
64	上海同済大学作文コンテスト	同済大学	2008. 12. 26	中国全土で日本語を学ぶ大学生を対象にした、オンラインによる作文コンクールへ助成。
65	大連餅つき大会	大連留学生社団 D. I. S. A	2009. 01. 10	大連留学生社団 (DISA) が、「餅つき」を中心に、ソーラン節、和太鼓、浴衣ファッションショーなどのステージ企画を通し、日本人学生と日本に関心のある中国人との文化交流及び相互理解を図るイベントを実施。
66	東アジア武士道の研究 国際シンポジウム	中華日本哲学会	2009. 02. 15	日中韓の日本武士道に関する研究者が参集し、同分野の研究者や大学院生を対象に、アジアにおける日本武士道研究の展開と日本思想理解の深化等について基調講演と一般報告を実施。
67	日台震災後における住宅再建融資メカニズム講演会	中国社会科学院社会学研究所	2009. 02. 25 ~ 2009. 03. 02	日本及び台湾の専門家を招き、震災後の融資及び支援基金の設立方法について、北京及び成都で講演会を行うと同時に、関係者が被災地を視察。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
68	「中日友好杯」バドミントン大会	中国人民大学中日交流協会	2009.03.20 ～ 2009.03.29	中国人民大学中日交流協会が北京の他大学と連携し、日中大学生が参加するバドミントン大会を実施。
69	雲南大学日本文化週	雲南大学外国語学院東語系	2009.03.21 ～ 2009.03.28	雲南大学にて北京日本文化センター所長藤田安彦のCSR講演会、日本のポスター展を実施。
70	漢字文化圏近代言語文化交流研究	天津外国語学院	2009.03.26	中国、台湾、韓国などの有名な学者を40名招聘し、漢字文化圏の近代語研究におけるさまざまな共通テーマについて発表と討議を実施。

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
71	日中交流フォーラム	中国日企ネット	2008.06.19	日中の政府、学者、企業、メディア代表が日中関係、日中青少年交流、日系企業の社会貢献、双方の情報発信などについて議論。
72	大学・語学学校対抗 小倉百人一首かるた 北京大会	北京鵲橋かるた会	2008.07.05	北京近郊の大学や語学学校において、日本語を学習する中国人参加の百人一首かるたゲーム大会（日本人小学生による対抗戦も含む）を北京日本文化センター多目的ホールにて実施。日本語学習初級者でも楽しめる「小倉百人一首かるたゲーム」の普及が目的。
73	大連日中学生合同緑化運動inホルチン沙漠	大連留学生社団	2008.07.17 ～ 2008.07.18	日中の学生が参加するホルチン砂漠での植林、緑化活動。
74	「草擲」（くさむすび）日中国際交流展示会	『草擲』（くさむすび）日中国際交流展示会実行委員会	2008.08.22 ～ 2008.09.05	日中の若手アーティストによる展示会を当センター多目的ホールにて実施。
75	「中国の改革開放と日本」論壇	中国中日関係史学会	2008.09.19	日本政府及び日本経済界が中国の改革開放の各時期に果たした役割及び中国の改革開放に寄与した日本人関係者の貢献について再検討。
76	2008中日文化観光交流ウイーク	北京漫歩广告有限公司	2008.09.29 ～ 2008.10.05	2008年北京朝陽国際旅行フェスティバルの一環として、北京漫歩广告有限公司が主催する、ブース出展、ステージイベント等を含むイベント。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
77	四川大地震チャリティコンサート	四川大地震チャリティコンサート実行委員会	2008. 10. 15	四川省出身の二胡演奏家 羅紅を中心とする演奏会を実施。第1部は羅紅と中国民族楽器演奏者による中国古典音楽、第2部は日本人の二胡学習者も加わり、日本の曲、クラシックなどを交えた演奏で日中の文化交流を図る。
78	Japan-China ONEASIA Rock Concert #1 四川大地震チャリティ in Beijing	ONE ASIA	2008. 11. 01	バンド「GYPSY QUEEN」「氏神一番（カブキロックス）」「Peaceful Clover」の演奏および現地アーティストとの共演を主体とした公演を実施。収益の一部は四川大地震の被災地へ寄附。
79	2008日中コミュニケーションフォーラム	中日伝播中心	2008. 11. 03	中日伝播中心が「これからの日中コミュニケーションのあり方とメディアの課題」と題したフォーラムを実施。各方面の専門家を交えて日中コミュニケーション学の構築、日中メディア報道の状況について議論・検討。
80	「独語」-アジア青年芸術家試験展第一回	画廊網・当代芸術	2008. 11. 30 ~ 2008. 12. 10	アジアの若手アーティストによる展覧会を草場地芸術区にて実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
81	人民大学日本語学部新入生歓迎会	人民大学日本語学部	2007. 09. 18 ~ 2008. 09. 20	中国人民大学の日本語学科新入生歓迎会。
82	対外経済貿易大学運動会	対外経済貿易大学	2008. 04. 25 ~ 2008. 04. 28	北京にある対外経済貿易大学にて学生たちの運動会を実施。
83	北京郵電大学 国際文化祭	北京郵電大学	2008. 04. 26	大学内の行事として、諸外国の文化紹介や知識を競うクイズ大会などを開催。
84	国際関係学院日本文化祭	国際関係学院	2008. 05. 07	国際関係学院の日本語学科の学生が、日本とフランスをテーマにした文化祭で日本の玩具や浴衣を展示。
85	北京大学日中文化祭	北京大学	2008. 05. 09 ~ 2008. 05. 10	北京大学学生および日本人留学生の主催で「交流・青年・文化」をテーマとした文化祭を実施。文化展示会、中日合作映画上映会、カラオケ大会、サッカー親善試合、日中著名人シリーズ講演会などを開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
86	北京第二外国語学院 演劇大会	北京第二外国語学院	2008.05.12 ～ 2008.05.14	北京第二外国語学院にて、学生たちが日頃の語学学習成果を発表する演劇大会を実施。
87	安徽大学日本文化祭	安徽大学	2008.05.20 ～ 2008.05.29	安徽省合肥市において、複数の日本語学科が集まって開催する日本文化祭。
88	VOLVO(中国) 日本紹介イベント	VOLVO(中国)	2008.08.22 ～ 2008.08.29	VOLVO(中国) 社内にて日本文化紹介イベントを実施。
89	「2008中日文化観光交流ウイーク」	北京漫步广告有限公司	2008.09.26 ～ 2008.10.07	2008年北京朝陽国際旅行フェスティバルの一環として、北京漫步广告有限公司が主催する、ブース出展、ステージイベント等を含むイベント。
90	中国人民大学中日文化祭	中国人民大学中日交流協会	2008.10.08 ～ 2008.10.20	中国人民大学の学生サークル「中日交流協会」が、同大学の日本人留学生会と連携し、中日両国の文化を展示することを通して、学生たちが日中文化を体験する文化祭を実施。
91	北京理工大学文化祭	北京理工大学	2008.12.16 ～ 2008.12.26	北京理工大学文化祭にて、日本の世界遺産パネルを展示。

ジャカルタ日本文化センター

合計額 117,161,893 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「Jepang」写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.04.11	巡回展「スピリトを写すー現代日本写真」展に併せて公募した写真展を行った。「日本」をテーマに全国から募集し、日・インドネシア友好50周年記念にちなみ、優秀作品50点を選出
2	いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	いけばなインターナショナルジャカルタ支部	2008.04.17 ~ 2008.04.18	いけばなインターナショナルジャカルタ支部と共催でいけばな展を開催し、池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会流の所属全7派から約60点を展示
3	「あたまのなかのすきま」アカデミサマリ展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	漫画学校アカデミサマリ	2008.06.09 ~ 2008.06.20	漫画学校アカデミサマリと共催で総合美術展を開催し、絵画・写真・マンガ・アニメーション・インスタレーション作品など約40点を展示
4	「アルタイラソルジャーズ」リズキ=ムストハファ=アリスン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.06.20 ~ 2008.07.04	若手芸術家支援を目的として実施する「ネオピオン」の一事業として、ジャカルタ出身の若手芸術家リズキ=ムストハファ=アリスンの漫画イラスト展を開催
5	もしもしスマラン	スマラン	ルマー・スニ・ヤイトゥ、ディポネゴロ大学他	漫画学校アカデミサマリ	2008.07.04 ~ 2008.07.09	漫画学校アカデミサマリと共催し総合美術展を開催。普段、日本文化に接する機会の少ない中部ジャワ州スマランで漫画などの作品を展示するほか、漫画ワークショップ、日本をテーマにした写真展や日本映画上映、折り紙ワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	「ワリ・ソング」 セノ=グミラ=アジダルマ写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.09.08 ~ 2008.09.19	ヒンズー王国が栄えたインドネシアにイスラム教を広めた伝説の導師9人ワリ・ソングをテーマに写真家セノ=グミラ=アジダルマの写真展を開催した。また、開会式当日には、ヘンリー=チャンバート=ロワー（歴史家）とセノ=グミラ=アジダルマを招いて「ジャワにおける巡礼の伝統」をテーマに講演会も開催
7	ネオ・ピオン バフルディン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.11.03 ~ 2008.11.07	若手芸術家支援を目的とした「ネオピオン」シリーズで、新聞紙を使用し独特なタッチで立体作品を創作しているバフルディンの作品展を開催。また、11月5日には一般向けにワークショップを開催し、新聞紙で写真立てなどを製作
8	ネオ・ピオン ムンチャン展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.11.14 ~ 2008.11.28	若手芸術家支援を目的とした「ネオピオン」シリーズで、ジャワの伝統・古典美術をモチーフとしたドローイングを創作しているムンチャン（ヘリー・ノバント）の作品展を開催
9	第13回日イ児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタジャパンクラブ、ジャカルタ日本人学校	2009.01.23 ~ 2009.02.01	「地球を救え！」をテーマにジャカルタジャパンクラブとの共催（協力：ジャカルタ日本人学校）で、日本人とインドネシア人児童の絵画展覧会を実施
10	バーリ・アート・スタジオ 作品展 「Symphony Parahyangan」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.02.06 ~ 2009.02.18	「バーリ・アート・スタジオ」創設者である画家・故バーリ・サスマタウィナタの2周忌を記念したスタジオ作品展を開催した。同氏の妻、弟子、スタジオ講師など22名の画家の作品を展示した。2月12日には一般向けにワークショップを3回（ガラス絵、陶器絵付け、パティック）行い、日イ約100人が参加



【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	「踊りに行くぜ！」インドネシア公演	バリ、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドン	クシナルワナ文化センター（バリ）、ゲーテ・インスティテュート（ジャカルタ）、タマン・ブダヤ（ジョグジャカルタ）、インドネシア芸術大学バンドン校	クロラ財団、ゲーテ・インスティテュート、インドネシア芸術大学バンドン校、アルティ財団、ジョグジャカルタ・アートフェスティバル	2008.06.09 ～ 2008.07.01	ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク（JCDN）が主催するコンテンポラリー・ダンス紹介事業。バリ、ジャカルタ、ジョグジャカルタ及びバンドンで合計5公演を実施するとともに、ジャカルタ及びジョグジャカルタにおいては、地元のダンサーとの共同制作も実施
12	アートトライジャカルタ公演	ジャカルタ	ジャカルタ芸術劇場		2008.09.16 ～ 2008.09.17	4組のパフォーマーを招聘し、ジャカルタ芸術劇場で開催される国際舞台芸術フェスティバル「ショウブルグフェスティバル」にて2日間に渡り日本のコンテンポラリー・パフォーマンスを紹介
13	テアトルKAMI公演「狂人教育」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	テアトルKAMI	2008.10.30 ～ 2008.10.31	日本が誇る劇作家、演出家、映画監督、歌人である寺山修司没後25年を記念して、寺山修司が1962年に書き下ろした唯一の人形劇「狂人教育（Educating Mad Persons）」を、テアトル KAMIが上演
14	クダン・プロジェクト公演「BIGEIKOH」	バンドン	インドネシア芸術学院バンドン校	インドネシア芸術学院バンドン校	2008.11.18 ～ 2008.11.20	筒井康隆の小説「美藝公」を二人芝居ユニットKUDAN Projectが舞台化し、脚本・演出の天野天街（少年王者館）と小熊ヒデジ（てんぷくプロ）らが演ずる作品を、インドネシア芸術学院バンドン校で上演
15	テアトル・ガラシ 「その男はジャマルという」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター他		2008.11.28 ～ 2008.11.29	2006年日本のク・ナウカ・シアターとの共作などでも知られる、劇団テアトル・ガラシのモノログ作品を2回にわたって上演した。これはテアトル・ガラシが、11月にモノログ4作品をインドネシア各都市で上演する「名前の物語」というソロ・プロジェクトの一環として実施
16	福田千栄子 地歌・箏曲レクチャー・デモンストレーション	ジャカルタ、バンドン	ジャカルタ芸術大学、インドネシア大学、インドネシア芸術学院バンドン校	在インドネシア大使館、インドネシア大学、インドネシア芸術学院バンドン校、ジャカルタ芸術大学、コモン・ルーム	2009.02.18 ～ 2009.02.23	文化庁より文化交流使として任命を受けた地歌・箏曲演奏家の福田千栄子がインドネシア、フィリピンを巡回し、レクチャーデモンストレーション及び小公演を実施した。インドネシアにおいては、ジャカルタ及びバンドンの大学を巡回

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	テアトル・スندیリ 結成25周年公演	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター他		2009.02.25 ~ 2009.02.27	ジャカルタの老舗劇団であるテアトル・スندیリが結成25周年公演として、3日間にわたり「テロリスト」「羅生門」「ダグ・ディグ・ドゥグ」を上演した。公演に合わせ、ミニ・ギャラリーでは、公演写真、チラシ、ステージ衣装などを展示した。また、受付ホールでは、国立第3高等専門学校の舞台芸術専攻の生徒が、最終日のプロローグに出演するためにワークショップを行った。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	ジャカルタ南極教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.25	南極観測に従事したOBを中心とするボランティア団体「南極教室」と共催で、第34次日本南極観測隊員として越冬した西分竜二による講演会を実施
19	インドネシア社会文化講座 バクティアル=アラム講演会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.26	インドネシアン・ヘリテイジ・ソサエティと共催で、インドネシア日本研究学会会長のバクティアル=アラムによるインドネシア社会文化講座を実施。インドネシア社会の最新事情を政治・社会・文化面から解説
20	日本研究関連の奨学金・助成金に関するワークショップ	ジャカルタ	アル・アザール インドネシア大学	インドネシア日本研究学会、アル・アザールインドネシア大学	2008.06.16	インドネシア日本研究学会等と共催で「日本研究分野の助成及び奨学金を取得する秘訣」と題したワークショップを行い、国際交流基金の日本研究分野のフェローシップやグラント・プログラムを紹介
21	茶の湯レクチャーデモンストレーション	デポック	インドネシア大学日本研究センター	インドネシア大学日本研究センター、裏千家淡交会インドネシア支部	2008.06.24	インドネシア大学日本研究センター及び裏千家と共催で、鵬雲斎千玄室大宗匠を招いて茶の湯のレクチャーと裏千家によるデモンストレーションを実施
22	アートポリス 2	バンドン	バンドン工科大学	バンドン工科大学	2008.08.08 ~ 2008.08.10	“Creative Communities and Making of Place: Sharing Creative Experiences”と題してバンドン工科大学が国際会議及びワークショップを行った。日本からスピーカーとして招待される佐々木雅幸（大阪市立大学教授）の旅費の一部を負担

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	日本研究関連の奨学金・助成金に関するワークショップ	バンドン	ウィドヤタマ大学	インドネシア日本研究学会、ウィドヤタマ大学	2008.08.12	インドネシア日本研究学会等と共催で「日本研究分野の助成及び奨学金を取得する秘訣」と題したワークショップを行い、国際交流基金の日本研究分野のフェロシップやグラント・プログラムを紹介
24	公開講演会「インドネシアとイスラーム」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	2008.09.02	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所と共催で、「インドネシアとイスラーム」と題して2名の講演者を招き、イスラームの一般的な知識とインドネシアにおけるイスラームと政治についての講演会を行った。国交樹立50周年を迎える日本-インドネシア両国間の理解促進を目的として、主に現地の在留邦人を対象に開催
25	日本料理レクチャー・デモンストレーション	ジャカルタ	日本料理「basara」		2008.11.22	小山裕久（日本料理専門家）がインドネシア来訪に際し、料理専門学校及び料理教室の教師及び生徒を対象として、日本料理に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
26	幼稚園教諭向けセミナー「子どもと本とお話の世界」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.03.03	ジャカルタにおいて活動しているNGO「J2ネット」と共催で、同団体が実施している文庫設置活動の一環として「幼児期の子ども達に必要な絵本とお話の世界」についてのセミナーを開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	シネマ・キャラバン	ジャカルタ首都圏	ジャカルタ首都圏内高校		2008.04.01 ~ 2009.03.31	普段日本映画を見る機会のない地方都市やジャカルタ周辺の高校・大学へ出向き映画の上映会を行うとともに折り紙などの日本文化紹介を行った
28	シネマ・キャラバン	アチェ、カリマンタン	サレー・スクール（バング・アチェ）、ボンティアナック市内4高校（カリマンタン）	コミュニタス・ティカール・パンダン（アチェ）	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本文化が紹介されることが稀な地域にジャカルタ日本文化センター・スタッフが赴き、映画を上映すると共に折り紙の実演、日本に関する質疑応答などの文化紹介イベントを実施する。今年度はアチェ及びボンティアナック（カリマンタン）にて実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	映画上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、定期的に映画上映会を実施
30	『その月が満ちるまで』上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.08.15	8月7日からジャカルタで開催された第7回Q!フィルムフェスティバル参加作品『その月が満ちるまで』をジャカルタ日本文化センターで上映。また、上映の後にはインドネシア人映画監督ルキのトークショーも開催

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語弁論大会一般の部 (地区予選会)	メダン バンドン ジョグジャカルタ スラバヤ バリ マナド	北スマトラ大学 バジャジャラン大学 ガジャマダ大学 ノボテル サラスワティ外国語大学 サムラトランギ大学		2008.04.01 ~ 2008.06.30	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会(一般の部)全国大会出場を目指した地区予選をスマトラ地区、ジャボデタベック地区、西ジャワ地区、中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区、東ジャワ地区、スラウェシ地区及びバリ地区で実施
32	高校日本語教師会支援(北スラウェシ州)	北スラウェシ州	マナド国立第1高校 他		2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(北スラウェシ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
33	インドネシア普通高校選択科目日本語教科書作成プロジェクト	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア教育省 普通中等教育局	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシアでは中等教育機関における日本語学習者が急増しているが、最も学習者が増えた選択必修外国語として日本語を勉強する高校生及び日本語を教える高校教師向けの適切な教科書が存在しないことから、教育省普通中等教育局と共催して高校における選択必修外国語科目授業用教科書を製作するプロジェクトを実施。本年度は試用版作成のための会議を2回実施、試用版の発行、試用版の試用結果の中間報告会議を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	高校日本語教師会支援 (ジャボデタベック地区)	ジャカルタ 首都圏			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(ジャボデタベック地区)に対する年間を通じた支援を実施。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施し、ジュニア専門家を通じた支援も実施
35	高校日本語教師会支援(北スマトラ州)	北スマトラ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(北スマトラ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
36	高校日本語教師会支援(西スマトラ州)	西スマトラ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(西スマトラ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
37	高校日本語教師会支援(西ジャワ州)	西ジャワ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(西ジャワ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
38	高校日本語教師会支援(中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州)	中部ジャワ州、ジョグジャカルタ特別州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
39	高校日本語教師会支援(東ジャワ州)	東ジャワ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(東ジャワ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施
40	高校日本語教師会支援(バリ州)	バリ州			2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(バリ州)に対する年間を通じた支援。ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動(勉強会等)を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	日本語講座	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般社会人向けに中級レベル（1クラス/定員25名）及び上級レベル（2クラス/定員各25名）のコースを開講した。ジャカルタ近郊には民間日本語学校が35機関前後存在しているが、上級クラスを運営しているのはジャカルタ日本文化センター講座に限られている。本年度も引き続き質の高い授業を提供した。
42	教師研修講座	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中級レベルの日本語を教えることのできる教師を育てることを目的とした講座を実施した。当該講座には、ジャカルタ近郊の大学教師、中学教師、高校教師及び民間日本語学校教師等が参加しており、質の高い授業を提供
43	大学教員向教授法訪問指導	ジャカルタ 首都圏			2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センター所属派遣専門家による首都圏地区所在大学への定期訪問。期待される教師を効率的に育成するために、指導すべき教師を選定し、2週間に1回程度、1シメスター（6カ月）連続して当該教師の授業を見学し、助言・指導を実施
44	インドネシア日本語教育研究会				2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターが母体となって設立したインドネシア日本語教育研究会において、高等教育機関日本語教師向けに日本語及び日本語教授法の研究会を実施
45	第7回高校生日本語弁論全国大会	ジャカルタ		インドネシア教育省 初等中等教育局	2008.04.05	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的とした弁論大会を実施。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシ8地方大会優秀者13名をジャカルタに集め競い合った。本大会の上位入賞者3名が基金主催の高校生日本語学習者奨励研修へ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト（JSA）」の参加資格を得て訪日

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	普通・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ/第1回）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.04.28 ～ 2008.05.09	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会を実施
47	インドネシア日本語教育学会（南スラウェシ州支部支援）	マカッサル	ハサヌディン大学		2008.05.23	ハサヌディン大学にて南スラウェシ州の高校、大学、民間日本語学校の教師を対象に、「日本文字学習法」に関するセミナーを実施。ジャカルタ日本文化センターから吉田裕子専門家が出講し、「日本語の文字」及び「ひらがなとカタカナの指導」をテーマに講演を実施
48	日本語弁論大会一般の部（首都圏地区大会/主催）	ジャカルタ 首都圏			2008.05.24	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選を実施。当該地区から3名が全国大会へ出場
49	第1回インストラクター候補者研修（TOT教師研修）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.05.26 ～ 2008.06.07	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施。高校日本語教師の地方研修を企画・運営できるインストラクターを養成することを主目的とする研修会。研修期間は2週間。授業時間は140時間。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、ジャボデタベック地区ジュニア専門家1名、インドネシア人専任講師1名が出講
50	普通・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ/第2回）	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.06.09 ～ 2008.06.21	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修を実施。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
51	日本語弁論大会一般の部(全国大会)	ジャカルタ			2008.07.05	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催した日本語弁論大会(一般の部)を実施。今年度で37回目を迎える。インドネシア各地(スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域)での予選を勝ち抜いた14名がジャカルタで競い合った。日本語の流暢さのみならず、テーマや考え方も採点の対象となり、回を重ねるごとに出場者のレベルは上がっている。1、2位入賞者は社団法人在外企業協会主催のアジアスピーチコンテスト(日本で実施)に参加
52	インドネシア日本語教育学会(ジャボデタベック支部)	ジャカルタ首都圏	ドクター・ムハマッド・ハムカ大学		2008.08.09	ドクター・ムハマッド・ハムカ大学にて第9回支部セミナーを実施。参加者数は70名。テーマは「通信と会話の授業」とし、午前中のセッションはジャカルタ近郊の大学の文書の書き方についての授業がどのように行われているかの調査発表を行い、午後はロールプレイを中心の授業をどのように行うか、ワークショップと模擬授業を中心に参加型の活動を実施
53	第2回インストラクター候補者研修(TOT教師研修)	ジャカルタ		国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.08.11 ~ 2008.08.23	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施。高校日本語教師の地方研修を企画・運営できるインストラクターを養成することを主目的とする研修会。研修期間は2週間。授業時間は140時間。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、インドネシア人専任講師が出講
54	ジャボデタベック地区初級教授法研修	ジャカルタ首都圏			2008.08.15 ~ 2008.08.18	ジャボデタベック地区の高等教育機関・民間講座講師向けに初級教授法研修を行う。当地講師が発表原稿を準備して講演する形式。発表原稿作成の際にはジャカルタ日本文化センター派遣専門家が随時助言を実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
55	インドネシア日本留学フェア	ジャカルタ	ジャカルタ・コンベンション・センター		2008.08.31	独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が主催するインドネシア人向け日本留学フェアに参加。インドネシアの学生が日本留学を志し、かつ、留学希望にあった大学等を選択し、実りのある留学を達成できるよう情報提供することを目的とする。当該フェアには日本から17大学、6専門学校の他、在インドネシア大使館、インドネシア元日本留学協会、インドネシア大学日本研究センターなどのブースが設けられた。ジャカルタ日本文化センターも知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施
56	インドネシア外務省入省日本語試験	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.11	インドネシア外務省より入省試験のうち、外国語部門日本語試験問題（日本語能力試験2級程度）を作成し、ジャカルタ日本文化センターで実施
57	普通・宗教高校日本語教師継続研修（ジャカルタ）	ジャカルタ	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2008.10.13 ～ 2008.10.24	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け継続研修。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験3級程度の教師21名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した
58	日本語教材寄贈授与式（ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.22	ジャカルタ近郊の日本語教材寄贈プログラムの採用機関を集め、ジャカルタ日本文化センターホールにて教材授与式を実施
59	ジュニア専門家会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.27 ～ 2008.10.28	インドネシア各地に派遣されているジュニア専門家5名がジャカルタに集まり、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する討議を実施
60	日本語教育専門家会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.10.29 ～ 2008.10.30	インドネシア各地に派遣されている専門家6名がジャカルタに集まり、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の日本語教師業務方針に関する討議を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
61	インドネシア日本語教育学会（東ジャワ州支部支援）	スラバヤ	11月10日工科大学		2008. 11. 29	日本研究（日本語・日本文学教育）に携わるインドネシア人の知識・見識を高めることを目的とした国際セミナーをスラバヤの11月10日工科大学にて実施。同セミナーには講演者として藤田秀雄（文化人類学研究者）を招聘し、「オーストロネシア語は日本語の起源」というテーマで講演を行った。またワークショップには山下美紀専門家が参加
62	日本語能力試験	メダン、パダン、ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ			2008. 12. 07	インドネシア7都市（メダン、パダン、ジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタ、スラバヤ、バリ）で実施される日本語能力試験の共催者に対し、指導や助言などの協力を実施
63	インドネシア日本語教育学会（北スマトラ州支部支援）	メダン	北スマトラ大学		2008. 12. 13	北スマトラ地域における日本語教育の質の向上のため、1日セミナーを北スマトラ大学で行った。午後のワークショップでは木谷専門家がエリンを使った授業と題し、ワークショップを実施
64	ジャボデタベック地区文法一日セミナー	ジャカルタ首都圏			2008. 12. 20	ジャカルタ首都圏（ジャボデタベック）の日本語教員を対象に、テーマを「わかりやすく教えるための動詞の分類」と題し、文法分析力の向上及び知識の拡充を目指すための1日セミナーを実施
65	2009年度インドネシア中等教育日本語教師研修事前研修	ジャカルタ			2009. 01. 12 ～ 2009. 01. 24	インドネシア教育省との共催で、2006年度から5カ年計画で計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラム。今年は4年目にあたる。各地域から選抜された30名の高校教師がジャカルタに集まり、2週間にわたって事前研修を行った。30名の事前研修参加者から最終的に20名が選抜され、4月中旬に日本で研修を受講

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
66	第8回高校生日本語弁論大会 (地区予選会/計8地区)				2009.01.13 ~ 2009.02.07	日本語を学習している高校生の日本語学習意欲向上、日本文化紹介の一環として、高校生日本語弁論大会を実施した。インドネシアの8地区で開催される予選に勝ち抜いた優秀者がジャカルタで実施される全国大会に出場できる。この予選は文化祭の中の行事として、書道大会などと一緒に実施
67	インドネシア日本語教育学会 (西スマトラ州支部支援)	パダン	ブンハッタ大学		2009.01.15	ブンハッタ大学にて大学教員及び日本語教師を対象に、日本語教授法に関するセミナーを実施
68	インドネシア日本語教育学会 (西ジャワ州支部支援)	西ジャワ州	マラナタ・キリスト教 大学		2009.01.17	マラナタ・キリスト教大学にて、西ジャワ州の大学教師、高校教師及び大学生を対象に、テーマを「実践報告－運用力育成のためのトレーニング」と題し、西ジャワ支部セミナーを実施。当該セミナーには山本晃彦専門家もキーノートスピーカーとして参加
69	初級教授法研修	ジャカルタ			2009.02.09 ~ 2009.02.14	「授業項目を中心に授業を考えることができること」等を目標に、ジャボデタベック地区の大学教員及び民間講座講師を対象とした研修会を実施。研修期間は6日間、当該研修には16名の日本語教師が参加
70	インドネシア日本語教育学会 会支援 (本部/学会支部長会議)	スマラン	ディポネゴロ大学		2009.02.18	インドネシア日本語教育学会本部が実施する全国セミナーの機会を利用し、ディポネゴロ大学にて学会役員及び各支部幹部(支部長)を集め会議を実施。今後の学会運営及び方針について意見交換を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
71	第8回高校生日本語弁論全国大会			インドネシア教育省 初等中等教育局	2009. 02. 21	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタに集め競い合った。本大会の上位入賞者3名が基金主催の高校生日本語学習者奨励研修へ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト (JSA)」の参加資格を得て訪日した
72	第7回スラバヤ漢字カップ	スラバヤ		在スラバヤ総領事館、 元日本留学生協会東 ジャワ支部、国際文化 交流センターじゃすみ ん	2009. 03. 01	東ジャワ州スラバヤで、在スラバヤ総領事館、国際交流基金、元留学生協会東ジャワ支部、国際文化交流センター、じゃすみんが共催して実施。同州各地やジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタなどから日本語を学習するインドネシア人学生、130名が参加し、早押しクイズや書き取り問題で漢字能力を競った。
73	平成20年度第1回日本語履修高校生向け進路推進フェア	ジャカルタ			2009. 03. 10	日本語を履修している高校生 (27校/122名) の参加を得て日本語関連進路推進フェアを実施した。同フェアでは、現在、日本関係の仕事に就いている日本語履修者OB/OGが体験を語り、また、日本語学科を有するジャカルタ近郊10大学の日本語学科長等が資料配布・大学案内を行って、大学進学後も日本語学習を継続する意義を説明した。プログラムの最後には、茶道・裏千家の協力により日本文化紹介事業も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
74	平成20年度第2回日本語履修高校生向け進路推進フェア	ジャカルタ			2009.03.19	日本語を履修している専門高校の生徒（25校/102名）向けに日本語関連進路推進フェアを実施。同フェアでは、日本語履修卒業生（労働移住省職員）による体験談、三菱自動車総務部日本人社員による「日系企業で仕事をする上での心構え及び慣習」に関する講演、現役の観光ガイドによる「日本人観光客に対するサービスの心得」に関する講演を行った。また、プログラムの最後には、日本食レストラン「BASARA」の協力により日本文化紹介事業も実施
75	インドネシア日本語教育学会（北スラウェシ州支部支援）	マナド	マナド国立大学		2009.03.20 ～ 2009.03.21	北スラウェシ州の大学教員及び日本語教師の能力向上を目的としたセミナーをマナド国立大学にて実施。また、同セミナーには山下美紀専門家（スラバヤ国立大学）が出講し「日本語の表現・日本人の習慣」というテーマで講演を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
76	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	書籍38,841点、オーディオビジュアル等資料3,444点、併せて42,285点の整理、貸し出しを実施。また、インターネットサービスも行った。 年間利用者数：17,072名

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
77	ニュースレター『NUANSA』	2008.04.01 ～ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターの文化事業関連ニュースレターを年4回発行
78	ニュースレター『EGAO』	2008.04.01 ～ 2009.03.31	ジャカルタ日本文化センターの日本語事業関連ニュースレターを年4回発行

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
79	囲碁教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	インドネシア人囲碁愛好家や初心者向けに毎週金曜日に囲碁教室を開き、センター職員が指導を行った。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	スクールビジット	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	地元高校や大学からセンター見学を受け入れ、図書館案内や映画鑑賞、着付けや折り紙などの日本文化の体験、また、日本人職員との質疑応答を通し日本紹介を行った
81	茶の湯教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	裏千家インドネシアの協力を得て、受講生15名、3ヵ月間の初心者向け茶の湯教室を、平成20年度より開設
82	生け花教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.05.16 ~ 2008.08.29	一葉式の免状を持つインドネシア人師範による初心者向けの生け花教室を実施すると共に、教室の成果発表の場として生徒の作品の展覧会を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
83	第5回フレンドシップカップ 囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ	2008.08.24	ジャカルタ囲碁将棋クラブと共催で日・インドネシア親善囲碁大会を開催し、囲碁を通じての友好親善を図った
84	第6回4か国対抗国際親善 囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2008.12.12 ~ 2008.12.14	日本棋院から向井梢恵初段を審査委員長に迎え、インドネシア人・日本人・中国人・韓国人囲碁愛好家による4か国・国際親善囲碁大会、インドネシア人若手囲碁愛好家向けの囲碁教室を開催

(2) 助成・協力事業

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
85	各種文化備品貸出		2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア国内の各種機関に、ジャカルタ日本文化センターが所蔵する日本映画（インドネシア語字幕付き）、展示セット等を貸出

バンコク日本文化センター

合計額 142,338,257 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本庭園写真展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース		2008.05.06 ~ 2008.06.23	バンコク日本文化センター所蔵写真パネルの展示。水野克比古が春夏秋冬それぞれのテーマのもとに撮影した日本庭園の風景、計40点の作品展
2	タイ児童俳句絵画展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース	JAL	2008.07.01 ~ 2008.07.26	今年のテーマは「風」。全国192の中等学校から応募のあった延べ1,700点の俳句作品中から、優秀作品50点を、本人が描いた絵と共に当センターのアートスペースにて展示
3	映像作家 早川貴泰作品展	バンコク	バンコク日本文化センターアートスペース		2008.09.04 ~ 2008.10.22	新進の若手映像作家早川貴泰の作品4点「KASHIKOKIMONO」、「阿吽二字」、「雲散霧消」、「えん」を展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	第1回ハウスコンサート	バンコク	バンコク日本文化センターホール	Children and Youth Development Association	2008.07.26	2006年度にシリーズ化を目指して開始したハウスコンサート（自前の会場で行う音楽会）の第1回目。タイの著名なクルイ（タイのフルート）奏者であるタニット・シークリンディーを迎え、日・タイの伝統楽器である箏、クルイと、西洋楽器（チェロ、バイオリン、ピアノ）との共演
5	第2回ハウスコンサート	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2008.10.18	2006年度にシリーズ化を目指して開始したハウスコンサート（自前の会場で行う音楽会）の第2回目。「Voice」をテーマに、タイで30年以上もの歴史を持つ日本人会女声コーラス部が、日・タイの民謡から、ジブリ作品「となりのトトロ」や「千と千尋の神隠し」のテーマ曲まで、日タイ双方で人気の高い曲目を披露

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	キン・シオタニ「ライブ・ドローイング・パフォーマンス&ワークショップ」	バンコク	The Style by TOYOTA	AGGS	2008.10.23	セレクトショップ「ビームス」での個展や、落語家立川志の吉とのコラボなど、多方面で活躍する日本人イラストレーター、キン・シオタニが、「Konnichiwa My Friends」を合言葉に、ポップアートに関心のあるタイの若者と「ともだち」になる一日を演出した、ライブ・ドローイング・パフォーマンス及びワークショップを実施
7	「トリオ・コンサートー日本の伝統音楽からクラシックまで」	バンコク	タイ・カルチャー・センター	タイ・カルチャー・センター	2009.01.12	水野信行（ホルン）、松岡美絵（ピアノ）、佐份利恭子（バイオリン）によるクラシック音楽のトリオ・コンサート。ホルン三重奏曲のほか、「さくらさくら」「赤とんぼ」等、日本の伝統曲も交えたプログラムを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	四方田犬彦講演会	チェンマイ	チェンマイ大学人文学部	チェンマイ大学（日本研究センター国際交流・研究課）、在チェンマイ総領事館、チュラーロンコーン大学アジア研究所API Fellowships Program	2008.04.01	「日本映画が描く女性について」と題し、四方田犬彦明治学院大学教授による講演（日本語。タイ語通訳）を4者共催で実施。聴衆約70人。チェンマイ大学日本研究センター初の公開事業
9	宮田亮平講演会	バンコク	シラパコン大学	シラパコン大学、電通	2008.06.12	宮田亮平東京藝術大学学長の講演。聴衆は、シラパコン大学学長、教員・学生を中心に約100名。昨年120周年を迎えた東京藝大の学長としての取組みなど伝統と革新の融合がもたらす創造をテーマに講演
10	岩井成昭 作品上映会&スペシャルトーク	バンコク	バンコク日本文化センターホール	APIフェローシッププログラム	2008.08.28	日本財団APIフェローシップで来タイ中の岩井成昭（美術家）による、アート関係者を主対象とした講演会を実施。タイで制作した『Kiku Sadud Rak』（2005）、オーストラリアの日本人墓地を舞台とした『In Repose』（2007）の2本の短編映像作品を上映後、氏による解説及び質疑応答を実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	野田秀樹 パブリック・トーク	バンコク	The Style by TOYOTA	The Style by TOYOTA, 東京芸術劇場	2009.03.18	野田秀樹（作家・演出家）によるパブリック・トークを開催。パーウィット・マハサリナンドをモデレーターに迎え、プラディット・プラサートング（マカンボン財団ディレクター）と対談。現代演劇事情、タイとのかかわりが野田氏の創作活動に与えた影響、今後の展開等について討論

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	JFシアター	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3火曜日に日本映画の上映会を定期的に開催。原則として、タイ語字幕付きのフィルムを上映
13	北部タイ日本映画祭2008	チェンマイ	チェンマイ大学人文学部	パヤップ大学タイ日センター、チェンマイ大学日本研究センター	2008.11.21 ~ 2008.11.23	ランナー・ジープン交流祭の一環として実施。「We Shall Overcome…」をテーマに、戦争が引き起こした辛い過去や歴史、世代間のギャップ等々、さまざまな課題とそれを乗り越える人々の姿を描いた映画に焦点を当てて上映
14	北部タイ巡回日本映画上映会	クンユアム郡、メーホンソン市、ピサヌローク市、チェンマイ	クンユアム郡、メーホンソン市、ナレースワン大学、パヤップ大学	クンユアム市、メーホンソン県、ナレースワン大学元日本留学生会・ナレースワン大学人文学部	2009.02.28 ~ 2009.03.07	バンコク日本文化センターで保有しているタイ語字幕付き日本映画（16ミリフィルム）を有効活用し、普段日本映画が上映される機会の少ない北部都市にて上映会を実施
15	プーケット日本人祭・日本映画上映会	プーケット	プーケットタウン・王妃記念公園	プーケット日本人会	2009.03.07	プーケット日本人祭に際し、バンコク日本文化センターで保有しているタイ語字幕付き日本映画（16ミリフィルム）を使用した日本映画上映会を実施。通常日本映画が商業上映される機会の少ないプーケットで対日理解を促進
16	バンコク日本映画祭2009「Celebration of SAKURA and Japanese Spring」	バンコク	SFワールドシネマ (Central World)	日本政府観光局 (JNTO)、SFワールドシネマ	2009.03.20 ~ 2009.03.22	時代・ジャンルを超えて、「桜」または「日本の春」を映像美で感じられる6作品を上映。タイ人及びタイに住む外国人の、日本に対する多面的な理解を促進

【日本語教育】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	日本語教育通信教育講座	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座第11期生を対象に、フォローアップ研修として日本語能力試験3級対策講座を実施
18	教材普及事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイの日本語教育事情に合わせた教材開発を実施
19	日本語教育広報誌『タウン』の発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ日本語教育機関及び日本語教師向けニューズレターを年4回作成・配布。印刷部数は各1,850部
20	紀要発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、9月に「日本語教育紀要第5号」を750部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布
21	日本語教育コンサルティング	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施
22	日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター、泰日経済技術振興協会		2008.04.01 ~ 2009.03.31	国内外の著名な講師を招き、タイの日本語教師を対象に、教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーを年4回実施。
23	北部タイ中等日本語教師研修会	チェンマイ	ユバラート高校	ユバラート高校	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家（ジュニア専門家）による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施
24	派遣専門家定期連絡会	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ国内で活動する国際交流基金派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を図る
25	講師室図書整備	バンコク	バンコク日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に、主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本語教師集中研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.04.21 ~ 2008.10.10	バンコクでの教師研修に参加が困難な地方在住の日本語教師を主な対象に、学期休みの4月及び10月を利用した短期集中型の研修を実施。前期研修会は4月21日～5月2日に、後期研修会は9月29日～10月10日に開講
27	日本語教師邦人研修会	バンコク	泰日経済技術振興協会	泰日経済技術振興協会	2008.05.12 ~ 2008.05.23	タイ国内の公的教育機関において日本語教育に携わることが決定している日本人で、教授経験1年未満の経験の浅い日本語教師に対する研修会。タイにおける日本語教授法の基礎習得を目的とした、日本語教授法の基礎やタイの日本語教育に関する講義を実施
28	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.05.26 ~ 2009.03.31	タイの高校で日本語教師が不足している状況を解決するため、他教科の高校教師を対象に、日本語と日本語教授法の習得を目的とした研修を実施
29	日本語講座運営(一般講座)	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.03 ~ 2008.09.13	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人を対象とした日本語講座。本年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計18コース19クラスを設定
30	日本語教師水曜研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.04 ~ 2009.02.27	日本語能力が比較的高いタイ人日本語教師を主な対象に、教授法に重点をおいた研修会を実施。前期は6月4日～9月12日、後期は11月14日～2月27日に開講。前後期各15回実施
31	日本語教師金曜研修会	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.06.06 ~ 2009.03.06	日本語能力試験3・4級のタイ人日本語教師を主な対象に、総合日本語と教授法の研修会を実施。前期は6月6日～9月19日、後期は11月7日～3月6日に開講。前後期各15回実施
32	日本語弁論大会	バンコク	バンコク 日本文化センター	在タイ大使館、タイ国元日本留学生協会	2008.08.31	在タイ大使館やタイ国元日本留学生協会などとの共催で、タイ国全土を対象とした弁論大会を実施
33	JENESYS/若手日本語教師派遣	バンコク	バンコク 日本文化センター		2008.10.14 ~ 2008.10.15	若手日本語教師の中間報告会を実施

【図書館運営】						
	事業名			期間	事業内容	
34	図書館運営			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	日本語・英語・タイ語の日本関係図書22,796冊(この他に視聴覚資料等2,668点)。月間平均入館者約5,348人(2009年3月現在)	
【出版・広報】						
	事業名			期間	事業内容	
35	季刊広報誌『Japan Letter』発行			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	本広報誌は文化交流に関する記事や事業の活動報告。季刊、英語・タイ語、1,600部。2007年度は58号(4-6月)、59号(7-9月)、60号(10-12月)、61号(1-3月)を発行	
【その他】						
	事業名			期間	事業内容	
36	広域活動強化事業(日本語)			2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	バンコク日本文化センターの広域活動対象国であるラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの各国に対する事業として、タイへの①「教師研修への招へい」、②「セミナーへの招へい」、③「講師の派遣」などを実施	
【本部事業受入】						
	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	第11回アジア漫画展(巡回展)	バンコク、ナコーンラチャシマー	バンコク日本文化センターアートスペース、ナコーンラチャシマー・ラチャパッド大学	ナコーンラチャシマー・ラチャパッド大学	2008. 07. 31 ~ 2008. 09. 21	1995年以降毎年開催しているアジア漫画展の第11回の展示。「アジアの若者文化」をテーマに、アジア各国の第一線で活躍する10名の漫画家の作品77点を紹介
38	UNIT ASIA ジャズコンサート2008	チェンマイ	パヤップ大学E. C Court Auditorium	パヤップ大学	2008. 11. 08	日本のジャズ、フュージョン、ポップスなど多様な音楽ジャンルで活躍する3人の気鋭のミュージシャン・三好功郎、則竹裕之、一本茂樹を中心に、アジア各地で活躍する優れたミュージシャンの参加を得て、このツアーの為に新たに編成するグループ「UNIT ASIA」の巡回公演

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	歌舞伎錦絵展覧会&歌舞伎舞踊レクチャーデモンストラーション	バンコク	ミュージアム・オブ・サイアム	ミュージアム・オブ・サイアム	2008. 12. 08 ~ 2008. 12. 20	国立劇場所蔵の歌舞伎錦絵の展覧会のオープニングにあわせ、歌舞伎舞踊レクチャーデモンストラーション公演を実施。単に錦絵を展示するだけでなく、錦絵で表現された歌舞伎の世界を踊り手が実際に演じることで、歌舞伎及び日本文化に対するより深い理解を促進
40	米田知子・須田悦弘「場が物語るもの」展	バンコク	100 TONSON Gallery	100 TONSON Gallery	2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 29	日メコン交流年2009記念事業として、「第13回アジア・アート・ビエンナーレ・バングラデシュ2008」に出品された米田知子、須田悦弘の作品を紹介する展覧会をバンコクにて開催
41	カワイイ・フェスタ～Meet the Kawaii Ambassador～	バンコク	Center Point @Central World	在タイ大使館、Qawaii	2009. 03. 28	我が国の「カワイイ」文化を、特に若者に対して紹介することで、日本のポップカルチャーに対する関心を高め、ひいては対日関心を高めることを目的とした事業。カワイイ大使である藤岡静香によるアニメ&制服講演のほか、当地人気アイドルNEKO JUMP によるミニ・コンサートやフォトコンテストなどを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	会場	期間	事業内容
42	トムヤム・プラーディップ展関連シンポジウム 「Japanese Art and Culture: Inside Out/ Outside In」	ジム・トンプソン・アートセンター	2008. 04. 24	長谷川祐子（東京都立現代美術館）、片岡真美（森美術館）、黒田雷児（福岡アジア美術館）を招へいし、日本の現代アートシーンの様々な側面について紹介し、討議、意見交換を実施
43	The Workshop for Weaving Silk Textiles 2008	マハサラカム大学 シルク・イノベーション・センター	2008. 08. 28 ~ 2008. 08. 29	東南アジア他近隣地域における絹織業の伝統支援やテクノロジー開発を支援する目的で、内外の研究者を集め、ファッションショーやワークショップ、展覧会などを開催。ワークショップで講演を行う吉本忍（国立民族学博物館民族文化研究部教授）の航空賃を助成

海外事務所

	事業名	会場	期間	事業内容
44	ラチャパット日本語主専攻スピーチコンテスト	ラチャパットの日本語教育を考える会・主専攻会	2009.01.11	ラチャパット日本語専攻大学生を対象にした日本語コンテストに対する経費助成を実施
45	北部タイ日本語教育ネットワークセミナー	パヤップ大学	2009.02.23	パヤップ大学が実施する日本語教育セミナーの経費助成
46	地唄舞プロジェクト	ダーマ ファウンデーション(パトラワディー・シアター)	2009.02.27 ~ 2009.03.07	バンコク郊外のラチャブリ県で開催されたFRINGE・フェスティバルの一環として、地唄舞の踊り手である花井粋蓮(俵野枝)のパフォーマンス&トークと、スペイン人写真家ザビエ・コマスによる写真展を同時開催
47	JTAT日本語ドラマコンテスト	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT)	2009.03.28	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT) が実施する、タイの高校生・大学生による日本語ドラマ(日本語劇)コンテストに対する経費助成
48	さくらネットワーク中核事業 (JTATセミナー)	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT)	2009.03.28	タイ国日本語日本文化教師協会 (JTAT) が実施する日本語教育セミナーに対する経費助成

【会場提供】

	事業名	会場	期間	事業内容
49	施設開放	バンコク日本文化センター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育に関するセミナー等への教室貸出

マニラ日本文化センター

合計額 33,916,808 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	J-POP Anime Matsuri	マニラ	シャングリラ・プラザモール	在フィリピン大使館	2008.07.26 ~ 2008.07.27	日比友好月間の一環として、在フィリピン大使館広報文化センターと共催で日本のポップカルチャー紹介のために、アニメ映画の上映やコスプレイベント等を実施。
2	マルチメディア・アート展『Designing Peace』	マニラ	デ・ラ・サール大学現代美術及びデザイン美術館	デ・ラ・サール大学現代美術及びデザイン美術館	2009.02.05 ~ 2009.03.31	フィリピンを含む東南アジア諸国のアーティストによる紛争をテーマとした美術展を開催。
3	エコプロダクツ展	マニラ	SMXコンベンション・センター	アジア生産性機構	2009.03.19 ~ 2009.03.22	アジア生産性機構が主催するエコ・プロダクツ展に、世界遺産写真展を出展。また、『アボン小さな家』など環境関連の映画4作品を上映。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	Wifi Body 3 コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル	マニラ	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	2008.06.10 ~ 2008.06.16	北村成美を招へいし、公演やワークショップを実施。また、同氏が審査員を務めたコンペティションの優勝者1名を、横浜ダンスコンペティションに派遣。
5	ヴァージン・ラブ・フェスト	マニラ	フィリピン文化センター	THE WRITER'S BLOC, INC.	2008.06.26 ~ 2008.07.06	各国の劇作家による未発表短編作品を上演。日本からは吉田智久（演出家）が参加。
6	沖縄舞踊公演	マニラ	フィラムライブ劇場、フィリピン大学劇場	沖縄文化民間交流協会 フィリピン大学 在フィリピン大使館	2008.07.03 ~ 2008.07.05	沖縄文化民間交流協会の協力で、組踊の人間国宝2名（喜舎場盛勝、喜瀬慎仁）を含む、沖縄舞踊の公演とワークショップ。日比友好月間関連行事。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	舞踏家ビサヤ派遣	イロイロ、セブ	SMセブシティ・アートセンター	ビサヤ諸島ビジュアルアート展・会議	2008.11.25 ~ 2008.12.02	日本人舞踏家の西尾純をビサヤ地方に派遣し、イロイロ市（パナイ島）及びセブ市で公演とワークショップを実施。セブではビサヤ地方の代表的アートフェスティバルであるVIVA-EX-CON（第10回ビサヤ諸島ビジュアルアート展・会議）に参加。
8	福田千栄子・琴公演	マニラ	SMモールオブアジア、フィリピン大学劇場、マンダリン・オリエンタル・ホテル	フィリピン大学	2009.02.26 ~ 2009.02.28	文化交流使の福田千栄子（箏曲演奏家）によるワークショップ、レクチャー、演奏会を実施。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	第2回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	アリアンス・フランセーズ インスティテュート・セルバンテス ゲーテ・インスティテュート 在フィリピン・イタリア大使館 在フィリピン・フランス大使館 在フィリピン・チェコ共和国大使館	2008.08.26 ~ 2008.09.14	日独西仏伊チェコの文化交流団体等6機関共催によるサイレント映画祭。日本は『瀧の白糸』を上映
10	日本映画祭（ビコール地方巡回）	タバコ、レガスピ	タバコ国立高校、アクイナス大学	タバコ国立高校、アクイナス大学	2008.09.24 ~ 2008.09.26	ビコール地方の2都市を巡回し、『火垂るの墓』、『たそがれ清兵衛』などを上映。
11	姫田忠義ドキュメンタリー映画上映会	マニラ	ブラック・テント		2009.03.28	映像民俗学者の姫田 忠義を招き、『イヨマンテー熊送り』、『越後奥三面』の上映と講演会を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	ウィークリーワークショップ	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	毎週金曜日夕方に開催する日本語教師向けのワークショップ。
13	ニューズレター『みりえんだ』発行				2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターが発行する日本語教師向けニューズレター。年2回発行。発行部数は2,000部。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本語教育研究交流会	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践/研究月例報告会を実施。
15	日本語キャラバン	マニラ	ケソンシティ・サイエンス・ハイスクール、パラニャケ・サイエンス・ハイスクール、ヴァレンズエラ・サイエンス・ハイスクール、サウヨ・ハイスクール、タギグシティ・サイエンス・ハイスクール		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中等教育レベルにおける日本語教育の振興を目的に、日本文化紹介及び簡単な日本語講座をパッケージ化した巡回事業。
16	第7回フィリピン日本語教師フォーラム	マニラ	JICAフィリピン事務所 オーディトリウム		2008.05.16 ~ 2008.05.17	フィリピン国内の日本語教師のネットワーク形成と強化を目的に、日本語教師を対象としたフォーラムを開催。「Jポップカルチャーと日本語教育」をテーマに、日本語教育におけるポップカルチャーの活用について、日本語教育専門等による講演や討議を実施。
17	研究者のための読み会	マニラ	マニラ日本文化センター		2008.10.01 ~ 2009.03.31	日本語教育の研究者や研究者を目指す者のネットワーク形成支援を目的に、日本語教育に関する研究会を実施。
18	第8回フィリピン日本語教師フォーラム	タガイタイ	キャニオンウッズ	フィリピン人日本語教師会	2008.11.15 ~ 2008.11.16	フィリピン国内の日本語教師間のネットワーク強化を目的に、タガイタイにて1泊2日の合宿形式のフォーラムを開催。
19	第7回セブ日本語弁論大会	セブ	SMセブシティ	セブ日本人会、セブ日本人商工会議所	2009.01.31	セブ日本人会等が主催する日本語弁論大会に審査員1名を派遣。
20	日本語フィエスタ	マニラ	SMモールオブアジア		2009.02.28	マニラ、セブ、ダバオで予選を勝ち抜いた出場者による第36回日本語弁論大会、日本語学習者などによるパフォーマンスコンテストをメインとした日本文化紹介事業。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	年間利用者数3,258人。レファレンス件数2,953件。貸出点数1,643点。

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターのイベント、グラントなどを紹介するサイト。年間アクセス件数26,421件。 URL: <a href="http://www.jfmo.org.ph/">http://www.jfmo.org.ph/</a>
23	ニューズレター『SUKI』発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マニラ日本文化センターの文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数6,000部。

## 【教室事業】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
24	先生の日本語2 (SN2)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.04.09 ~ 2008.07.30	日本語能力検定4級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計64時間。
25	上級者日本語演習 (SNA)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.04.12 ~ 2008.08.09	日本語能力検定2級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計48時間。
26	日本語教師のための日本語指導法講座 (RC2)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.07.10 ~ 2008.09.02	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座。日本語教育の基礎的技術の整理、その発展/応用について理論、実習の両面から学習。計32時間。
27	日本語教育実習講座 (PT-b)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.08.04 ~ 2008.09.03	日本語能力検定3級以上の日本語教師向け教授法講座。日本語教授法の基礎を学習。計16時間。
28	先生の日本語3 (SN3)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.10.08 ~ 2009.12.15	日本語能力検定3級以上の日本語教師対象の日本語運用力向上を目的とする講座。計32時間。
29	上級者日本語演習 (SNA)	マニラ	マニラ日本文化センター	2008.10.11 ~ 2009.12.13	日本語能力検定2級以上の日本語教師向け教授法講座。時事問題等に関する文章読解、作文を学習。計18時間。
30	先生の日本語1 (SN1)	マニラ	マニラ日本文化センター	2009.02.03 ~ 2009.05.26	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座。
31	日本語教育実習講座 (PT)	マニラ	マニラ日本文化センター	2009.02.07 ~ 2009.03.28	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け教授法講座。計24時間。

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	日本映画祭	マニラ、セブ、ダバオ	シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター、アヤラ・センター・セブ、ガイサノ・サウス・シティモール	フィリピン大学フィルムセンター フィリピン文化センター アヤラ・センター・セブ シャングリラ・プラザ・モール セブ日本人商工会議所 セブ駐在官出張事務所 セブ日本人会 ダバオ駐在官出張事務所	2008.07.08 ~ 2008.08.16	アニメ『時をかける少女』、『パッチギ!』など日本映画8作品の上映。日比友好月間関連行事。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
33	小規模助成（文化・芸術）第2回マンガホリック会議	GROUNDBREAKERS, INC.	2008.05.31	コスプレコンテストやアニメ、マンガに関するクイズショーなど、マンガをテーマにした会議の開催経費の一部を助成。
34	小規模助成（日本研究・知的交流）フィリピン地理学会	フィリピン地理学会	2008.06.03 ~ 2008.06.08	東南アジア地理学会2008年国際会議の開催経費の一部を助成。
35	小規模助成（文化・芸術）バギオ日系人写真展	Baguio Benguet Studies	2008.06.20 ~ 2008.08.30	バギオ市創設100周年を記念し、今日のバギオ発展に寄与した日系人の歴史についての写真展を開催。開催経費の一部を助成
36	小規模助成（文化・芸術）フィリピン大学言語学部	フィリピン大学	2008.07.01 ~ 2008.07.31	日比友好月間期間中に、日本文化及び日本語紹介のために、生け花、着付け、折り紙体験や相撲大会、日本語学科の学生が制作した日本に関するショートフィルムの上映、アニメ等に関する展示を実施。
37	小規模助成（日本研究・知的交流）KAPWAセミナー	Heritage and Arts Academies in the Philippines, Inc.	2008.07.26 ~ 2008.07.28	日本、フィリピン、韓国などアジア各国の民俗学者等がグローバル化社会における地域固有の知識や慣習、伝承の妥当性について報告・討議する国際シンポジウムの実施。開催経費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
38	小規模助成（日本語）JFCフォーラム	フィリピン大学アジアセンター メグミアカデミー	2008.08.24 ～ 2008.08.25	UPアジアセンター及びメグミアカデミー主催の、日比混血児童の日本語教育に関する公開フォーラム。フォーラム実施経費の一部を助成。
39	小規模助成（文化芸術）トスカ公演	フィリピン教育演劇協会（PETA）	2008.08.29 ～ 2008.08.30	黒テント（日本）、PETA（フィリピン）、実践劇場（韓国）が共同プロジェクトで、『トスカ』を題材に3作品を上演。開催経費の一部を助成。
40	小規模助成（文化・芸術）第4回フィリピン児童伝統演劇祭	International Organization of Folk Arts Philippines Foundation, Inc.	2008.09.14 ～ 2008.09.20	第4回フィリピン児童伝統演劇祭の開催経費の一部を助成
41	小規模助成（日本研究・知的交流）アジア民族音楽研究機関フォーラム	フィリピン大学民族音楽学センター	2008.10.12 ～ 2008.10.15	関係者間のネットワーク構築及び技術・情報交流を目的に、アジア各国の民族音楽研究機関の関係者が、民族音楽研究の方法論や各機関の活動状況について発表、討論を実施。実施経費の一部を助成。
42	小規模助成（文化芸術）ネオアングノ・フィエスタ	Neo-Angono Artists Collective	2008.11.11 ～ 2008.11.25	毎年アングノで開かれる芸術祭「5th Public Art Festival Residency Program」に、舞踏家・西尾 純を招へいし、公演やワークショップを実施。
43	小規模助成（日研・知的）ACASジャパン・サミット	ACAS	2008.11.22	高校生を対象とした日本の文化、社会、政治、経済について紹介・討議するサミットの開催経費の一部を助成。
44	小規模助成（文化芸術）モスレム女性訪日研修報告会	ピース・ウーマン・パートナーズ	2008.11.24 ～ 2008.11.25	ミンダナオ地域で活動する女性のイスラム知識人グループによる訪日研修の成果報告会実施経費の一部を助成。
45	小規模助成（文化芸術）日比混血児童のための演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN))	2009.03.01 ～ 2009.04.30	日比混血児童を対象にした演劇ワークショップ。児童20名程度が参加し、5月にはワークショップの成果を披露するミュージカル公演を実施。開催経費の一部を助成。
46	小規模助成（文化芸術）日比平和国際演劇祭ワークショップ	日比平和国際演劇祭実行委員会	2009.03.10 ～ 2009.05.06	バギオ市制100周年の歴史と日系人社会について、日比の演劇人等による演劇ワークショップ、研究会実施に係る経費の一部を助成。
47	小規模助成（文化芸術）琴ワークショップ	フィリピン大学音楽学部	2009.03.18 ～ 2009.03.21	矢野守彦を招へいし、琴の修繕技術に関するワークショップを実施。招へい旅費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
48	小規模助成（文化芸術）MC2ダンス フォーラム	Dance Forum	2009.03.20 ～ 2009.03.22	横浜ダンスコンペティションで優秀賞を受賞したローサム・プルデンシアド・ジュニアの帰国公演の開催経費の一部を助成。

クアラルンプール日本文化センター

合計額 114,981,149 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Dr. Kamaruddin 写真展	バンギ	マレーシア国民大学	マレーシア国民大学	2008.07.04 ~ 2008.08.03	Dr. Kamaruddin (マレーシア国民大学) が日本滞在中に撮影した日本の風景写真の展覧会。クアラルンプール日本文化センターはオープニングレセプション実施 (茶道デモンストレーション等) 部分を担当
2	「こけしの世界」展	ペナン	ペナン州立博物館	ペナン州立博物館	2009.03.01 ~ 2009.04.30	クアラルンプール日本文化センター所蔵の「こけしの世界」展セットの展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	早稲田プラスアンサンブルコンサート	クアラルンプール	Istana Budaya (国立劇場) 小ホール	Istana Budaya (国立劇場)	2008.11.23	早稲田大学交響楽団のOBが結成している金管合奏団、早稲田プラスアンサンブルによるクアラルンプール公演。クアラルンプール日本文化センターは共催者として広報実施。
4	Kudan Project 「美藝公」	クアラルンプール	Black Box Theatre (ASWARA内)	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 文化庁	2008.11.23 ~ 2008.12.01	Kudan Projectによる『美藝公』公演。文化庁助成事業。
5	水野信行 ホルントリオコンサート	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre		2009.01.09 ~ 2009.01.10	ホルン奏者水野信行をリーダーに、バイオリン、ピアノのトリオ編成でコンサートを実施。コンサートの翌日には若手ホルン奏者を対象にしたワークショップも実施。観客数331名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	文化交流使 福田千栄子ツアー	クアラルンプール  ペタリン ジャヤ ペナン  シャーアラム	Orchestra Hall (ASWARA内) 在マレーシア大使公邸 在マレーシア・フランス公使公邸 ntv7 (テレビ局)  チュンリン高校 マレーシア科学大学 在ペナン総領事公邸 マラ工科大学	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 在マレーシア大使館 在ペナン総領事館 文化庁	2009.03.03 ~ 2009.03.22	文化交流使である福田千栄子によるマレーシア国内ツアー。ペナン及びクアラルンプール地域において、様々な教育機関でのワークショップ、テレビ局での実演、公館でのミニコンサート、一般向けリサイタルなど、計12回のイベントを実施
7	コンドルズ現代舞踊公演	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	Kuala Lumpur Performing Arts Centre 文化庁	2009.03.17 ~ 2009.03.22	コンテンポラリーダンスグループ「コンドルズ」による公演。21日には公演前に日本のコンテンポラリーダンスに関するトークも開催。3回公演で観客1,529名
8	野田秀樹ワークショップ、パブリックトーク	クアラルンプール	Black Box Theatre (ASWARA内) Lecture Hall (ASWARA内)	国立芸術文化遺産アカデミー (ASWARA) 東京芸術劇場	2009.03.20 ~ 2009.03.22	野田秀樹 (劇作家、演出家、俳優) によるワークショップ、及びパブリックトークを実施。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本研究巡回講演会 添谷芳秀	クアラルンプール コタキナバル	マラヤ大学 サバ大学	マラヤ大学 サバ大学 マレーシア日本研究会 (MAJAS)	2008.07.28 ~ 2008.08.01	日本外交論の専門家である添谷芳秀 (慶応大学教授) を招へい。「日本のミドルパワー外交とアセアン」というタイトルで講演会を実施。2回講演で300名が参加
10	現代日本セミナー	クアラルンプール ペナン  バンドルス リブガワン	マラヤ大学  マレーシア科学大学  ブルネイ大学	マラヤ大学 マレーシア科学大学 マレーシア日本研究会 (MAJAS) ブルネイ大学	2009.03.11 ~ 2009.03.17	吉野耕作 (上智大学教授)・岩淵功一 (早稲田大学教授) によるポップカルチャーに関する講演会。吉野教授は "Nationalism and Sport in Contemporary Japan"、岩淵教授は "Media Globalization and Trans-Asian Cultural Dialogue" をタイトルに講演。参加者数397名

## 【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	定期日本映画上映会	クアラルン プール	マレーシア観光セン ター マレーシアフィルム開 発公社	マレーシア観光セン ター、マレーシアフィ ルム開発公社、在マ レーシア大使館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東アジアフィルムライブラリー所蔵の 16mmフィルムを使用した日本映画上映 会。4月はマレーシア観光センター、5 月以降はマレーシアフィルム開発公社 にて実施。年間を通し、全18回実施
12	日本映画祭	クアラルン プール ペタリン・ ジャヤ ペナン	Golden Screen Cinemas Mid-Valley Golden Screen Cinemas One Utama Golden Screen Cinemas Gurney Plaza	Golden Screen Cinemas Sdn. Bhd.	2008.07.15 ~ 2008.07.27	近年に制作された日本映画7本と、2007 年に逝去した市川崑監督作品3本の追悼 上映。公式映画チャンネルASTRO KIRANA、公式ラジオ局MYFMなどが広報 を援助。ウルトラマンメビウス&ウル トラ兄弟の上映関連イベントとして、 写真撮影会やラッキードローも開催。 入場者3,501名

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	学校・機関訪問	マレーシア 全土	各機関		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語国際センター教材寄贈やクアラ ラルンプール日本文化センター小規模日 本語教材寄贈の寄贈先機関を訪問し教 材の使い方等を指導するとともに、過 去にも寄贈を行なった機関で教材の利 用方法や管理状況などについてモニタ リングを実施。その他、日本語教育機 関が行なう日本文化の日などのイベン ト等の機会も利用し、学校長や日本語 教師と面談して日本語教育の意義をア ピールしたりニーズ調査を実施。
14	小規模日本語教材寄贈	プトラジャ ヤ ポートディ クソン クチン	SMK Putrajaya  SMK Tinggi Port Dickson Kolej Datu Patinggi Abang Haji Abdillah	SMK Putrajaya  SMK Tinggi Port Dickson Kolej Datu Patinggi Abang Haji Abdillah	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育を始めたばかりで教材もな く日本語国際センターの教材寄贈プロ グラムを待っていたのでは授業が立ち 行かないような機関・学校に対し、緊 急に基本教材の寄贈をおこなう立ち上 げ支援事業。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	浦和研修事前オリエンテーション	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語国際センターの海外日本語教師研修に参加する教師に対して事前オリエンテーションを行い研修内容の説明をおこなうとともに、帰国後の報告会を視野に Personal Mini Projectを設定させて事前準備を支援するなど、研修をより実り多いものとしてもらうための手助けとして実施。
16	シンガポール・ブルネイネットワーク形成	シンガポール	各機関		2008.04.01 ~ 2009.03.31	シンガポールおよびブルネイとのネットワークを強化し、クアラルンプール日本文化センターの行なうセミナーなどの教師支援事業や日本語能力試験をはじめとする各種本部事業をより一層有効なものとするため、両国の日本語教育機関の訪問や日本語関係事業を視察、関係者と懇談。
17	高校生日本語弁論大会	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館、マレーシア日本人商工会議所、クアラルンプール日本人会	2008.04.27	2004年から開始し今年で5回目。全寮制中等学校、一般中等学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から18歳までの高校生（13名が出場）により実施。「東京賞」1名は、日本のNPO「エデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム」主催の第13回JASスピーチコンテストに、「関西賞」2名は関西国際センターの「日本語学習者訪日研修（高校生）」に参加。
18	Japanese Language Resources Development Course	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター、クアラルンプール日本人会、在マレーシア大使館、日系企業	マレーシア教育省、クアラルンプール日本人学校、在マレーシア大使館	2008.05.07 ~ 2008.07.02	中等教育日本語教員養成プログラム参加者のうち、JENESYS若手日本語教師招へいプログラムに参加できなかった教師3名を対象に、日系のスーパードヤや日本人学校の訪問など、マレーシアで体験・収集できる日本文化リソースに関して実習を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	日本語教育地域セミナー (北部)	ペナン	ペナン日本語協会	ペナン日本語協会	2008.05.03 ~ 2008.05.04	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目(ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象)と、日本語力向上を目的とした2日目(主にノンネイティブが対象)に計32名が参加。
20	日本語教育地域セミナー (東マレーシア)	コタキナバル	Imperial International Hotel Kota Kinabaru		2008.06.28 ~ 2008.06.29	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目(ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象)と、日本語力向上を目的とした2日目(主にノンネイティブが対象)に計14名が参加。
21	日本語弁論大会 予備教育 の部	スランゴール州	スランゴール産業大学 (UNISEL)	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プールの日本人会	2008.07.05	日本語弁論大会一般の部から独立して13回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生(2年次まで)を対象に実施。12名(クアラルンプール日本文化センターを含む共催機関4機関が各々3名を選出)が出場。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯を授与。約500名が来場。
22	日本語弁論大会 一般の部 (クアラルンプール地区大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プールの日本人会	2008.07.20	1985年に始まってから24回目。平成20年度は前年度に引き続き日マレーシア友好年を記念して、出場者の日本滞在期間を90日以内に限定した「General Class」に加え、滞日歴無制限の「Special Class」を実施。各クラスの上位入賞者が全国大会にすすむ。14名が会場(General 9名、Special 5名)、55名が来場。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	風呂敷ワークショップ	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール日本人会	2008.07.20	日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの5回目。平成20年度日本語弁論大会一般の部（クアラルンプール大会）の審査会議の間に実施。風呂敷に関するミニレクチャーの後、参加者上限の20名が、実際に「すいか包み」や「ツインタワー包み」などに挑戦。
24	みんなの日本語フェスティバル	クアラルンプール	マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部、マレーシア日本語協会、在マレーシア大使館	2008.07.26 ~ 2008.07.27	マレーシア日本語協会、マラヤ大学言語学部、在マレーシア大使館、クアラルンプール日本文化センターの共催による日本語および日本文化紹介のイベント。年1回開催、平成20年度は3回目。在マレーシア大使による日本語及び日本文化に関するレクチャーのほかレベル別日本語講座など日本語を使った活動、浴衣着付や風呂敷ワークショップなどの文化体験を実施。ボランティア教師85名、参加者437名。
25	日本語弁論大会 イポー大会	イポー	Hotel Excelsior	ペラ馬日友好協会、在ペナン総領事館	2008.08.02	平成20年度は22回目。出場者6名。上位入賞者2名が全国大会に出場。
26	日本語教育地域セミナー（東海岸-南部-中部）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.08.02 ~ 2008.08.03	マレーシアの日本語教師を対象に、国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施しているセミナー。教授法をとりあげる1日目（ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象）と、日本語力向上を目的とした2日目（主にノンネイティブが対象）で構成。
27	日本語弁論大会 ペナン大会	ペナン	The Caring Society Complex	ペナン日本語協会、在ペナン総領事館、日本マレーシア協会	2008.08.16	平成20年度で29回目。出場者は学生の部1名、一般の部General Class 14名。ペナン大会General Classの上位入賞者2名は全国大会に出場。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本語弁論大会一般の部 (全国大会)	クアラルン プール	クアラルンプール日本 人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プール日本人会	2008.08.23 ～ 2008.08.24	1985年に始まってから24回目。前年度 につづき平成20年度も日本滞在期間90 日以内に限定した「General Class」に 加え、滞日歴無制限の「Special Class」を実施。地区予選の上位入賞者 がスピーチを行ない、General Class の優勝・準優勝者は社団法人在外企業 協会が招へいする日本研修旅行に参 加。Special Class 優勝者には大使杯 と副賞授与。出場者数はGeneralに7名 (クアラルンプール3名、ペナン2名、 イポー2名)、Specialに3名(クアラル ンプール)。
29	日本語スキットコンテスト	クアラルン プール	クアラルンプール日本 人会	在マレーシア大使館、 マレーシア日本人商工 会議所、クアラルン プール日本人会	2008.08.24	初めて実施する平成20年度は大学生を 対象に実施。日本語でスキットを演じ る様子をビデオやDVDなどで撮影して応募、日本語弁論大会の共催4機関で審査の結果、上位入賞グループが日本語弁論大会一般の部(全国大会)で実際に上演。
30	日本語教育研究発表会・浦 和研修報告会	クアラルン プール	マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部	2008.10.11	マレーシアにおける日本語・日本語教 育(学)に関する研究発表および日本語 国際センターの海外日本語教師研修 の参加者による報告をおこなうセミ ナー。年1回開催、平成20年度は5回 目。研究発表会では公募による口頭発 表2件とポスター発表3件、研修報告 会では研修参加者による口頭発表2件 およびポスター発表(展示含む)9件 を実施した。研究発表会に102名、研修 報告会には108名が参加。
31	日本語教育セミナー	クアラルン プール	マラヤ大学予備教育部 日本留学特別コース (AAJ)	マラヤ大学予備教育部 日本留学特別コース (AAJ)	2009.02.28 ～ 2009.03.01	毎年1回、マレーシア全域の日本語教 師を対象に実施。2008年度のテーマは 「日本語音声教育を考えよう」。講師 は松崎寛(広島大学准教授)及び磯村 一弘(国際交流基金日本語国際セン ター専任講師)。2日間で263名が参 加。

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	蔵書数18,218点、年間利用者数6,502名、年間貸出点数8,687点

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	広報誌『TEMAN BARU』発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	クアラルンプール日本文化センターのニュースレターを隔月で発行。平成20年度は13,500部を発行
34	日本語教育広報誌（『ブンガラヤ』）	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育専門のニューズレター。平成20年度は4,000部発行

## 【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	一般日本語講座	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	中上級レベルの学習者を対象とした日本語講座を運営。1年間のコースを基本に、平成20年度は「ビジネス場面で学ぶ日本語とマナー」「日本語能力試験（JLPT）1級対策」の2種類の短期コースを実施。受講者は、延べ131名。
36	日本語教師養成理論実習講座	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.06.18	日本語能力試験1級程度の日本語力を有する日本語学習者および永続的にマレーシアに在住する日本人に対し、初級日本語講座で教えることができる程度の教授能力を獲得させることを目標とする。前々年度から始まった2年コースの2年目後半。2年目に継続登録した受講者は11名。全員が修了。
37	ちりめん小物作りワークショップ（1）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2008.07.05	ちりめん織りの布地を使用したポケットティッシュ入れ作り。参加者35名。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	アニメトーク	クアラルン プール サイバー ジャヤ	クアラルンプール日本 文化センター マルチメディア大学	マルチメディア大学	2009.02.11 ~ 2009.02.12	イギリスのアニメ専門家ヘレン・マッ カーシーによる日本のアニメに関する トーク。11日は手塚治虫に関する“Who is Osamu Tezuka?”、12日はアニメの歴史 に関する“The History of Anime since 1950, and Its Spread across the World”をタイトルに講演
39	ちりめん小物作りワーク ショップ（2）	クアラルン プール	クアラルンプール日本 文化センター		2009.02.14	ちりめん織りの布地を使用した髪飾り 作り。参加者49名。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	和風作りワークショップ （プルリス）	カンガ	プルリス州立ホール	在ペナン総領事館	2008.07.20	参加者自らが和風を作り、実際にあげ るワークショップ。在ペナン総領事館 がプルリスで実施した日本文化紹介イ ベントの一環として実施。
41	和風作りワークショップ （シャーアラム）	シャーアラ ム	スランゴール州立博物 館	スランゴール州立博物 館	2008.08.27	参加者自らが和風を作り、実際にあげ るワークショップ。同博物館が実施し た和風展覧会の機会を捉え、オープニ ング記念事業として実施。障害者学校、 小学校、中学校の生徒60名が参加。
42	文化人第三国派遣（ミャン マー・折り紙）	ヤンゴン	在ミャンマー大使館ア センブリーホール	在ミャンマー大使館	2008.10.21 ~ 2008.10.24	クアラルンプール在住の日本人折り紙 専門家である須部久子、宮内明美の2名 をミャンマーに派遣。デモンストレー ション、ワークショップを実施。計3回 で353名が参加
43	事務所移転記念レセプショ ン	クアラルン プール	クアラルンプール日本 文化センター		2008.12.01	2008年9月の事務所移転に伴い、レセプ ションを開催。ウンクアジズ・元マラ ヤ大学学長による記念レクチャー「俳 句とパントウン」や茶道デモンスト レーションを披露。参加者は大学関係 者、関係省庁、外国文化機関、日系団 体、アーティスト等。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
44	文化人第三国派遣（ブルネイ・和太鼓）	バンドルシリブガワン	ガドン・ショッピング・モール ジェルドン・インターナショナル・スクール 国際会議場	在ブルネイ大使館	2008.12.03 ～ 2008.12.06	クアラルンプール在住の日本人和太鼓チーム（和太鼓3名+笛1名）をブルネイに派遣。大型商業施設や学校で公演・ワークショップを実施
45	サラワク日本文化祭	クチン	サラワク州立図書館	サラワク州立図書館	2009.02.20 ～ 2009.02.21	巡回展「現代日本の陶磁器」展開催に合わせ、日本文化祭を開催。日本映画（「ドラえもん：のび太の恐竜 2006」、「ウォーター・ボーイズ」）上映のほか、折り紙ワークショップ、伝統玩具デモンストレーション、浴衣ワークショップなどのイベントを実施

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	矢沢専門家シンガポール日本語教師の会セミナーへの出講	シンガポール	シンガポール日本人会館	シンガポール日本語教師の会	2008.08.15 ～ 2008.08.16	シンガポール日本語教師の会主催のセミナーにクアラルンプール日本文化センター講師が出講。「言葉の学習に文化学習を取り入れよう」をテーマに実施。77名が受講

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	事業内容
47	SYBIL-Theatre Performance	The Actors Studio Sdn. Bhd.	第2次世界大戦において看護師として従事したMs. Sybil Kathigasuの回顧録をもとに、日本の占領下にあったマレーシア ペラ州イポーを舞台にした演劇公演。日本人俳優1名分の謝金、国際航空賃を助成
48	Kajang Community Art Carnival (KCAC) 2008-Revive Our Culture Town	New Era College	カジャンのコミュニティにおける芸術振興のための教育プロジェクト。キュレーターはDr. Wong Oi Min。日本のPUK Puppet Theatreからアーティスト2名を招へい。日本からのアーティストにかかる国際航空賃、謝金、通訳費を助成

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
49	Ikebana's Public Demonstration and Workshop: "Ever Green"	Ikebana International KL Chapter 72	2008.06.23 ~ 2008.06.27	日本（沖縄）からの講師2名による生け花のワークショップ及び展示会。日本からの講師にかかる国際航空賃・宿泊費を助成
50	3rd International Language Learning Conference	Centre for Languages and Translation, Universiti Sains Malaysia (USM)	2008/10/29 ~ 2008/10/31	マレーシア科学大学言語翻訳センター主催の国際会議。「Current Practices in Curriculum and Materials Development」をテーマとして、日本語教育をはじめ、各外国語教育、外国語の研究者、教師が会議を通して意見交換、情報の共有を行った。近藤彩（政策研究大学院大学准教授）の招へいにあたり、謝金および旅費を助成。参加者約350名。
51	Animation Nation Seminars	Singapore Film Society	2008.10.30 ~ 2008.11.03	シンガポールにおいて開催された世界各国の優れたアニメを紹介するイベントで、今回は日本のアニメを特集。日本から招へいされた山村浩二（アニメ作家）、森田修平（アニメ作家）、松下日出男（プロデューサー）についての謝金、国際航空賃、宿泊費、通訳費を助成
52	Centre for Language Studies International Conference	Centre for Language Studies, National University of Singapore (NUS)	2008/12/04 ~ 2008/12/07	シンガポール国立大学語学教育センター主催の国際会議。「Media in Foreign Language Teaching and Learning」をテーマに日本語教育をはじめ、外国語教育の研究者、教師がお互いに情報・意見を交換、共有。基調講演者の一人であるリチャード・ハリソン（神戸大学准教授）の招へいにあたり、旅費について助成を行った。



海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
53	A Light Sleep (M1 Singapore Fringe Festival 2009: Art and Family)	The Necessary Stage Ltd.	2008.12.10 ~ 2009.01.18	世界各国の演劇、ダンス、インスタレーション、フィルムなど、様々な分野の先鋭的な芸術を紹介するフェスティバル。その目玉作品として、日本から現代アーティスト岩井成昭を招へいし“A Light Sleep”を制作。国際航空賃を助成
54	KARAOKE	Tanjung Aru Pictures	2008.12.10 ~ 2008.12.21	テキストや字幕を視覚的に用いた、マレー語による実験的/物語的映画作品(新作)プロジェクト。日本よりサウンドエンジニア1名を招へいし、制作準備を行った。日本からの招へい旅費、謝金を助成
55	KL Design Week 2009	KL Design Week Festival Committee	2009.03.28 ~ 2009.04.04	世界各国からのデザイン、インスタレーションの展覧会で、同種のイベントではマレーシアにおいて過去最大。各国から招へいされたアーティストのうち、日本からのアーティスト2名の旅費を助成

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
56	文化備品貸出	Radio Televisyen Malaysia (RTM)	2008.04.14	ドラマ“Namaku Bukan Setsuko”撮影に対し、文化備品を貸出
57	文化備品貸出	INTI International University Collge, Nilai, Negri Sembilan	2008.05.15 ~ 2008.05.21	“Kaisouki Matsuri 2008”イベントに対し、文化備品を貸出
58	文化備品貸出	Kuen Cheng Girls' High School, Kuala Lumpur	2008.05.22 ~ 2008.06.10	“Kuen Cheng Co-Curriculum and Cultural Exhibition Fair-100 Years Celebration”イベントに対し、文化備品を貸出
59	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2008.05.23 ~ 2008.05.26	“REPOT [MIND+MINE]” 2008 Malaysia Tour 舞台公演に対し、備品を貸出
60	文化備品貸出	PTA of Sekolah Kebangsaan USJ 12, Subang Jaya, Selangor	2008.06.20 ~ 2008.06.25	“Family Carnival”イベントに対し、文化備品を貸出
61	文化備品貸出	Ikebana International KL Chapter 72	2008.06.25 ~ 2008.06.26	“Evergreen” Ikebana Demonstration イベントに対し、文化備品を貸出
62	文化備品貸出	Sekolah Menengah Kebangsaan St. John, Kuala Lumpur	2008.06.26 ~ 2008.07.03	“International Understanding Day” イベントに対し、文化備品を貸出

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
63	文化備品貸出	The Instant Café Theatre Company	2008.06.27 ~ 2008.07.11	"AIRCON"舞台公演に対し、備品を貸出
64	文化備品貸出	Universiti of Malaya, Kuala Lumpur	2008.07.07 ~ 2008.07.09	学生への日本文化紹介の一環(Japan Day Event)として、文化備品を貸出
65	文化備品貸出	Sekolah Menengah Kebangsaan Perempuan Methodist, Klang, Selangor	2008.07.11 ~ 2008.07.22	"Japanese Carnival Day 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
66	文化備品貸出	Unibersiti Malaysia Terengganu, Terengganu	2009.08.02 ~ 2009.08.18	"Language Festival 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
67	文化備品貸出	Universiti Pendidikan Sultan Idris, Perak	2009.08.19 ~ 2009.09.02	"International Language Festa 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
68	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia, Selangor	2008.09.10 ~ 2008.09.19	"Pesta Tanglung UKM 2008"イベントに対し、文化備品を貸出
69	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2008.09.22 ~ 2008.09.29	"Breaking/ Ka Si Pe Cah"舞台公演に対し、備品を貸出
70	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo Malaysia	2009.01.06 ~ 2009.01.07	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸出
71	文化備品貸出	Kolej Universiti Islam Antarabangsa, Selangor	2009.02.03 ~ 2009.02.13	"Japan Day 2009"イベントに対し、文化備品を貸出
72	文化備品貸出	Universiti Malaysia Sabah, Sabah	2009.03.02 ~ 2009.03.27	"Japanese Cultural Week"イベントに対し、文化備品を貸出
73	文化備品貸出	UCSI University, Kuala Lumpur	2009.03.02 ~ 2009.03.27	"Bunkasai Night"イベントに対し、文化備品を貸出
74	文化備品貸出	Universiti Malaysia Terengganu, Terengganu	2009.03.27 ~ 2009.04.07	"Japanese Cultural Week"イベントに対し、文化備品を貸出

ニューデリー日本文化センター

合計額 96,158,579 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	生け花ワークショップ	パロ（ブータン）	国立博物館		2008.07.20 ～ 2008.07.21	インド人講師による生け花の紹介。ブータンの政府関係者、一般市民を対象に実施。
2	写真展「日本の世界遺産」	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.11.01 ～ 2008.11.15	日本の世界遺産を三好和義（写真家）が撮影した写真展。展示作品はニューデリー日本文化センター所蔵。デリー日本文化月間の行事の一つ。
3	善光寺上人展	デリー	国立博物館	善光寺上人展実行委員会	2008.11.11 ～ 2008.12.10	善光寺（長野）の所蔵する宝物展。デリー日本文化月間の行事の一つ。
4	写真展「日本のイメージ」	ムンバイ	ムンバイ競馬場	マイド・インディア	2008.11.14 ～ 2008.11.16	インド人写真家シャントナー・ダス氏が訪日し撮影した現在の日本人や風景についての写真。ムンバイで行なわれた日本紹介イベント「Japan Festival in India」にて展覧会を実施。ニューデリー日本文化センターは、作品の額装を手配。
5	折り紙展・ワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	デリー折り紙クラブ	2008.11.19 ～ 2008.11.26	折り紙愛好家、および生徒たちによる折り紙作品の展覧会。ワークショップも実施。デリー日本文化月間の行事の一つ。
6	書と能面展	デリー	ニューデリー日本文化センター		2009.04.06 ～ 2009.04.10	書と能面の展示。またネルー大学芸術専攻の学生によるインド舞踊も披露。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	クラシック音楽／トリオ・コンサート	デリー	India International Centre		2009.01.06	ホルン、ヴァイオリン、ピアノの日本人演奏家によるトリオ・コンサート。日本の曲、西洋の曲を紹介。

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	児童労働に関するワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	特定非営利活動法人ACE (Action against Child Exploitation)	2008.09.06	インドの児童労働に関する説明会を実施。対象層はデリー在留邦人。日本政府系機関の連携モデル事業の一つ。
9	国際石川啄木学会	デリー	ニューデリー日本文化センター	国際石川啄木学会	2008.11.28 ~ 2008.11.29	国際石川啄木学会を平成20年度はインドで開催。石川啄木に関する研究発表、詩の朗読会、絵画や写真の展覧会を実施。
10	日本研究セミナー「日本文学における夢と幻想」	デリー	ニューデリー日本文化センター	国文学研究資料館 ネルー大学	2009.03.04	国文学研究資料館の伊藤鉄也教授はじめ研究者による研究集会。デリー大学、ネルー大学の研究者および学生が参加。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	定期映画上映会	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	週一回、劇映画又は現代日本紹介ドキュメンタリー映画を上映。
12	オシアン・シネファン・アジア&アラブ国際映画祭	デリー	Shri Fort Auditorium	オシアン・シネファン・アジア&アラブ国際映画祭	2008.07.10 ~ 2008.07.20	ニューデリー日本文化センターでは、若松孝二監督の当地受入及び通訳手配。
13	ドキュメンタリー映画上映会	グルガオン	Epi Centre		2008.11.04	ドキュメンタリー映画「ベアテの贈り物」の上映。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本語教育アドバイザー事業	デリー	ニューデリー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	現地日本語教育関係者に対する教授法等に関する指導、各地の日本語教育関係者とのネットワーク形成、コンサルティング等を実施。
15	日本語教育ネットワーク構築事業	デリー	ニューデリー日本文化センター	全インド日本語教師会(JALTAI)、中央政府中等教育委員会(CBSE)	2008.12.19 ~ 2008.12.20	インド国内の日本語教育関係者が一同に集い、日本語教育事情報告及び教授法関連の発表を実施。
16	さくらネットワーク日本語教材購入	デリー	ニューデリー日本文化センター		2009.03.01 ~ 2009.03.31	日本語教育に資する図書、資料、物品の購入。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
17	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育教材をはじめ、日本に関する図書、参考書籍、視聴覚資料を配架する専門図書館を運営。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
18	ニューズレター発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	主に日本語学習者及び日本語教育関係者に向けた、日本語教育に関する情報等を発信。
19	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金及びニューデリー日本文化センターの紹介、主催、共催事業等の案内、公募事業の案内、日本に関する情報発信を実施。 URL: <a href="http://www.jfindia.org.in/">http://www.jfindia.org.in/</a>
20	日本発信スペース制作	2008.11.01 ~ 2009.03.31	日本の伝統的な雰囲気有する空間を設け、日本文化紹介等に資する映像発信や資料配布を実施。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
21	中等教育現職日本語教師研修	デリー	ニューデリー日本文化センター	中央政府中等教育委員会 (CBSE)	2008.07.03 ~ 2009.01.29	日本語運用能力及び教授能力の向上を目的として、デリー近郊の初中等教育機関に属する現職日本語教師を対象に、教科書による指導方法や文化紹介の手法等の講義を全16回実施。
22	現職他科目中等教育教師の日本語教師コンバート研修	デリー	ニューデリー日本文化センター	中央政府中等教育委員会 (CBSE)	2008.12.01 ~ 2008.12.05	前年度開講コースの参加教師に対するフォローアップ研修。日本語能力試験対策講座。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	21世紀東アジア青少年大交流事業計画（JENESYS）プログラム若手日本語教師派遣（第一期）	プネ チェンナイ		プネ印日協会 ABK-AOTS同窓会タミ ルナドセンター 印日商工会議所	2008.06.23 ～ 2009.04.20	平成20年度は3名の若手日本語教師が訪 印し、それぞれ日本語教育機関に所属 して活動。
24	インド巡回日本映画祭	チャンディ ガル	Govt. Polytechnic for Women	チャンディガル映画ソ サエティ	2008.11.15 ～ 2008.11.21	国際交流基金本部のフィルムライブラ リーから木下恵介監督35mm作品7本の インド巡回。ニューデリー日本文化セ ンターはチャンディガル市での上映を 実施。
25	知的交流公募助成事業申請 案件コンサルタント	デリー	ニューデリー日本文化 センター		2008.12.01 ～ 2009.02.02	本部・知的交流公募助成申請案件に対 する客観的な審査コメントを当国各分 野の専門家から聴取。
26	海外巡回展「写楽再見」	デリー	Lalit Kara Akademi		2009.03.27 ～ 2009.04.09	本部海外巡回展の受入。写楽作品のほ か、写楽をモチーフとした現代美術作 品の展示。

（2）助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
27	知的交流会議「Marriage in Globalizing Contexts」	インド工科大学（IIT, Delhi）	2008.09.11	南アジアにおける婚姻の変化と継続性 について、観察できる変化と社会に与 える影響を考察。日本を含む7カ国から の発表者の招へいに対する助成。
28	バンガロール日本語弁論大会	バンガロール日本語教師会	2008.11.02	バンガロール市内及び周辺地域で学ぶ 日本語学習者によるスピーチコンテス ト実施に対する助成。
29	ボンベイ室内オーケストラ・ムンバイ公 演	ボンベイ室内オーケストラ・ソサエティ	2008.11.23	室内オーケストラのムンバイ公演に対 し、日本人指揮者とフルート奏者（ソ リスト）の渡航費の一部を助成。
30	デリー・48℃パブリック・環境アー ト・フェスティバル	コージ・インターナショナル、デリー市、 ゲーテ・インスティテュート	2008.12.12 ～ 2008.12.21	デリー市内各所の公共スペースを用い た環境アート・フェスティバルの実施 に対する助成。日本からはアーティスト 池田一が参加。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
31	日印演劇交流／エレファント・プロジェクト『山脈の子』	ルーツ&ウイングス劇団	2008.12.19 ～ 2008.12.21	ニナサム演劇祭（於カルナータカ）における「山脈の子」上演に対する助成。「山脈の子」は、前々年度及び前年度基金本部の実施事業、「演じる女たち」のフォローアップ的事業。
32	南インド巡回舞踏公演	ナタナカイラリ・伝統芸術研究センター	2009.01.14 ～ 2009.01.29	田中泯・舞踏公演の南インドツアーの実施に対する助成。
33	グルガオン・生け花インターナショナル展覧会	生け花インターナショナル・グルガオン支部	2009.01.31	生け花展覧会の実施に対する助成。於グルガオン。
34	『中村屋のボース』図書出版	ビブリオフィル・サウス・アジア出版社	2009.02.01 ～ 2009.03.31	「中村屋のボース」の当地翻訳出版に対する助成。
35	折り紙ワークショップ	アクリティ・クリエイションズ	2009.02.25 ～ 2009.03.09	当地在住日本人折り紙専門家による、デリー及びノイダ各都市での折り紙ワークショップの実施に対する助成。
36	ネルー大学日本文化祭「絆」	ジャワハルラル・ネルー大学	2009.03.23 ～ 2009.03.24	デリー日本文化祭の実施に対する助成。日本語・日本研究専攻のインド人学生、日本人留学生らによる出し物のほか、盆踊り大会も実施。

【後援事業】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
37	デリー福岡フェア	福岡県	2008.10.17 ～ 2008.10.18	デリー市民に向けて福岡を紹介する産業物産展ならびに留学フェアの実施。福岡県とデリー州は友好姉妹都市。

【会場提供】

	事業名	期間	事業内容
38	デリー盆栽協会	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）
39	生け花インターナショナル・デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）
40	生け花草月流デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（毎月1回）
41	生け花小原流デリー支部	2008.04.01 ～ 2009.03.31	会員の定例会ならびに作品鑑賞会の実施。（隔月1回）

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
42	JICA同窓会インド支部	2008. 08. 10	会員相互親睦のための文化イベントを実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
43	凧独楽展	在ムンバイ総領事館	2009. 01. 08 ~ 2009. 01. 15	展覧会の実施。於アーメダバード。



シドニー日本文化センター

合計額 195,593,972 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	Facetnate!	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.01 ~ 2008.09.30	日本から影響を受けた若手・新人アーティストを公募により選び、シドニー日本文化センターで個展の機会を提供する連続展覧会シリーズ。前年度の審査により選ばれた5人のアーティストの個展を2008年4月～9月まで順次開催し、最優秀者には“Japan Foundation Award”を授与。
2	井上靖写真展	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2009.03.16 ~ 2009.03.31	第3回井上靖賞の授賞式の開催に合わせて、井上靖文学とシルクロードをテーマにした写真展とミニ・シンポを開催。写真展では井上靖がシルクロードで自ら撮影した写真数千点の中から約30点を選び、ネガからパネルを製作・展示。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	書道デモンストレーション	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	ACT州政府	2008.09.20	キャンベラ市と奈良市の姉妹都市交流を記念して開催される「キャンドル・フェスティバル」にREN（書家）を派遣し、書道のデモンストレーションを実施。

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	第2回井上靖賞授賞式	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2008.06.06	井上靖記念文化財団によりシドニー大学に設けられた日本文学研究奨励のための井上靖賞の第2回授賞式。授賞式、受賞者による記念講演、故井上靖の次男・井上卓也による講演、及び映画『風林火山』の上映をシドニー大学との共催で開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	トム・ヘネガン講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学	2008.09.19	巡回展「くまもとアートポリス」の開催にあわせ、くまもとアートポリス参加者でもある建築家トム・ヘネガン（シドニー大学教授）の講演会を開催。
6	源氏物語千年紀記念講演会及び映画上映	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館	2008.11.29	源氏物語千年紀を記念して、ニューサウスウェールズ州立美術館が、源氏物語展を開催するのに合わせて、源氏物語に関する講演会および映画上映会を開催。講師は、平成19年度の国際交流基金賞受賞者であるロイヤル・タイラー（元オーストラリア国立大学教授）。
7	Sayuki講演会「Inside the flower and Willow World」	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.02.16	西洋人として初めて芸者となったDr. Fiona Graham（沙幸）による講演会。
8	第3回井上靖賞記念シンポジウム「井上靖とシルクロード」	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学、井上靖記念文化財団	2009.03.20	第3回井上靖賞の授賞式の開催に合わせて、井上靖文学とシルクロードをテーマにした写真展とミニ・シンポジウムを開催。シンポジウムでは、日本とシルクロードの交流について、美術・文学・歴史の観点から専門家による報告と討論を行った。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	水曜映画会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	フィルムライブラリーの所蔵作品を利用して、隔週水曜日に英語字幕付き日本映画の無料上映会を開催。
10	大洋州フィルムライブラリー	シドニー			2008.04.01 ～ 2009.03.31	日本映画の16ミリフィルムを所蔵するフィルムライブラリーの運営。在豪大使館及び各州の総領事館、在フィジー大使館、在ニュージーランド大使館及び総領事館など9公館に貸し出しを行う。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	第12回巡回日本映画祭	シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パース	Greater Union, ACMI, National Film & Sound Archive, Regent Cinema, Alexander Library		2008.11.12 ~ 2008.12.09	第12回目となる巡回日本映画祭。シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パースを巡回。シドニーとメルボルンの2都市においては、映画祭の規模を拡大、21作品を上映して1万人超の観客を動員。上映作品は、「おくりびと」、「アフタースクール」、「続・Always-3丁目の夕日」「ICHI」など。
12	第7回日豪学生映画フォーラム	シドニー	Greater Union	日本映画学校, AFTRS, COFA, SCA, Sydney Film School, VCA, WA Screen Academy	2008.12.08	日豪の映像学校の学生卒業作品をセレクトし、両国の受賞作品を決定し、その上映会及び受賞式を開催。第12回巡回日本映画祭の期間中にあわせて開催する。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	地方日本語教育研修会支援	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	各州の日本語教師会等が主催する日本語教師向けの研修会に、シドニー日本文化センターの講師が出張し、講義等を行う。平成20年度中に7回派遣。
14	オンライン日本語講座	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	オーストラリアおよびニュージーランドの非日本語母語話者である日本語教師向けに日本語運用力向上を目的としたオンライン講座を開発。
15	日本語賞品寄贈	全豪各地			2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語学習奨励の一環として、各地で行われる弁論大会や発表会に対して図書・文房具などの賞品を寄贈。(約120校)
16	日本語教師向け短期集中研修会(2008年4月)	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.04.14 ~ 2008.04.17	オーストラリア及びニュージーランドの日本語教師を対象とした短期集中研修会。
17	ニューサウスウェールズ州日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008.09.13	10月に行う「全豪日本語弁論大会」へのニューサウスウェールズ州予選大会。高校生、大学生、一般の約70人が4部門にわかれて、スピーチを競い合う。各部門の優勝者は「全豪日本語弁論大会」への出場権を獲得する。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	全豪日本語弁論大会	シドニー	ニューサウスウェールズ州立図書館		2008. 10. 18	第39回目を迎える全豪日本語弁論大会。各州の予選大会で選出された約20名が4部門にわかれて、オーストラリアNo. 1を競い合う。
19	評価委員会	シドニー	シドニー日本文化センター		2008. 11. 07	オーストラリア各州の教育省関係者及び大学関係者によるシドニー日本文化センターの日本語事業に関する評価委員会を開催。各州の日本語教育の最新事情などを報告してもらうとともに、関係者とのネットワークを強化する目的も兼ねる。
20	日本語教師向け短期集中研修会（2009年1月）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 01. 19 ～ 2009. 01. 22	オーストラリア及びニュージーランドの日本語教師を対象とした短期集中研修会。
21	高等教育支援（共同研究）				2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	ニュー・サウス・ウェールズ大学と共同で、オーストラリアにおける日本語教育事業と日本語教授法に関する研究を行う。特に、各教育段階間での日本語教育の連携について調査を行う。4年計画事業の2年目。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
22	図書館運営	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	図書館運営。月曜から金曜まで毎日開館。月2回週末（土曜日）開館。図書貸し出し、レファレンスサービス、Web-OPACなどのサービスを提供。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
23	ニューズレター発行（ペーパー）	2008. 04. 01 ～ 2008. 07. 31	季刊ニューズレター『OMUSUBI』を発行する。紙媒体は7月発行の第16号をもって終了し、オンラインのニューズレターに完全移行。
24	オンライン・ニューズレターの発行	2008. 04. 01 ～ 2009. 03. 31	従来の紙ベースでの季刊ニューズレターを廃刊し、Eメールによるニューズレター“Omusubi”を発行する。月1回の定期版と、最新情報を随時伝える臨時版の2種類を発行。

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
25	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	シドニー日本文化センターのウェブサイト (URL: http://www.jpfa.org.au/) を運営する。
26	学術ジャーナル「New Voices」の刊行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2006年に第1号を刊行した、若手研究者育成のための学術ジャーナル「New Voices」の第2号。優等学士 (Honours) の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行した。

【教室事業】

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
27	日本語講座	シドニー	シドニー日本文化センター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	一般向けに日本語講座を開講。一般向けに日本語講座を開講。平成20年度は、初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級Ⅰ、上級の4レベルの講座を提供し、205人が受講した。

【その他】

	事業名	共催機関	期間	事業内容
28	Jシネマプロジェクト	松竹株式会社、MADMAN Entertainment	2008.12.01 ~ 2009.03.31	職員からの公募による新規企画事業。日本映画を題材として、日本語教育と日本文化・社会紹介の教材を開発し、元となった映画とともにDVDパッケージにして販売する。日本の松竹株式会社及びオーストラリアの配給会社MADMAN Entertainmentとの共同事業。第1弾の作品は、『しあわせ家族計画』。平成20年度に着手、21年度中の完成・販売開始を目指す。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	地方日本語研修会助成				2008.04.01 ~ 2009.03.31	オーストラリアの各地で開催される日本語教育に関する学会、研修会、ワークショップなどへの助成。平成20年度は3件を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
30	Oscillating Landscape	メルボルン	West Space	West Space	2008.05.22 ~ 2008.06.14	メルボルン在住のビジュアルアーティスト進藤詩子のコンテンポラリー・アートの祭典「ネクスト・ウェーブ・フェスティバル」への参加経費を助成。
31	大正シック（伊澤朝子パフォーマンス）	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館	2008.07.02 ~ 2008.07.30	ニューサウスウェールズ州立美術館で開催される「大正シック展」に合わせ、大正時代のモガをイメージしたパフォーマンスの実施経費を助成。
32	よさこいソーラン	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	北海あほんだら会	2008.09.20	キャンベラで行われたキャンドルフェスティバルに参加する「よさこいソーラン」のグループの参加費用に対する助成。
33	Shakuhachi Concert	シドニー	Melba Hall	Shakuhachi Flutes	2008.12.13	メルボルン在住のアンドリュー・マクレガー（尺八演奏家）主宰による「尺八チェンバー作曲コンペティション」の受賞コンサート。
34	草間弥生展	シドニー	Museum of Contemporary Art	Museum of Contemporary Art	2009.02.14 ~ 2009.06.06	現代美術館で開催された「草間弥生展」のオープニングに合わせて、展示関係者を日本から招へいするための経費を助成。
35	第20回日英・英日翻訳国際会議 IJET-20	シドニー	Harbour View Hotel	Japan Association of Translators	2009.02.14 ~ 2009.02.15	シドニーで開催される第20回日英・英日翻訳国際会議に対する助成

【後援事業】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
36	国連環境親善大使・加藤登紀子チャリティ・コンサート	シドニー日本クラブ	2008.08.20	国連環境親善大使・加藤登紀子のチャリティコンサートをシドニー市内で開催する。実行委員会に参加するとともに、後援名義を付与。
37	日本の祭り	シドニー日本クラブ	2009.02.07	シドニー日本クラブ主催による、「日本の祭り」に対する協力。

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	初心者向け盆栽体験講座	シドニー日本人会	2008.04.19	日本人会主催で行われた盆栽の体験講座に協力。（会場提供、広報）

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
39	JETAAキャリアセミナー	JETAA	2008. 10. 24	語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）参加者の同窓会組織JET Alumni Association（JETAA）が開催する帰国者向けの就職ガイダンスセミナーに協力。
40	「料理人の書」レクチャー&デモンストレーション	シドニー日本人会	2008. 11. 05	日本人会主催で行われた、日本料理人による伝統的な書のレクチャー・デモンストレーションに協力。

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	OzAsia Festival	Adelaide Festival Centre	2008. 09. 24	アデレードで開催されたOzAsia Festivalでの言語教育関係のシンポジウムにシドニー日本文化センター講師を派遣。

トロント日本文化センター

合計額 115,852,572 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	武谷大介展「KARA」	トロント	トロント日本文化センター		2008.03.11 ~ 2008.05.09	トロント在住日系人アーティストによる美術展。日加米の空（そら・から）をテーマにした作品を約40点展示。
2	ダレンヘイスティング写真展「光のイメージ」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2008.05.09 ~ 2008.07.25	カナダ人写真家による日本を題材とした写真展。日本の伝統建築及び祭りの写真を図書館内に展示。
3	和紙展「時を越える和紙」	トロント	トロント日本文化センター	ジャパニーズ・ペーパープレース	2008.05.23 ~ 2008.07.10	ワールド和紙サミットの中核企画として、ジャパニーズ・ペーパープレースと共同して当センターで和紙を総合的に紹介する展覧会を実施。
4	「ドアーズオープン・トロント」への参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市役所	2008.05.24 ~ 2008.05.25	トロント市が主催する文化イベント「ドアーズオープン・トロント」に参加。和紙展及び図書館の特別オープンを実施。
5	片岡紫江書道展「日加文化交流」	トロント	トロント日本文化センター	アルバータ大学高円宮日本研究センター他	2008.07.16 ~ 2008.08.22	アルバータ大学高円宮日本研究センター他との共催で、書道家片岡紫江の書道作品展を開催。書道デモンストラーションもあわせて開催。
6	「日本の染色—能装束の美」展	トロント	トロント日本文化センター図書館他	山口能装束研究所	2008.10.01 ~ 2008.10.10	本部日本文化紹介派遣助成事業を受けて来加した山口能装束研究所所長及び専門家による能装束の展示を図書館で開催。山口憲所長による講演会をテキスタイル博物館他計4箇所で開催。
7	木版画展「Water, Wood, Paper」	トロント	トロント日本文化センター		2008.10.03 ~ 2008.11.15	日本の浮世絵以来の伝統的版画としての木版画を京都で学んだカナダ人アーティスト及び世界各国の木版画家9人のグループ展。
8	トロント市現代芸術祭ヌイブロンシュへの当センターの参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市役所	2008.10.04 ~ 2008.10.05	現代芸術祭ヌイブロンシュにトロント日本文化センターが参加。「現代版画展」及び「東京スカナー」（押井守監修）の上映を行った。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	前田典子氏書道展覧会「円相」	トロント	トロント日本文化センター		2008.11.25 ~ 2009.02.26	世界各地で活躍する日本人書道家の「円」のみで構成する書道作品展。映像や照明器具なども展示されたほか、日加各界を代表する人物の手による「円相」も展示された。
10	ケイリーラモス写真展「Then and Now; Tradition in Today's Japan」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2009.01.09 ~ 2009.02.07	カナダ人写真家ケイリーラモスが日本滞在中に撮影した写真を図書館で展示。
11	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	トロント	トロント日本文化センター	在トロント総領事館	2009.02.17 ~ 2009.02.27	日加修好80周年を記念して、日加交流の80年を概観する写真展をトロント日本文化センターで企画・制作。外務省の発案をセンターが実現に協力した。
12	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	オタワ	在カナダ大使館	在カナダ大使館	2009.03.03 ~ 2009.03.13	上記写真展をオタワ大使館に巡回展示。3月4日にはオープニング式典を大使館と共催で開催し、150人を超える政界官界リーダーが参加。
13	日加修好80周年記念写真展「80Years of Japan Canada Relations Miles Apart, Minds Together」	バンクーバー	バンクーバー・ペンデュラムギャラリー	在バンクーバー総領事館	2009.03.23 ~ 2009.04.04	上記写真展をバンクーバーに巡回展示。3月26日にはオープニング式典が同地総領事館により開催され、約50名のカナダおよび日系社会要人が参加した。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本人・カナダ人グループによるポップコンサート	トロント	トロント日本文化センター	アシュレイ・イングラム音楽院	2008.05.02	トロント在住の音楽家アシュレイ・イングラムと若手音楽家（日本人、日系カナダ人、アジア人）によるコンサート
15	アユリシアター「或る阿呆の一生」シアタープレゼンテーション	トロント	トロント日本文化センター	アユリシアター	2009.01.26 ~ 2009.01.31	当地を拠点に、日加他のアーティストによる国際劇団アユリシアターが、芥川龍之介の作品をベースに作品創作を行う過程をサポート。制作結果を3回にわたって公演の形で発表した。
16	シネマ歌舞伎上映事業（先駆的創造的事業）	トロント	スコシアバンクシアター		2009.03.26 ~ 2009.03.28	当地映像プロダクション会社と共催で、シネマ歌舞伎3本を商業館で上映。チケットを販売し、計717枚を売り上げたほか、計879名が参加した。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	「かたり」ストーリーテリング	トロント	トロント日本文化センター	トロント・ストーリーテリング・フェスティバル	2009.03.28	当地ボランティアグループと共催で、日本の物語や音楽を紹介するイベント。トロントのストーリーテリングフェスティバルの参加事業。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	日系カナダ人作家ジョイ・コガワと挿絵画家オオイによるブックトーク	トロント	トロント日本文化センター	Fizhenry & Whiteside 出版社	2008.05.08	日系カナダ人コガワ（作家）とオオイ（挿絵画家）による「ナオミの樹」出版を記念して、両氏による講演会・ワークショップを開催。
19	平田オリザ講演会「日本の近現代演劇史」	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会及び国際表現言語学会	2008.08.15	カナダ日本語教育振興会及び国際表現言語学会と共催で、講演会を実施。
20	トロント大学MUNKセンター主催大原盛樹JETRO副主任研究員の講演会	トロント	トロント大学MUNKセンター	トロント大学MUNKセンター	2008.10.24	MUNKセンターが主催する講演会を共催。講演タイトルは「中国、インド、日本における工業高度化の異なる道筋～モーターサイクル産業の比較研究」
21	ルネ・ド・セカティ講演会	トロント	トロント日本文化センター	在トロント・フランス総領事館	2009.02.26	在トロント・フランス総領事館と共催で、フランス人の文学者で日本文学紹介・翻訳を行っているセカティの講演会を開催。
22	日加80周年記念シンポジウム及び五百旗頭教授講演会	トロント	トロント大学及びトロント日本文化センター	トロント大学財団法人渋沢栄一記念財団	2009.03.13	日加交流の80周年を学術的観点から概観・分析し今後への課題を探るシンポジウム。トロント大学、渋沢栄一記念財団と共催。日加双方の学会官界のリーダーが多数参加。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	トロント国際映画祭でのアジア映画紹介のためのAFINナイトレセプション開催	トロント	トロント日本文化センター	トロント国際映画祭、JETRO、KOFIC、UNI JAPAN	2008.10.21	トロント国際映画祭開催期間に、日本の参加映画監督をはじめ、韓国他アジアの監督、映画関係者及びプレス関係者を招いて、交流及びプロモーションのためのレセプションを開催。JETRO、KOFIC、UNI JAPANと共催。
24	アニメ文化大使「ドラえもん」上映	トロント	セネカ・カレッジ	セネカ・カレッジ	2008.10.28	セネカ・カレッジ図書館と共催で、「ドラえもん のび太の恐竜2006」を上映。トロント日本文化センター図書館の新設マンガコーナーのPRも実施。

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	アルバータ州教育省日本語教育専門家派遣	エドモントン	アルバータ州教育省	アルバータ州教育省	2008.04.20 ~ 2009.03.31	アルバータ州内及びカナダ全土で日本語教育振興活動を行う日本語教育専門家を国際交流基金本部からアルバータ教育省へ派遣。
26	宇佐美まゆみ東京外国語大学教授講演会「自然会話を用いた会話教育～教材作成法とその使い方～」	トロント	トロント日本文化センター		2008.06.01 ~ 2008.08.01	宇佐美教授による、日本語教師を対象とした日本語教育セミナーを開催。別途ヨーク大学にてもディスコースポライトネス理論についての講演会を開催。
27	カナダ日本語教育振興会2008年年次大会開催	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会	2008.08.15 ~ 2008.08.18	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) の年次大会 (学術シンポジウム) をトロント日本文化センターで開催。カナダ全土及び世界各国から約80名の日本語教育関係者が参加。トロントビジネス界との懇談会も実施。
28	「にほんごアートコンテスト」 展覧会	トロント	トロント日本文化センター	にほんごアートコンテスト実行委員会	2008.09.16 ~ 2008.09.26	日本語の文字を織り込んだ子供たちによるアート作品のコンテスト及び展覧会。会場提供及び審査への協力。
29	ヒルフィールド・ストラランカレッジ高校生に対する日本紹介事業	トロント	トロント日本文化センター	ヒルフィールド・ストラランカレッジ	2009.03.04	ハミルトン市にある同高校で日本語を履修する生徒を当センターに招き、日本の都市の様子や伝統文化 (歌舞伎) を紹介

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	図書館運営				2008.04.01 ~ 2009.03.31	トロント日本文化センター図書館は日本に関する英語および日本語の書籍等約16,000点を所蔵する図書館であり、登録会員数約12,000人、年間利用者数は22,973人であり、前年度利用者数18,890人に対して、4,083人、約22%の増加となっている。土曜開館日を増やしたり、マンガコーナーの新規開設、図書館内で各種のイベントを開催するなど、利用者サービスの向上に努めている。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本の図書館司書のための トロント市内図書館ツアー	トロント	トロント市内図書館	国際図書館連盟	2008.08.09 ~ 2008.08.16	ケベック市で開催された国際図書館連盟総会に日本から参加した各地方自治体図書館や大学図書館の司書グループに対し、トロントの図書館の多言語政策に関するツアーをアレンジし、意見交換の場を設定した。
32	源氏物語千年紀記念展示 「A Millenium of the Tale of Genji; Colour and Four seasons in Japan a thousand years ago」	トロント	トロント日本文化センター図書館		2008.10.27 ~ 2008.12.19	源氏物語千年紀を記念し、カナダの人々に源氏物語に対する理解を深めてもらうことを目的として、図書館内で、十二単の重ねの袖、染料サンプル、絵巻物の複製などの展示を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	トロント地区中学高校教員 招へい事業参加者帰国報告 会	トロント			2008.07.17	中学高校教員招へい事業でトロント地区から参加した3名を招き、総領事館広報文化センター所長とともに、帰国報告を聞く機会を設定した。
34	カナダ日本研究学会2008年 年次大会夕食会	ウォータールー	ウォータールー大学	カナダ日本研究学会	2008.10.04	ウォータールー大学において、カナダ日本研究学会年次総会が開催され、カナダ及び日本から日本研究者が多数集まった機会を捉えて、交流及びネットワーク形成のための意見交換会を主催。
35	トロント地区中学高校教員 招へい事業参加者帰国報告 会（第2回）	トロント			2008.12.15	平成20年度中学高校教員招へい事業に参加した教員の帰国報告及びフォローアップのための意見交換会。総領事館広報センター所長にも参加を求め、ネットワーク形成を行った。

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	邦楽カナダ公演	トロント	CBCグレン・ゲールド・スタジオ		2008.04.25 ~ 2008.04.28	同公演受入実施（2回公演）。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
37	国際難民法の課題に関する リサーチワークショップ	トロント	ヨーク大学	ヨーク大学	2008.05.01 ~ 2008.05.02	ヨーク大学難民研究センターが主催する国際難民法の課題に関するワークショップに日本の新垣関西学院大学教授が参加。渡航費を助成。
38	「写真に関する映像」プロ ジェクト	トロント	ナショナルフィルム ボード映写室	CONTACTトロント写真 フェスティバル	2008.05.09 ~ 2008.05.11	当地最大の写真フェスティバルの一環として開催された同プロジェクト（写真を題材とした映像作品の上映）について、上映権料を在外助成により支援。来加した高橋監督への各種サポートも行った。
39	東アジア言語シンポジウム	エドモン トン	アルバータ大学	アルバータ大学	2008.06.19 ~ 2008.06.20	アジア言語の会話研究の現状及び今後の共同作業の可能性を探る国際シンポジウムに対し助成を実施。北米各地、日本から日韓中国語の専門家が参加。
40	モビリティと環境 輸送・ 交通・移動歴史学会国際シ ンポジウム	オタワ	カナダ科学技術博物館	モビリティと環境 輸 送・交通・移動歴史学 会	2008.09.18 ~ 2008.09.21	輸送、交通、移動に関する専門家による国際会議。日本から参加した東洋大学太田教授の旅費の一部を助成。
41	パワートーク2008 南條史 夫講演会	トロント	パワープラント美術館	パワープラント美術館	2008.10.03 ~ 2008.10.07	トロント市ダウンタウンにある現代美術専門美術館で、世界の有力なキュレーター3名を招いた連続講演会を開催。当センターは南條史夫（森美術館館長）の渡航費の一部を助成。同氏はあわせてヌイブロンシュなど、トロントの現代アートを視察。美術関係者との意見交換会を当センターで主催。
42	トロント市現代芸術祭ヌイ ブロンシュでの日本現代 アート展示プロジェクト	トロント	トロント市内	トロント市役所	2008.10.04 ~ 2008.10.05	トロント市が中心となって毎年開催している現代アートのフェスティバル「ヌイブロンシュ」に、日本の現代アート作家藤原隆洋の作品Into the Blueを展示するための作品輸送費を助成。そのほか、連絡調整や展示サポートを行う。
43	第6回トロントジャパニー ズ・ショートフィルムフェ スティバル	トロント	イニスタウンホール劇 場	トロントジャパニー ズ・ショートフィルム フェスティバル	2008.10.07 ~ 2008.10.10	日本のショートフィルム28作品を上映する映画祭。日本から4名の監督を招いてオープニングが行われた。福井監督の旅費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
44	源氏物語千年紀記念「源氏物語と現代日本の女性像」(講演と音楽)	バンクーバー及びバーナビー	ブリティッシュコロンビア大学(UBC)及び日系ヘリテージセンター	ブリティッシュコロンビア大学(UBC)及び日系ヘリテージセンター	2008.10.19 ~ 2008.10.25	源氏物語千年紀を記念し、UBCのモストウ教授による講演会及び着物の展示、源氏物語関連図書の展示を行った。在外公館日本週間等支援事業。
45	モントリオールアジア若手音楽家の夕べ	モントリオール	Chapelle historique de Bon Pasteur	Theatre Lyricoregra	2008.11.11 ~ 2008.11.18	モントリオール市で開催されるイベントに、日本の若手オペラ歌手・ピアニスト3名が参加する旅費の一部を助成。在外公館日本週間等支援事業。
46	White Moon Dance Nights	トロント	Young Centre for the Performing Arts	AKA Dance	2009.02.25 ~ 2009.02.28	日本とカナダのダンスの伝統を融合する作品を発表するカンパニーのトロントにおける公演について、旅費の一部を助成。
47	映画『カブールの手品師』日本語字幕作成	モントリオール	InformAction	InformAction Productions	2009.03.01 ~ 2009.03.31	カナダ人映画監督Philippe Baylaucq制作による、9.11テロで息子を亡くした日本人を主人公とした映画作品の日本語字幕作成経費の一部を助成。
48	トロント交響楽団日本人作曲家作品紹介事業	トロント	ロイトムソンホール	トロント交響楽団	2009.03.05 ~ 2009.03.11	トロントシンフォニーの毎年恒例の事業である現代作品紹介シリーズにおいて、武満徹の作品の紹介等を行った。楽譜借料・上映権料の一部1,500カナダドルを助成。

【後援事業】

	事業名	都市	会場	主催機関	期間	事業内容
49	吉田兄弟津軽三味線公演への協力	トロント	エンウエイブシアター	Domo Music Group	2008.05.25	吉田兄弟(津軽三味線奏者)のトロント公演に際し、チラシの配布やウェブ広報協力等の協力を行った。
50	ワールド和紙サミット	トロント	トロント市内主要アートギャラリー及びトロント日本文化センター	ジャパニーズ・ペーパープレース	2008.06.07 ~ 2008.06.15	トロント市内35のアートギャラリー及び当センターにおいて、和紙を総合的に紹介しつつ、和紙を利用したアートの作品展を多角的に開催した。
51	植民地時代の朝鮮半島における日本語による文化活動(詩、演劇、文学等)についての国際シンポジウムへの協力	トロント	ヨーク大学	ヨーク大学	2008.09.25	植民地時代の朝鮮半島における日本語による文化活動(詩、演劇、文学等)についての国際シンポジウム開催にあたり、主催者(テッドグーセン教授)より協力を求められ、参加者のネットワーク・意見交換を図るための意見交換会を開催した。
52	カナダ日本書道公募展	トロント	トロント日系文化会館	書道カナダ	2008.11.23 ~ 2008.12.06	カナダ及び北米の書道愛好家の公募展開催に後援・協力。

## 【会場提供】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
53	折り紙ソサエティへの協力	トロント	トロント日本文化センター	トロント折り紙ソサエティ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	トロント折り紙ソサエティの月例会への会場提供による協力。同協会は折り紙の技術研修及び普及活動を行っている。
54	ロイヤルオンタリオ博物館ビショップホワイト委員会への協力	トロント	トロント日本文化センター	ロイヤルオンタリオ博物館ビショップホワイト委員会	2008.05.22	日本の美術工芸品等を膨大に所蔵しているロイヤルオンタリオ博物館のファンディング委員会への協力として、日本専門キュレーターのためのファンディング完了のプレス発表の会場提供を行った。
55	ワールドワイド・ショートフィルム・フェスティバル(WWSFF)	トロント	トロント日本文化センター	ワールドワイド・ショートフィルム・フェスティバル	2008.06.10 ~ 2008.06.15	本部助成を受けて日本から新進アニメ作家の作品15本が参加して開催されたWWSFFの開催にあたり、映画祭事務局と共催で日本人アニメ作家と映画祭関係者、映画関係者、ジャーナリスト等を招いてレセプションを開催し、交流の場を提供した。
56	「語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)(略称:JET)」渡航者オリエンテーションセミナー	トロント	トロント日本文化センター	在トロント総領事館、トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.06.21 ~ 2006.06.22	総領事館が実施するJET事業で訪日するカナダ人若者に対するオリエンテーションセミナー。日本人ボランティアによる演劇セッションなど多彩な企画あり。
57	「語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)(略称:JET)」帰国者リエントリーセミナー	トロント	トロント日本文化センター	トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.09.27	JET事業で日本に滞在したカナダ人若者のカナダ帰国後のリエントリーセミナーを開催。JETのOB・OGはカナダ各地で日本文化の紹介者として活躍する者が多く、そのためのネットワーク作りも行われた。
58	「語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)(略称:JET)」帰国者対象のキャリアフェア	トロント	トロント日本文化センター	トロントJETアラムナイアソシエーション	2008.10.17	JET事業で日本に滞在したカナダ人若者のカナダ帰国後の日系企業等への就職のためのキャリアフェア。当地日系企業も参加した。
59	REEL ASIAN FILM FES プレスローンチ開催	トロント	トロント日本文化センター	トロント・リアルアジア映画祭	2008.10.21	トロント市で開催されるアジア系映画作家の作品を集めた大規模な映画祭のプレスローンチのため会場を提供。

## 【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
60	展覧会「版画からマンガへ」	トロント	トロント・リファレンス・ライブラリー	トロント市公共図書館	2008.04.19 ～ 2008.06.28	トロントの公共図書館の中心的存在であるトロント・リファレンス・ライブラリーにおいて、「版画からマンガへ」と題する展覧会を開催した。当センターから蔵書の貸出、企画協力を行った。基金招へい者が企画立案。
61	JETRO対日投資セミナー会場での庭園写真展の展示	トロント	インターコンチネンタルホテル	日本貿易振興機構 (JETRO)	2008.10.23	オンタリオ州のカナダ企業の幹部を対象とした日本への投資促進及び日加ビジネス関係強化のためのシンポジウム会場において、当センター所蔵の「京都庭園の四季」写真パネルを展示した。

## 【その他】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
62	丸井ファッションコンテストへの協力	カナダ全国	カナダ全国	株式会社丸井グループ	2008.07.15 ～ 2008.09.15	丸井が実施する日本語ファッションコンテストに関し、一般向けの広報等の協力を行ったほか、カナダの日本語教育関係者に対して告知を行った。働きかけの結果、カナダから応募した学生が、優勝者となった。
63	モントリオールでの舞台芸術ショーケース (CINARS) への参加協力	モントリオール	Fairmont The Queen Elizabeth	CINARS	2008.11.17 ～ 2008.11.23	モントリオールで開催される国際的な舞台芸術ショーケースであるCINARSに日本の公演団及び東京芸術見本市 (TPAM) の代表者とともに参加し、日本の舞台芸術公演団の紹介を行った。



ニューヨーク日本文化センター

合計額 96,872,108 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	生け花デモンストレーション及び展示	ニューヨーク	United Nations Plaza	国連代表部	2008.11.12	国連におけるボランティア指導10周年記念として、宮内流華道家、宮内信江師範による生け花に関するデモンストレーション及び展示を実施。
2	JAPANESE MOOD - Portraits of Contemporary Choreographers	ニューヨーク	日本クラブギャラリー	日本クラブ	2009.01.08 ~ 2009.01.14	ニューヨークの写真家ペギー・カプランがこれまで撮影した日本現代舞踊振付家・舞踊家のポートレート写真展を実施。

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	加藤幸子&吉岡愛理サロンコンサート	ニューヨーク	ソニークラブ	ソニー	2008.06.18	平成19年度ブラジルに派遣した、加藤幸子（ピアノ）&吉岡愛理（ヴァイオリン）の凱旋コンサートをニューヨークにおいて主催。
4	西陽子サロンコンサート	ニューヨーク	ソニークラブ	ソニー、パソナ	2008.10.03	西陽子（邦楽演奏家）の米国公演のうち、ニューヨーク公演を主催。
5	在米日本文化専門家中南米派遣（ジャズ）	サンサルバドル（エルサルバドル） サンホセ、カルタゴ（コスタリカ）、 サントドミンゴ（ドミニカ共和国）	CENAR, FEPADE Cartago City Hall, Teatro Popular Melico Salazar Teatro Nacional	在エルサルバドル大使館 在コスタリカ大使館 在ドミニカ共和国大使館	2008.10.07 ~ 2008.10.10 2008.10.10 ~ 2008.10.13 2008.10.13 ~ 2008.10.15	在エルサルバドル大使館、在コスタリカ大使館、および在ドミニカ共和国大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置くジャズピアニスト、なら春子（コロンビア大学教育学部助教授）とジャズギタリスト、増尾秋好、及びカメルーン出身のヴォーカリスト、ジーノ・シトソンを派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	在米日本文化専門家中南米派遣（邦楽）	キングストン（ジャマイカ） マナグア（ニカラグア）	Mico University College Courtleigh Auditorium Palacio Nacional	在ジャマイカ大使館 在ニカラグア大使館	2008.11.08 ～ 2008.11.13 2008.11.13 ～ 2008.11.16	在ジャマイカ大使館、および在ニカラグア大使館からの要請に基づき、ニューヨークに活動拠点を置く篠笛奏者、渡辺薫とハワイに活動拠点を置く和太鼓奏者、ケニー遠藤を派遣し、公演およびレクチャー・デモンストレーションを実施。
7	在米日本文化専門家中南米派遣（華道）	ポート・オブ・スペイン（トリニダード・トバゴ）	ノルマンディーホテル、西インド諸島大学語学センター	在トリニダード・トバゴ大使館	2008.11.25 ～ 2008.11.28	在トリニダード・トバゴ大使館からの要請に基づき、宮内流華道家、宮内信江師範を派遣し、いけばなに関する講演会、およびデモンストレーションを実施。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	南部大学巡回映画祭	ゲインズビル、セント・ピーターズバーグ、アテンズ、ダーラム	フロリダ大学 エッカード・カレッジ ジョージア大学 デューク大学	フロリダ大学 エッカード・カレッジ ジョージア大学 デューク大学	2009.01.27 ～ 2009.03.18	日本映画を上映する機会の少ない南部の大学において、日本文化紹介のために基金所蔵の35mmフィルムを使用した上映会を実施。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	広報資料作成	2008.04.01 ～ 2009.03.31	米国内における国際交流基金のプレゼンスを高めるため、ロサンゼルス日本文化センターと協力し、基金の米国における活動を紹介する広報資料を作成、配布。
10	ウェブサイト運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイト運営。 本年度は既存のサイトを全面改訂しニュースレター配信を開始（年14回発行）。 URL：http://www.jfny.org/

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	全米アジア学会	シカゴ	シェラトン・ホテル	全米アジア学会	2009.03.27	全米アジア学会に参加する日本研究者間のネットワーク構築、意見・情報交換を目的として懇談会を開催。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
12	PAJ (パフォーミング・アーツ・ジャパン事業) : 『trxfr→transfer』	ペインテッド・ブライド・アートセンター	2008.04.01 ~ 2008.04.30	ニューヨークを拠点に国際的に活躍する舞踏家、山崎広太 (Fluid hug-hug) がフィラデルフィアを根拠とするアフリカ系アメリカ人振付家、チャールズ・アンダーソン (dance theatre X) と共同レジデンシーを行い、新作を共同創作。同事業に対して助成。
13	PAJ : 『わが先祖の足跡をたどって』	ポートランド太鼓	2008.04.01 ~ 2008.09.30	日系米国人による太鼓パフォーマンスグループ、ポートランド太鼓が菊池正平 (万踊衆主宰。元劇団わらび座メンバー) を迎え、日本の民俗芸能を取り入れた分野横断的な新作『わが先祖の足跡をたどって』を創作。同事業に対して助成。
14	PAJ : 『スヴァ (生命力)』全米5都市ツアー	ラガマラ・ミュージック・ダンス・シアター	2008.04.01 ~ 2008.11.25	ラガマラ・ミュージック・アンド・ダンスシアターと和太鼓アンサンブルTOKARAの共同作品『スヴァ (生命力)』の全米5都市ツアー実施に対して助成。
15	PAJ : バン・オン・ア・カンと坂本龍一によるコラボレーション	バン・オン・ア・カン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ニューヨークに本拠を置く先鋭的音楽アンサンブル、バン・オン・ア・カンと坂本龍一の新作の共同創作事業に対して助成。
16	PAJ : 『ジャック・ヴィトロローロによるゴスペル』	HEREアーツセンター	2008.04.01 ~ 2009.03.31	キャメロン・スティール率いる劇団サウスウィングと矢内原美邦率いるニブロールの新作の共同創作事業に対して助成。
17	PAJ : 米の女神ヴァリエーション	クメール芸術アカデミー	2008.04.01 ~ 2009.06.30	ソピリン・チアム・シャピロ (カンボジア系アメリカ人振付家) と峯岸一水 (清虚洞一絃琴宗家四代) が、米の神に対する日本とカンボジアの様々な信仰を探る新作の共同創作事業に対して助成。
18	PAJ : スポットライト・ジャパン第2フェーズ	インターナショナル・ワウ・カンパニー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2007年にニューヨーク市立大学 (CUNY) 大学院演劇センターが主催した現代日本戯曲リーディング・シリーズ「スポットライト・ジャパン」の第2段階として、日米両国の参加アーティストが本格的な舞台化に取り組む事業に対して助成。英訳上演作品は『青の鳥』 (矢内原美邦作、ダン・セイファー演出)、『アウト・ダ・フェ』 (松田正隆作、ジョッシュ・フォックス演出)、『ニュータウン入口』 (宮沢章夫作、ジェイ・シャイブ演出)。
19	PAJ : 『エンジョイ』	ザ・プレイカンパニー	2008.04.01 ~ 2009.03.31	外国現代戯曲の英訳上演で定評のある在ニューヨークの劇団プレイカンパニーの岡田利規作『エンジョイ』の舞台化に取り組む事業に対して助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
20	PAJ：日本の現代戯曲の英訳普及事業	プレイライツ・センター	2008.04.01 ～ 2009.03.31	演劇の研究と開発に取り組むミネアポリスのプレイライツセンターが、倉持裕と深津篤史の作品の英訳リーディングを実施。同事業に対して助成。
21	PAJ：『私の広島モナムール』	ヴォイス・アンド・ヴィジョン	2008.04.01 ～ 2009.03.31	女性の多様な声の紹介に重きを置く在ニューヨークの劇団ヴォイス・アンド・ヴィジョンが、宮川ちおりの新作『I Have Been to Hiroshima Mon Amour』の舞台化に取り組む事業に対して助成。
22	PAJ：大駱駝艦コラボレーション	アメリカン・ダンス・フェスティバル	2008.07.05 ～ 2008.07.18	鷹赤兒率いる舞踏集団、大駱駝艦とアメリカン・ダンス・フェスティバル（ADF）参加ダンサーがロバート・カプラン（作曲家）とともに新作の創作に取り組み、ADF75周年記念シーズンにおいて初演する事業に対して助成。
23	PAJ：ダムタイプ米国2都市ツアー	ニュージャージー州立モンクレア大学	2008.10.03 ～ 2008.10.18	ダムタイプが『ヴォヤージュ』の米国2都市ツアーを実施。モンクレアでは公開ワークショップも実施。
24	PAJ：チェルフィッチュ北米6都市ツアー	ジャパン・ソサエティー	2009.01.09 ～ 2009.02.20	劇団チェルフィッチュが『三月の5日間』（作・演出：岡田利規）の北米6都市ツアーを実施。
25	PAJ：ジャパン・ダンス・ナウ	シカゴ・コロンビアカレッジ付属ダンスセンター	2009.01.29 ～ 2009.02.21	コンテンポラリー・ダンスショーケースの全米3都市ツアーを実施。出演はニプロール、新上裕也、千日前青空ダンス倶楽部、BABY-Q。
26	PAJ：淡路人形座全米5都市ツアー	ロサンゼルス市文化事業局	2009.02.17 ～ 2009.03.08	淡路人形座が全米5都市においてツアーを実施。
27	PAJ：日米振付家交換レジデンスプロジェクト	ダンス・シアター・ワークショップ	2009.03.01 ～ 2009.04.30	日米両国の4人の振付家が日米4都市で各2週間の共同レジデンスを行い、地元の観客やダンス専門家との交流を通じて、将来のプロジェクトやコラボレーションの可能性を探求。参加アーティストは鈴木ユキオ、きたまり、エイミー・オニール（シアトル）、カイル・エイブラハム（ニューヨーク）。
28	PAJ：『あるハパ・カウガールの回想』米国5都市ツアー	ODCシアター	2009.03.31 ～ 2009.06.30	ダンデライオン・ダンスシアター、劇団Fe' LIX、カラン・ニシモト（作曲家）、土居由里子・波吉雅之（能楽師）の共同作品『あるハパ・カウガールの回想』の米国4都市ツアーを実施。
29	「前栽—日本の園芸」展	クリーブランド植物園	2008.04.05 ～ 2008.06.29	クリーブランド植物園にて開催された大規模な日本祭。森上日本庭園美術館が所蔵する日本園芸をテーマとした大橋治造写真展巡回、動植物園の岩流邸公開、民芸品の芹沢銈介のステンシルも展示。こどもの日を祝した行事や一般市民を対象とする茶道、生け花、太鼓公演／ワークショップ、証城寺ダンスなど様々な教育プログラムを実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	落語ボストン公演	ボストン日本人会	2008.04.15 ~ 2008.04.19	ボストン市内のノースイースタン大学にて三遊亭亭楽による落語公演を開催。アメリカ人にも分かりやすく、また聾啞者にも対応するよう字幕を付随。関連企画として、タフツ大学にてワークショップも実施。
31	日本の太鼓—公演と文化	ローズ・ハルマン工科大学	2008.04.20 ~ 2008.04.27	インディアナ州テレ・ハーテ市にあるローズハルマン工科大学では石川県金沢市を中心に活動する女性4人のアマチュア邦楽グループゆずり葉を招へいし、コンサートを実施。和太鼓を中心に、篠笛、津軽三味線を取り入れ、日本の伝統的な民謡やそれをもとに作成した曲、現代的な要素のある楽曲を演奏。
32	本谷有希子『乱暴と待機』英語上演	パフォーマンス・スペース122	2008.04.25 ~ 2008.05.04	本谷有希子作『乱暴と待機』をアメリカ人キャストがニューヨークを代表する前衛パフォーマンス・スペースPS122にて全6回公演。演出家や翻訳者なども含め、アーティストによるトーク・セッションも実施。
33	桂 勘『奇妙な魚』	ヴァンジェリン・シアター	2008.05.24 ~ 2008.05.25	国際的に活躍する舞踏家、桂勘主演・演出による水俣病をテーマにした作品『奇妙な魚』をニューヨーク・タイムズスクエア所在のチャシヤマ劇場にて公演。
34	伊藤さちよ舞踊団サロン・シリーズ10周年記念	伊藤さちよ舞踊団	2008.05.24 ~ 2008.11.23	今年10周年を迎える伊藤さちよの『さろんシリーズ』では、日本舞踊に重点を置きながら、日本伝統芸能に対する理解を深める事を目的に年3回レクチャー・デモンストラーション及び公演を開催。舞踊と詩歌をテーマにし、5月に『耳なし芳一』、6月に『即興の午後：連句と舞踊』、そして11月に音楽、舞踊及び詩歌を融合した公演を実施。
35	加藤文子振付『夢十夜』	ダンス・シアター・ワークショップ	2008.06.06 ~ 2008.06.08	ダンサー/振付家の加藤文子がChicago Dancemakers Forumのラボ・アーティストとして2007年から取り組んだ作品『おととうごきの曼荼羅・夢十夜』をシカゴ市内エピスコパル教会にて発表。国内外の多様なジャンルの音楽家・アーティスト・ダンサーとコラボレートし、サイトスペシフィックな即興パフォーマンスを展開。現代舞踊と音楽に見る日本美学をトピックとしたレクチャーや夏目漱石研究者によるディスカッションも実施。
36	Beyond Imagination: Satoshi Kon	Film Society of Lincoln Center	2008.06.27 ~ 2008.07.01	映画監督今敏を招へいし、作品上映及び講演会を実施。
37	「ジェームズ・ミッチナー浮世絵コレクション」展	テキサス大学オースチン校	2008.06.29 ~ 2008.08.24	ホノルル美術館所蔵作品を展示。浮世絵展に合わせ浮世絵の歴史や木版画の変遷に関する講演を実施。その他日本文学や映画、絵画に関する講演会も実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
38	エイコ&コマによる公演、レジデンシーおよびアウトリーチ	コンコード・アカデミー	2008.07.14 ~ 2008.07.15	エイコ&コマによるサマーステージ公演、レジデンシー、アウトリーチのプログラム。マサチューセッツ州コンコード市にて公演、ブルックライン市ではアーティスト・トーク、ボストン市ではワークショップを実施。
39	「バンター中川 治」展	コールマン芸術文化センター	2008.08.01 ~ 2008.10.15	オサム・ジェームズ・ナカガワの沖縄を題材とする写真展を開催。ナカガワによるアーティスト・トークの他に、西アラバマ大学や地元の高校歴史教師が連携し、約300校によるフィールド・トリップを実施。
40	「中空一山本 昌男」展	プリント・センター	2008.09.10 ~ 2008.11.26	プリント・センターにおいて、山本昌男が写真のインスタレーション作品を作成、アーティスト・トークも実施。
41	「ワン・サード」展	伊勢文化財団ギャラリー	2008.09.19 ~ 2008.11.07	新鋭写真家の相沢玄と齋木克裕による作品と、ニューヨークの柳ギャラリー所蔵の骨董品を1/3ずつ展示。現代美術と古美術を対置させ、時の流れ、歴史と現在をテーマとした同展では、両アーティストと骨董品ディーラー柳氏によるパネル・ディスカッションも実施。
42	日本の民俗文化・伝統の変化	ミシガン州立大学	2008.09.26	東北地方のマタギや沖縄文化、あるいは演歌など、日本の民俗文化を取り上げ、その変化について議論。
43	Japanese Film Series	Kent State University	2008.10.23 ~ 2008.10.26	Kent State Universityにおいて日本映画を特集した映画祭を開催。アニメから最新の映画まで、計6本の映画上映を実施。
44	DO ENKA	ニュー・ヘリテージ・シアター	2008.11.01	ハーレムを代表する文化機関のニュー・ヘリテージ・シアター・グループと日本人プロデューサー阿部勝弥とのチームワークの下、ニューヨーク市立美術館にて演歌、ブルース、ジャズの歴史とコラボレーションをテーマとしたコンサートを開催。小田裕一郎、セロニアス・モンク Jr.、サージオ・サルバトアーらが出演。
45	Prospect.1 New Orleans	米国ビエンナーレ事務局	2008.11.01 ~ 2009.01.18	ニューオリンズにて開催された国際ビエンナーレ。世界30カ国以上、アーティスト81名の作品をニューオリンズ市内にて展示。日本からは宮島達男、森村泰昌、ニューヨーク在住の堀崎剛志が参加。
46	「Current Work」レクチャー・シリーズ 隈研吾講演会	ニューヨーク建築協会	2008.11.03	ニューヨーク建築協会による「Current Work」レクチャー・シリーズの一環として、日本から隈研吾（建築家）を招へいし、ニューヨーク市内クーバーユニオンにて講演会を実施。
47	日本コンテンポラリー・ダンス・アンド・アート展	Dance New Amsterdam	2008.11.03 ~ 2008.11.28	舞踊家の山崎広太による『Chamisa 4°C』の公演とワークショップの関連企画として、日本コンテンポラリー・ダンスの歴史に関する展覧会を開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
48	Unwrapped!:クリスト&ジャンヌ＝クロードと日本文化	フィリップス・コレクション	2008.12.04	ワシントンDCのフィリップス・コレクションにて開かれる『クリスト&ジャンヌ＝クロード:Over the River』の関連特別事業として、風呂敷ワークショップや映画上映を実施。
49	郡裕美『うたたね』展	ムーア造形芸術大学ギャラリー	2009.01.21 ~ 2009.03.14	建築家の郡裕美を日本から招へいし、アーティスト・イン・レジデンスの後、インスタレーションを実施。美術大学生との交流、地元高校訪問、及び講演会を実施。
50	能公演・ワークショップ	ジョージタウン大学	2009.01.27 ~ 2009.02.01	ケンタッキー州ジョージタウン大学にて観世流能楽師4名による5日間のワークショップ実施の後、一般向けの公開リサイタルを開催。イェール大学でもワークショップとデモンストレーションを実施。
51	世界遺産写真展	南フロリダ大学	2009.02.09 ~ 2009.02.19	ニューヨーク日本文化センター所蔵の世界遺産写真パネルをタンパ市に所在する南フロリダ大学ビジネス・スクール講堂にて展示。
52	日本の現代思想の軌跡を追う	ペンシルバニア州立大学	2009.02.20 ~ 2009.04.03	東浩紀と宮台真司による日本の現代思想に関する講演を、アジア学会(シカゴ)、ペンシルバニア州立大学、テキサス大学、ミシガン大学にて開催。
53	アジア系アメリカ人美術シンポジウム2009:アジア系アメリカ人美術の世紀	ニューヨーク大学アジア・パシフィック・アメリカン協会	2009.03.06	アジア系アメリカ人美術シンポジウムおよび懇談会を開催。6時間にわたった同シンポジウムには著名なアジア美術専門家15名がパネリストとして招かれ、米国におけるアジア美術のあり方を討議。
54	ワシントンDC桜祭り2009	National Cherry Blossom Festival	2009.03.26 ~ 2009.03.29	ワシントンDC桜祭りの開会式にて人気演歌歌手ジェロが演歌を披露。

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
55	いけばなインターナショナルニューヨーク支部創立50周年および草月創流70周年記念行事	いけばなインターナショナル・ニューヨーク支部	2008.04.16	コロンビア大学アルフレッド・ラーナーホールにていけばなインターナショナル・ニューヨーク支部の50周年と草月流80周年を記念した合同行事を開催。
56	英語寄席興行『ニューヨーク繁昌亭』	ニューヨーク繁昌亭プロジェクト	2008.09.17	日本大衆娯楽の代表である『寄席演芸』を全編英語にて実施。
57	国際七五三	インターナショナル・シントウ・ファウンデーション	2008.10.25 ~ 2008.10.26	日米両国間のより深い相互理解に寄与することを目的として、子供の成長を感謝し、将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨーク日米協会にて開催。

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
58	『オールド・ノリタケ 美の架け橋』展	日本ポーセリン協会	2009.01.29 ~ 2009.02.25	一世紀以上も前に太平洋を渡り、日本からアメリカに輸出されてきた「オールド・ノリタケ」の選りすぐりの名品や佳品を集めた「オールド・ノリタケ名品展」をニューヨークに所在する日本クラブギャラリーにて開催。
59	『グローバル・コンテキストにおける現代日本美術』講演会シリーズ	ヴィルチェック財団 (The Vilcek Foundation)	2009.03.12 ~ 2009.05.15	ヴィルチェック財団にて3月中旬から約2か月間開催された『Ryo Toyonaga: Mephistophelean』展に関連した講演会シリーズ。ニューヨーク在住の著名な日本美術専門家3名が隔週約1時間にわたって講義を実施。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
60	文化映画貸し出し	The Getty Foundation University of Pittsburgh- Hillman Library	2008.08.18 ~ 2008.08.19 2008.10.02 ~ 2008.10.30	ニューヨーク日本文化センター所蔵の文化映画（16mmフィルム）、「山中漆器」、「平家物語の世界」、及び「文楽・曾根崎心中-天神森の段-」の貸し出し。
61	世界遺産写真展	南フロリダ大学	2009.02.09 ~ 2009.02.19	ニューヨーク日本文化センター所蔵の世界遺産写真パネルをタンパ市に所在する南フロリダ大学ビジネス・スクール講堂にて展示。



ロサンゼルス日本文化センター

合計額 130,365,884 円

## (1) 主催・共催事業

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	富田きものショウ	ロサンゼルス	在ロサンゼルス総領事公邸		2008.10.28	きものスタイリストの富田伸明によるきものショウを在ロサンゼルス総領事公邸にて開催。ハリウッド関係者等を招待し、着物についての知識や美しさを紹介。
2	能楽レクチャー・デモンストラーション	ロサンゼルス/サンフランシスコ/ポートランド/シアトル/デンバー	アラタニ日米劇場/サンフランシスコ大学/ドローズウィングスタッド劇場/シアトル美術館/コロラド大学デンバー校	日米文化会館/サンフランシスコ大学/ポートランド州立大学/シアトル美術館/コロラド大学デンバー校	2009.02.06 ~ 2009.02.14	伝統芸能である能楽を分かりやすく解説する文化イベント。味方玄(観世流能楽師)を中心に、京都で活躍中の能楽師5名が米国西部5都市を巡回し、講演と実演で能楽の魅力を紹介。

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語教育リーダー育成研修(DC・指導者の人材育成)	ワシントンDC	在米国大使館広報文化センター		2008.06.27 ~ 2008.06.28	これから国際交流基金ならびに日本政府の米国側カウンター・パートとして日本語教育を牽引できる指導者の人材を育成することを目的とした研修。指導法・研究発表等を主眼とする従来型の研修会とは異なり、教師間の横の連携の強化、さらにはその力を結集して教育省等の上部組織に「日本語教育の重要性」を政策的に訴えること等を重点に研修内容を構成。
4	中学高校教員交流(招へい)事業(米国教育関係者グループ)事前オリエンテーション	ロサンゼルス	都ホテル/ロサンゼルス日本文化センター		2008.07.01	米国における初中等レベルの日本語教育拡充等を主な目的として、米国の初中等教育機関の校長および教育行政担当官を日本へ招へいする事業の参加者に対する、米国内での事前オリエンテーション。ロサンゼルス日本文化センタースタッフによるレクチャー、在ロサンゼルス総領事館や日本貿易振興機構等関係機関による講演のほか、ロサンゼルス日本文化センター視察を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本語教育シンポジウム	ロサンゼルス	在ロサンゼルス総領事公邸	オーロラ日本語奨学金基金 在ロサンゼルス総領事館	2008. 10. 04	「日本語教育の課題と展望」をテーマにロサンゼルス日本文化センター、オーロラ日本語奨学金基金、在ロサンゼルス総領事館の共催でシンポジウムを開催。日本語教師会関係者、日本語教師、外国語教育専門家を招き、これからの日本語教育の発展を目指して建設的な討論を展開。
6	日本語教育リーダー育成研修（カリフォルニア教師会情報交換会）	ロサンゼルス	日米文化会館		2008. 11. 16	国際交流基金や日本政府の米側カウンターパートとして日本語普及に取り組むことができるリーダー的人材を育成する、米国日本語教育リーダー研修の一環として、カリフォルニア州の教師会代表者を集めての情報交換会を実施。
7	米国外語教育協会日本語教師会活動支援	オーランド	ウォルト・ディズニー・ワールド・ドルフィン・アンド・スワン・リゾート	在ニューヨーク総領事館	2008. 11. 20 ～ 2008. 11. 23	米国外語教育協会（ACTFL）年次総会期間内に全米日本語教師会（NCJLT）が主催する日本パビリオンにブースを出すことにより、各地から参加する日本語教師の交流および情報交換の場を提供。
8	日本語教育コンサルティング委員会（予備審査会）	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター		2009. 01. 17	平成21年度対米日本語関係公募プログラムの予備審査過程として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催。
9	日本語教育専門家会議	シカゴ	ディポール大学	ディポール大学	2009. 03. 26	米国日本語教育が現在抱える問題を取り上げ、日本語教育指導者および関連分野に精通する専門家と討議する会議を開催。日頃交流の薄れがちな日本語教育と日本研究の連携強化を図ること目的に、日本研究と日本語教育の連携とコラボレーションを実践している両分野の専門家を16名招集し、実践報告と現状と課題について意見交換を実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
10	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ロサンゼルス日本文化センターに併設されている図書館の運営。日本語教育専門図書館であり、主な利用者層は日本語教師。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。蔵書は7,914点、視聴覚教材は1,741点。会員数は1,068名、利用者(入館者・郵送貸出利用者)数は延べ618名。

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	ウェブマガジン管理及び編集				2008.04.01 ~ 2009.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌をオンラインで刊行。
12	広報用ビデオ作成費				2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金事業全般の広報を強化するため、事務所主催イベント(能楽レクチャー・デモンストレーション)を紹介するビデオを制作。
13	「東洋宮武のカメラ」特別試写会と記者会見	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	UTB	2009.01.29	平成20年度映画テレビ番組制作助成作品「TOYO's CAMERA(邦題:東洋宮武のカメラ)」のメディアと日系人諸団体への特別試写会と記者会見を実施。記者会見では在ロサンゼルス総領事とロサンゼルス日本文化センター所長が挨拶をし、すずきじゅんいち(監督)、寺坂重人(UTBプロデューサー)、アーチャー・宮武、音楽を担当した喜多郎が質疑応答に対応。その後、図書館スペースを利用した意見交換会を実施。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本食と酒のフェスティバル2009	アナハイム	ハイアット・リージェンシー・ホテル	日本食文化振興協会／日本貿易振興機構ロサンゼルス	2009.03.05	健康志向食品業者が集まる全米見本市ナチュラルフードエキスポにあわせて、農林水産省、日本貿易振興機構が民間団体である日本食文化振興協会と中心になり、日本食を提供する官民合同イベントを開催。第1部は食品卸売り業者、レストラン業者、メディア、第2部は一般客を対象に、日本食体験を提供。ロサンゼルス日本文化センターはイベントの文化発信コンテンツとして、津軽三味線奏者とお茶会の手配に協力。広報ブースも出展。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
15	文化・芸術ミニグラント（60年代日本アクション映画上映会）	アメリカンシネマティーク	2008.04.25 ～ 2008.04.26	ハリウッドの映画団体アメリカンシネマティークが企画し、小林旭、渡哲也、宍戸錠主演の1960年代のヤクザをテーマにした選りすぐりのアクション映画6作品を上映。
16	文化・芸術ミニグラント（クレスト日本映画上映会）	ユナイテッドメソジスト教会	2008.05.16 ～ 2008.05.17	サクラメントの地元社会が中心となり、文化交流と教育促進を目的として開催された文化イベント。日本映画『ALWAYS三丁目の夕日』とともにアジア系学生による自主制作映画も上映。
17	文化・芸術ミニグラント（活花展示会）	全米日系人博物館	2008.06.15 ～ 2008.09.07	現代芸術をコンセプトにしたいけばな展。長年いけばなをロサンゼルスで伝えてきた華道の三流派、池坊、大原、草月の共同プロジェクトとして米国におけるいけばなの歴史や日系人の役割を伝えた企画。デモンストレーションイベントも同時開催。
18	文化・芸術ミニグラント（凧、凧、もつと凧）	ヒュイ・ノ・エウラ・ビジュアルアートセンター	2008.06.22 ～ 2008.07.05	30人の凧職人の凧展覧会と日本から招いた吉住のぶひこ（凧職人）のワークショップ。日本凧イベントを多く行っているドラクチェン財団（ワシントン州）との共催事業。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
19	文化・芸術ミニグラント(映画「眉山」上映とオーロラファンタジーショー)	オーロラ日本語奨学金基金	2008.06.29	オーロラ日本語奨学金基金10周年記念事業の一環として、さだまさし(歌手)原作の映画『眉山』の上映と中垣哲也(写真家)によるオーロラ写真スライドショーを開催。
20	文化・芸術ミニグラント(日本の童話語り部ツアー)	文化芸術協会	2008.10.09 ~ 2008.10.27	キャシィ・スパグノリ(ストーリーテラー)をゲストスピーカーとして招待し、日本の童話(桃太郎や宮沢賢治作品)を紙芝居や語りなどで紹介する巡回イベント。オアフ、マウイ、カウアイ島の3島、17会場で開催。ハワイ地区では20年間ホノルル市の主催で開催しているトークストーリー・フェスティバルに参加。
21	文化・芸術ミニグラント(大和田葉子フルートコンサート)	コミュニティースクール	2008.10.10	大和田葉子(フルート奏者)を日本から招き、西洋のものから日本の童謡までさまざまな曲を奏でるフルートコンサート。シリコンバレー地域の音楽学校で開催。
22	文化・芸術ミニグラント(黒澤明映画上映会)	サンディエゴ日米協会	2008.12.05 ~ 2008.12.11	黒澤明(映画監督)作品の映画上映会。『用心棒』『隠し砦の三悪人』『天国と地獄』『生きる』『七人の侍』『羅生門』の6作品を1週間に渡ってサンディエゴ郊外で上映。
23	文化・芸術ミニグラント(お正月・イン・リトル東京)	南加日系商工会議所	2009.01.01	ロサンゼルス在地元コミュニティと日系コミュニティが協力して行うお正月イベント。在ロサンゼルス総領事からの新年の挨拶に始まり、餅つき、凧づくり、太鼓演奏、日本舞踊のパフォーマンス等、日本の伝統的正月の祭りをリトル東京に再現。
24	文化・芸術ミニグラント(事始)	日米文化会館	2009.01.04	リトル東京で行なう日本の正月イベント。日本舞踊や弓を使ったパフォーマンスに加え地元ダンス学校のカルバン・ダンススクールがモダンダンスを披露。地元コミュニティと日系コミュニティとの共催文化イベント。
25	文化・芸術ミニグラント(ジャパニーズヒュージョン)	グランドビジョン財団	2009.01.24 ~ 2009.02.21	ヒダノ修一(太鼓奏者)の太鼓と民謡ステーションによる2つのパフォーマンス。伝統的な日本の芸能に現代的な感覚を取り入れた新しい構成の事業。同時に教育的効果の高いワークショップも開催。
26	文化・芸術ミニグラント(鼓童)	ワシントン大学財団	2009.01.30 ~ 2009.01.31	ワシントン大学のワールドパフォーマンスシリーズの1つとして、日本から太鼓グループ鼓童を招き、2日間の日程でパフォーマンスと無料ワークショップを開催。
27	文化・芸術ミニグラント(禅と能)	レーン・コミュニティ・カレッジ	2009.02.26	禅の庭と能の舞台に関してデザインの観点で捉えた講演会。レーン・コミュニティ・カレッジとオレゴン大学の共催で建築学部、芸術学部の学生や一般を対象にオレゴン在住で京都出身の元氏智子教授を招き、カルチャークラス形式で開催。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
28	文化・芸術ミニグラント（日本映画祭）	ワイオミング日米協会	2009.02.28 ～ 2009.03.07	ワイオミング日米協会がここ数年日本文化紹介イベントとして開催しているワイオミング州ララミーとチェイニーにおける無料日本映画上映会。『フラガール』と『続・三丁目の夕日』を上映。
29	文化・芸術ミニグラント（黒沢清作品上映会）	センター・フォー・アジアアメリカンメディア	2009.03.12 ～ 2009.03.22	サンフランシスコ国際アジア映画祭で黒沢清（映画監督）の7作品を上映。最新映画『東京ソナタ』も米国公開され、黒沢監督も出席。サンフランシスコ、バークレー及びサンノゼの3都市で開催。
30	日本語教育ミニグラント（米国北東部日本語教師会およびニューイングランド日本語教師会による合同研修会）	米国北東部日本語教師会	2008.06.14	初中等教育レベルの教師を中心とする米国北東部日本語教師会、および高等教育レベルの教師を中心とするニューイングランド日本語教師会による合同研修会。幼稚園から大学まで、全ての教育レベルの教師が一堂に会し、縦の繋がりの強化を念頭に置いて実施。
31	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成）カリフォルニア州日本語教師養成夏期セミナー	加州外国語教育プロジェクト	2008.06.23 ～ 2008.06.27	カリフォルニア州外国語教育プロジェクト主催の、日・仏・西の3つの外国語を対象にした5日間の教師養成夏期セミナー。日本語教師向けのセミナーでは、日本のポップカルチャーをテーマにした教案作りについて実践的な指導を実施。
32	日本語教育ミニグラント（継承日本語教師夏期研修）	ATJ（日本語・日本文学学会）	2008.06.30 ～ 2008.07.08	継承日本語学校の教師を対象とした7日間に亘る夏期集中研修。片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）、ダグラス昌子（同大学准教授）および知念聖美（同大学講師）が講師陣となり、継承日本語学習者向けのカリキュラムや指導案、および学習効果の高いアクティビティー等を紹介。
33	日本語教育ミニグラント（フランク安田没後50年記念事業）	クルイックシャンク学校	2008.08.20 ～ 2008.08.25	アラスカ州ビーバー村建設に尽力した石巻出身のフランク安田（本名：安田恭輔）の没後50周年を記念し、故郷石巻市からの訪問団が50回忌法要に参列。記念事業の一環として、ビーバー村の児童などに対する日本語および日本文化の授業を実施。
34	日本語教育ミニグラント（『げんき ボリューム2』視聴覚教材制作）	バックネル大学	2008.09.01 ～ 2008.12.31	米国で広く利用されている日本語教材『げんき（Vol.2）』の指導案に沿った視聴覚教材（ウェブ動画）の制作。完成した動画は『げんき』公式ホームページにて平成21年度中に配信開始の予定。
35	日本語教育ミニグラント（グアム日本語ガイドラインの改定およびサイパンとの日本語教育ネットワーク促進）	グアム日本語教師会	2008.09.01 ～ 2009.03.15	グアムとサイパンは地理的には近いが、日本語教育の分野では、これまで一度も両地域の交流を試みたことがなく、今回初めてグアム日本語教師会主催研修会にサイパンの日本語教育関係者がゲストスピーカーとして参加。双方のネットワーク強化が促進され、また現在最終段階にあるグアムの日本語ガイドラインの改定プロジェクトの情報を共有。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
36	日本語教育ミニグラント（コロラド日本語教師会セミナー）	コロラド日本語教師会	2008.09.27	コロラド州およびワイオミング州の日本語教師を対象に、鈴木シゲ（コロラド大学ボールダー校教授）を招いて日本のポップカルチャーに焦点をあてた教授法ワークショップを開催。同地域の教師間ネットワークの強化にも一助。
37	日本語教育ミニグラント（オハイオ日本語教師研修会）	オハイオ日本語教師会	2008.11.01	オハイオ日本語教師会主催によるネットワーク強化を念頭においた勉強会。古幡浜子（マウント・ユニオン大学教授）をゲストに招き、日本語教育におけるアニメ・漫画の活用方法を言語学の理論に基づいて考察。
38	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） ミシガン州の現職日本語教師向け教師養成コース 受講料支援プロジェクト	イースタン・ミシガン大学	2009.01.31 ～ 2009.03.11	イースタン・ミシガン大学教師養成プログラムの正規の日本語教師養成講座。ミシガン州の現職日本語教師および教師候補者、合わせて15名が参加。同講座を通して、現職日本語教師はProvisional Certificateの更新、あるいはProfessional Certificateへのアップグレードに必要な単位が、また教師候補者は教職課程の必須単位が3単位取得可能。
39	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） オレゴン州日本語教師養成セミナー	オレゴン日本語教師会	2009.02.06	オレゴン州の日本語教師を対象とした勉強会。3人の高校教師が、各自の効果的なレッスンプランを共有し、加えて、参加者でアイデアを出し合いながら、今後の授業で活用できる新しいレッスンプランを作成。参加者は本セミナーを通して、教師資格免許の更新に必要なPDU（Professional Development Unit）が6ユニット取得可能。
40	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） 米国北東部日本語教師養成セミナー	米国北東部日本語教師会	2009.02.14 ～ 2009.02.15	米国北東部の日本語教師を対象とした勉強会。参加者は2日間のセミナーを通して、教師資格免許の更新に必要なProfessional Development Unit（PDU）を12ユニット取得できることとなっており、加えてニューヨーク州立大学からのクレジット（1単位）も取得可能。
41	日本語教育ミニグラント（継承日本語レクチャー&ワークショップ）	加州日本語学園協会	2009.02.21	片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）およびダグラス昌子（同大学准教授）を招き、継承日本語学校の教師を対象に、ナショナル・スタンダードに沿った日本文化の指導法についての基調講演を実施。
42	対米日本語特別助成（現職教師資格取得研修助成） カリフォルニア州の2009年改訂版「スタンダード」に基づいた外国語教師総会	カリフォルニア外国語教師会	2009.02.26 ～ 2009.03.01	カリフォルニア州外国語教師会の年次総会において、日本語教師養成セミナーを実施。総会参加者数は約750名、そのうち日本語教育関係者は50名程度。本総会のセッション・セミナー等は全て2009年1月から施行された州の改定版スタンダードに沿った内容となっており、同セミナー参加者は教師資格免許の更新に必要な単位やPDH（Professional Development Hours）が取得可能。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
43	日本語教育ミニグラント（継承日本語カリキュラム開発）	イリノイ日本語教師会	2009.02.28	イリノイ教師会主催による日本語教師ワークショップ。継承日本語教育の専門家であるダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授）をゲストスピーカーに招き、継承日本語教育に特化したカリキュラム開発についての講義を実施。
44	日本語教育ミニグラント（第24回米国南東部教師会総会）	ウェイクフォレスト大学	2009.03.21 ～ 2009.03.22	森順子（ウィスコンシン大学マディソン校准教授）を基調講演者に招いた研修会。第2言語習得理論などの言語学の最新情報を紹介するとともに、日本語教育への実践方法を参加者と一緒に考察。



メキシコ日本文化センター

合計額 32,114,318 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日墨400周年記念講演（大垣喜志郎氏）	メキシコ市	メキシコ連邦下院「Auditorio Norte」	在メキシコ大使館	2009.02.24	日墨交流400周年記念事業の一環として日本とメキシコおよび中南米との交流を専門とする日本の学者による日墨関係の過去と未来についての講演会。
2	ボゴタ国際図書展講師派遣	ボゴタ（コロンビア）	博覧会場（ボゴタ）	在コロンビア大使館、コロンビア図書基金、博覧会基金	2009.04.30 ～ 2009.05.08	日本を招待国としているボゴタ国際図書展（コロンビア）に、日本文学に関する講演会を実施するため、エル・コレヒオ・デ・メヒコのギジェルモ・クアルトゥッチ教授を派遣。

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語教師短期集中講座	メキシコ市	在メキシコ大使館広報文化センター	社団法人メキシコ日本語教師会	2008.06.30 ～ 2008.07.01	メキシコ日本語教師会との共催により、経験の浅い日本語教師を対象に、すぐに教室活動に使える「授業の進め方（導入から指導）」をテーマにセミナーを実施。
4	メールによる作文講座	メキシコ市		社団法人メキシコ日本語教師会	2008.08.01 ～ 2008.11.30	非母語話者日本語教師を対象にしたメールによる作文講座。「作文力」、「語彙力」、「漢字力」のレベルアップをはかることで、高度な作文技術を身につける。受講者は2週間に1度課題の提出が義務付けられ、10名の母語話者教師が添削指導と評価を行う。

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
5	図書館運営	2008.04.01 ～ 2009.03.31	蔵書合計：合計10,247点（日本語書籍5,332点、その他外国語書籍3,807点、雑誌361点、その他視聴覚747点）会員数：1,063名（2009年3月31日現在）

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
6	広報誌の発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコの日本語教師を対象にした日本語教育ニュースレター。年3回発行（7月、11月、3月）し、全8ページ2色刷り（500部発行）。
7	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトの運営。各種事業案内、日本のアート等を、主にスペイン語で紹介。年間アクセス数は、103,506件。 URL : <a href="http://www.fjmex.org/">http://www.fjmex.org/</a>
8	情報発信機能強化	2008.04.01 ~ 2009.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトへ日本語関連記事を翻訳し公表。
9	広報資料翻訳	2008.04.01 ~ 2009.03.31	広報用資料の翻訳

## 【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	小津安二郎映画祭（開会式）	メキシコ市	国立シネテカ	国立シネテカ	2008.09.02	小津安二郎監督作品を特集上映の開会式を実施。
11	中高教員訪日（オリエンテーション）	メキシコ市	メキシコ日本文化センター		2008.10.04	メキシコの中学・高校の社会科教師3名を約2週間日本に招へいし、文化、社会、教育事情を視察してもらうためのオリエンテーションを実施。
12	巡回展「武道の精神展」（開会式）	メキシコ市	国立文化博物館	国立文化博物館	2008.10.22	国際交流基金本部所有の巡回展「武道の精神展」の開会式を国立文化博物館で実施。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
13	(映画) ショートフィルムフェスティバル「ショートショート2008」	メキシコ市	シネメックス映画館(3会場)、国立シネテカ	プロモフィルムフェスト	2008.09.04 ~ 2008.09.10	日本から始まったショートフィルムフェスティバルの第3回目。インターナショナル、アジア、日本のプログラムを特集上映。
14	(公演事業) 詩の祭典	メキシコ市	カサ・デル・ラゴ	カサ・デル・ラゴ	2008.09.25 ~ 2008.10.11	詩の朗読フェスティバルに、日本より野村貴和夫（詩人）、斉藤徹（コントラバス奏者）を招へい。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
15	第4回メキシコ中部地方日本語弁論大会	サポパン	モンテレイ工科大学 グアダラハラ校	グアダラハラ日本語 教師勉強会	2008. 10. 11	地方の日本語教育機関の活性化と教師間の連携強化を図ることを目的に、メキシコ4州（グアナファト州、ハリスコ州、サンルイスポトシ州、ケレタロ州）にある日本語教育機関が合同で実施。
16	(公演事業) 建築講演会	メキシコ市	アナウアック大学	アナウアック大学	2008. 10. 16	アナウアック大学建築学科で行われた建築講演会に日本より原広司（建築家）を招へい。
17	(公演事業) 電子音楽、Multimedia フェスティバル「インター フェイス」	プエブラ、 メキシコ市	現代アートギャラリー 他5カ所	プエブラ・オリソンテ 財団	2008. 11. 21 ~ 2008. 11. 24	プエブラ市で行われた電子音楽フェスティバルに、日本より川端竜太（俳優）、ひでかずわか林（ボーカリスト）を招へい。
18	(公演事業) 箏箏会（かそうかい） キューバ公演	ハバナ （キューバ）	サンフランシスコ礼拝 堂	在キューバ大使館、 ハバナ歴史事務所、 キューバ日系人欄楽 会、箏箏会（かそうか い）	2009. 01. 07 ~ 2009. 01. 10	日本・キューバ外交関係樹立80周年記念新年演奏会にメキシコ市在住の西村佳子（箏奏者）を派遣。
19	(展示事業) ビデオ・写真展 プロジェ クト「JAPON」	レオン	エロイサ・ヒメネス ギャラリー	インスティテュート・ クルトゥラル・デ・レ オン	2009. 02. 22 ~ 2009. 03. 30	メキシコで活躍する芸術家・萩野美穂、ソリージャ太郎（建築家）が111名の日本在住日本人、メキシコ在住日本人及び日系人へのインタビューをドキュメントビデオ及び肖像写真で記録。2009年3月よりメキシコ国内5カ所を巡回予定。
20	(公演事業) メキシコ剣道協会	メキシコ市	メキシコオリンピック 協会	メキシコ剣道協会	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 17	メキシコ剣道協会が日本から山中氏、藤原氏を招待し、実技講演やセミナー講演を実施。
21	(公演事業) ノイズ・実験音楽フェス ティバル「Rader8」	メキシコ市	国立劇場	メキシコ市セントロイ ストリコ芸術祭	2009. 03. 13 ~ 2009. 03. 23	Rader（ノイズ・実験音楽フェスティバル）に、日本より音楽家灰野敬二を招へい。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
22	(展示事業) 「日本の世界遺産」	ヌエボレオン 州	ヌエボレオン州立大学	ヌエボレオン州立大学	2008. 04. 07 ~ 2008. 04. 25	ヌエボレオン州立大学で開催された「ヌエボレオン州日本語弁論大会」、「日本文化祭」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
23	(展示事業) 「日本の生活写真パネ ル」、「ふろしき」	メキシコ市	パンアメリカ大学	パンアメリカ大学	2008. 04. 14 ~ 2008. 04. 28	パンアメリカ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

海外事務所

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
24	(展示事業) 「日本の生活写真パネル」	サン・ミゲル・デ・アジェンデ	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ	ソシエダ・シビル・エン・マルチャ	2008.05.13 ~ 2008.05.30	グアナファト州サンミゲルデアジェンデ市で開催された「第9回国際フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
25	(展示事業) 「日本の世界遺産」、 「日本の生活写真パネル」	メキシコ市	ラサージェ大学	ラサージェ大学	2008.06.02 ~ 2008.06.27	ラサージェ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
26	(展示事業) 「日本の世界遺産」	テスココ	ペドロ・デ・ガテン大学	ペドロ・デ・ガテン大学	2008.06.11 ~ 2008.06.16	メキシコ州テスココ市のペドロ・デ・ガテン大学にて開催された「日本文化週間」イベントに、メキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
27	(展示事業) 「日本の世界遺産」	メキシコ市	社会保険庁舎ロビー	社会保険庁	2008.07.10 ~ 2008.07.30	メキシコ市の社会保険庁舎ロビーで開催された日本文化紹介イベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
28	(展示事業) 「原田泰治絵画」	クエルナバカ	ホテル・ミッション	ホテルミッション	2008.07.31 ~ 2008.08.11	モレロス州クエルナバカ市の「ホテル・ミッション」を会場に開催された日本文化月間のイベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
29	(展示事業) 「日本のおもちゃ」	クエルナバカ市	モレロス州立大学	モレロス州立大学/箕面クラブ	2008.07.31 ~ 2008.08.11	クエルナバカ市と大阪箕面市が姉妹都市であることから同市のモレロス州立大学が同大学内の親睦団体「箕面クラブ」と共催で実施した日本文化紹介イベント。メキシコ日本文化センターは文化備品を貸し出し。
30	(展示事業) 「原田泰治絵画」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校)	ENP (国立中学・高等学校)	2008.09.24 ~ 2008.10.9	開校140周年を迎えたENP (国立中学・高等学校) の年間行事として開催された「日本文化週間」に、メキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
31	(展示事業) 「ふるしき」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校	2008.10.17 ~ 2008.10.31	ENP (国立中学・高等学校) オリエンテ校で開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
32	(展示事業) 「茶道道具セット」	メキシコ市	国立文化博物館	国立文化博物館	2008.10.21 ~ 2008.12.20	国立文化博物館で開催された巡回展「武道の精神」展の装飾品の一部としてメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

海外事務所

	事業名	都市	会場	対象機関	期間	事業内容
33	(展示事業) 「日本のおもちゃ」	メキシコ州	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校	2008.11.03 ~ 2008.12.12	メトロポリタン自治大学ソチミルコ校で開催された「日本文化月間」イベントにメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
34	(展示事業) 「日本の世界遺産」、「ふるしき」	メキシコ州	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校	2008.11.07 ~ 2008.11.14	メキシコ国立自治大学クアウティトラン校で開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
35	(展示事業) 「日本の世界遺産」	メキシコ市	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパス	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパス	2008.11.27 ~ 2008.12.11	ENP (国立中学・高等学校) 第3キャンパスで開催された「日本文化週間」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。
36	(展示事業) 「茶道道具セット」、「ふるしき」	メキシコ市	ラ・サージェ大学	ラ・サージェ大学	2009.02.10 ~ 2009.03.06	ラ・サージェ大学で開催された「多文化フェスティバル」にメキシコ日本文化センターの文化備品を貸し出し。

サンパウロ日本文化センター

合計額 196,118,648 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミгранテス見本市会場	ブラジル日本都道府県人会連合会	2008.07.18 ~ 2008.07.20	イミгранテス見本市会場にて開催されるジャパン・フェスティバル会場内の在サンパウロ総領事館ブースに、サンパウロ日本文化センターの展示スペースを設置。日本文化紹介ビデオ放映や文化備品を展示。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	研究発表会「新たな日本研究」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル日本研究学会	2008.10.30	大学院修士課程・博士課程の研究者4名による各自の日本研究の発表。各研究テーマは「観音の面-今昔物語の三説話に存在する象徴的巡歴」、「日本人アスリートの身体的イメージに及ぼす故障の心理的影響」、「宗教におけるカリスマと権力-谷口雅春氏（生長の家）の遺産」、「在日ブラジル人の中での宗教の意義」。
3	研究発表会「新たな日本研究」（第2回目）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル日本研究学会	2009.03.18	大学院修士課程・博士課程の研究者4名による各自の日本研究の発表。各研究テーマは「ブラジル・日本間の報道：ブラジルでの日本アイデンティティーの形成と日本でのブラジルアイデンティティーの形成」、「大学の外国語教育の副材料としての漫画」、「BPIの道場：道を切り開く場所」、「Entry Strategy and Performance of Japanese Subsidiaries in Brazil」。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
4	機関紙「TOBIRA」発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	各事業の事前広報用機関紙「TOBIRA」の発行。ブラジル全国へ配布。

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
5	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ウェブサイトを通じてサンパウロ日本文化センターの事業、図書館ほか各種日本文化関連情報を紹介した。ウェブサイト使用言語はポルトガル語。 URL: <a href="http://www.fjsp.org.br/">http://www.fjsp.org.br/</a>

【映画・テレビ番組制作】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	定例映画上映会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2008.05.15 ~ 2009.03.17	ブラジルフィルムライブラリー所蔵映画の定例上映会。隔週火曜日（夜）と木曜日（午後）に実施。平成20年度には35回の上映会を実施。
7	テレビ番組制作「味覚の知恵」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2008.11.06 ~ 2009.03.16	サンパウロ日本文化センター企画「味覚の知恵」シリーズのテレビ番組化。全10回にわたり、和食の基本を紹介。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。
8	テレビ番組制作「ペンタトニカ」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2008.11.26 ~ 2009.03.31	日本の音楽（民謡からロックまで）を紹介するテレビ番組の制作及び放送。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。
9	日本文化紹介テレビ番組制作「浮世絵の世界」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.02.15 ~ 2009.03.31	浮世絵専門家マダレーナ橋本（サンパウロ大学教授）によるテレビ向け講座。30分番組3回分によって構成。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。
10	日本文化紹介テレビ番組制作「建築・デザイン」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.03.17 ~ 2009.03.30	日本の建築様式の影響を受けた作品（建物、室内やデザイン）を紹介するテレビ番組の制作及び放送。30分番組を全10巻収録。
11	日本文化紹介テレビ番組制作「日本の舞踊史」	サンパウロ	全国放送	JBNテレビ	2009.03.26 ~ 2009.03.31	日本研究者のクリスティーネ・グライナー（サンパウロカトリック大学教授）による日本の舞踊の歴史を紹介するテレビ番組の制作及び放送。30分番組3本によって構成。全国で放送を実施、ウェブテレビでも無料で配信。30分番組を全10巻収録。

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	VIVA JAPAN 日本に関する作文コンクール				2008.04.01 ~ 2008.06.22	日本人移住100周年を記念する事業の一環として、サンパウロ州教育局が運営する州立学校を対象とした日本に関する作文コンクールを実施。
13	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局／パラナ州教育局	2008.05.19 ~ 2008.05.21	サンパウロ及びパラナ両州教育局の運営する州立学校（中等教育課程）の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、教師の定期的研修（初任者レベル）を実施。
14	CEL・CELEM学生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局／パラナ州教育局	2008.07.18 ~ 2008.07.19	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績優秀な学習者を選抜して、サンパウロで研修を実施。
15	公教育日本語支援事業（ポスターコンクール）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2008.07.21 ~ 2008.11.10	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の日本語講座（CEL・CELEM）を中心として、中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布した。
16	ブラジル・カラオケ日本語学習キャラバン	リオデジャネイロ、フォルタレーザ、ベレン、サンレオポルド、サンパウロ、ロンドリーナ、ブラジリア、マナウス			2008.09.07 ~ 2009.02.08	ブラジル国内数カ所の拠点地域へ出かけて行き、ブラジルで日本語を学ぶ学習者の大多数を占める中学生・高校生および大学生の若者に対し、日本の若者の歌を通じて日本語を学ぶ楽しさを伝え、現場の先生方へは歌を通じた教授活動のデモンストレーションを行った。あわせて現地で「ブラジルの若者による日本の歌カラオケコンテスト」及び「教授活動デモンストレーションコンテスト」を実施し、優秀者数名ずつを選抜し、サンパウロで全国大会を実施。
17	日本語スピーチコンテスト全国大会	サンパウロ			2008.11.22	ブラジル各州（全8地区）で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施。一部の地区大会の支援も実施。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	CEL・CELEM教師研修(上級)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局、パラナ州教育局	2008.11.24 ~ 2008.11.25	サンパウロ及びパラナ両州教育局の運営する州立学校(中等教育課程)の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、教師の定期的研修(上級レベル)を実施。
19	公教育日本語支援事業(全国大学生)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.01.12 ~ 2009.01.23	ブラジル全国23の大学日本語講座より各1名を選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座に参加してもらい最新の教材と自律学習への指針を与えると同時に、各地大学日本語講座の交流と活性化を図った。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
20	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービス、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を行った。年間入館者数11,394名、貸出し冊数17,496冊。会員数1,612名。

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
21	箏曲宮城会演奏会	サンパウロ	SESC(商業連盟社会サービス)ピラ・マリアナ文化センター	SESC(商業連盟社会サービス)	2008.05.03 ~ 2008.05.04	SESC(商業連盟社会サービス)および日本国内の箏曲宮城会との共催で、SESCピラ・マリアーナ支部にて同会代表者15名編成による演奏会を実施。曲目は宮城道雄の作品を中心に紹介。
22	世界無声映画祭	サンパウロ	ブラジル・シネマテーク	ブラジルシネマテーク財団、ブラジル文化省	2008.08.08 ~ 2008.08.17	ブラジル・シネマテーク主催で同会場にて行われる世界の無声映画を紹介する上映会。日本の作品には音楽演奏者が参加、また溝口健二作品「愛の街」は弁士付きで上映。サンパウロ日本文化センターは弁士のサンパウロ宿泊費を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
23	寄席ブラジル公演	サンパウロ カンピナス	ブラジル日本文化福祉協会 カンピナス大学 劇場	ブラジル日本文化福祉協会	2008.08.17 ~ 2008.08.24	ブラジル国内の主に日系コミュニティを対象に、落語、紙切り及び局独楽のデモンストレーションを披露。8月17日はマリンガ市文化体育協会、20日はカンピナス大学芸術学部にてワークショップ及びカンピナス市日本文化協会にて公演、24日にサンパウロ市内ブラジル日本文化福祉協会（小講堂）にて公演。
24	国際会議（ブラジルにおける日本の精神的遺産について）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ・カトリック大学	2008.08.24 ~ 2008.08.27	宗教学が盛んなサンパウロカトリック大学が、日本移民百周年を記念する企画として、ブラジルにおける日本の宗教の100年史の中で、その過去から現在にかけての影響を検証するとともに、今後の展望を討論。
25	第6回エレクトロニカ国際電子音楽フェスティバル	ペロ・オリゾンテ市（ミナス・ジェライス州）	ペロ・オリゾンテ市パラシオ・ダス・アルテス文化センター	ペロ・オリゾンテ市文化局、ウジミナス製鉄所文化センター	2008.08.28 ~ 2008.08.31	ウジミナス製鉄所およびオイ電話会社の主催でペロ・オリゾンテ市パラシオ・ダス・アルテス文化センターにて行われる世界の現代電子音楽及びアヴァンギャルド・アートの紹介イベント。サンパウロ日本文化センターは作曲リビオ・トラテンベルグによる音響インストール設置費用を助成。
26	日本音楽集団公演	サンパウロ	SESC（商業連盟社会サービス） ピラ・マリアナ文化センター劇場	SESC（商業連盟社会サービス）	2008.08.30 ~ 2008.08.31	SESC（商業連盟社会サービス）の主催で同団体ヴィラ・マリアーナ劇場にて行われた日本の伝統邦楽器による現代音楽公演。サンパウロ日本文化センターは広報資料作成費を助成。
27	客員教授招へい	サンパウロ		サンパウロ大学日本文化研究所	2008.09.02 ~ 2008.10.10	サンパウロ大学日本文化研究所に稲賀繁美国際日本文化研究センター教授を短期招へい。大学院生らを対象に近代日本文化史の講義を実施。また、他大学との学術交流にも参加。
28	「魅力的な日本文化」展	サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会	ブラジル日本文化福祉協会	2008.09.06 ~ 2008.09.07	ブラジル裏千家の主催でブラジル日本文化福祉協会にて行われる陶芸・茶道・活花の展示会。サンパウロ日本文化センターは基調講演の通訳謝金を助成。

海外事務所

	事業名	都市	会場	助成機関	期間	事業内容
29	大総合美術展	サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会	ブラジル日本文化福祉協会	2008.10.08 ~ 2008.10.18	ブラジル日本文化福祉協会の主催で同協会にて行われる総合展示事業。サロン文協、文協美術工芸展、絵画具象グループの作品を一堂に展示。サンパウロ日本文化センターはカタログ作成費を助成。
30	100周年記念国際シンポジウム「日本・ブラジル文化交流—言語・歴史・移民」	サンパウロ		サンパウロ大学日本文化研究所	2008.10.14 ~ 2008.10.16	サンパウロ大学日本文化研究所の教授や学生らを対象に、ブラジル日系社会の将来を見据えた多様な分野の専門家による講演、ラウンドテーブル、大学院生報告セッション等を実施。
31	創造する伝統	サンパウロ、クリチバ、ブラジリア、ベロ・オリゾンテ、リオ・デ・ジャネイロ	ブラジル日本文化福祉協会、「創造する伝統実行委員会」	ブラジル日本文化福祉協会（11月27、28日）、クリチバ・ポジチーボ劇場（12月1日）、ブラジリア・フナルテ劇場（12月2日）、ベロ・オリゾンテ（12月4日）、リオ・デ・ジャネイロ（12月5日）	2008.11.27 ~ 2008.12.05	日伯交流年記念事業として「曼荼羅舞楽法会／日伯恒久平和・地球環境保全祈願」の公演。出演者は天台聲明音律研究会（10名）、真言法響会（11名）、東京楽所（16名）によって構成。文化庁主催事業。
32	ジャパン・エキスペリエンス	サンパウロ		ブラジル日本文化福祉協会		体験型複合日本文化紹介事業に対する助成。ワークショップ謝金に対して援助。
33	日本思想に関する第3回討論会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	カンピーナス大学 倫理学センター	2008.11.28 ~ 2008.11.29	サンパウロ・カトリック大学、カンピーナス大学で教鞭をとるZeljko Loparic教授を中心に活動している日本思想研究者グループによる第3回討論会。海外から3名のパネリストを招へい。

【後援事業】

	事業名	都市	会場	主催機関	期間	事業内容
34	徳江陽子ピアノリサイタル	サンパウロ	サンパウロ美術館、ヘブライカ・コンサートホール	在サンパウロ総領事館	2008.05.25 ~ 2008.06.15	サンパウロ美術館およびヘブライカ・コンサートホールにて日本人ピアニスト徳江陽子のリサイタルを実施。日本とブラジル両国の曲を演奏。
35	日本移民百周年「日本文化週間」	サンパウロ	サンパウロ市観光局アエンビー国際会議場	ブラジル日本人移民百周年事業委員会、ブラジル連邦政府文化省ほか	2008.06.13 ~ 2008.06.22	ブラジル日本移民百周年公式事業の一環として実施される「日本文化週間」の各事業に対する後援名義付与。同事業の制作過程にも協力。

## 【会場提供】

	事業名	会場	主催機関	期間	事業内容
36	シンポジウム：日本人移民100周年ー多様化する日系コミュニティのアイデンティティー	サンパウロ日本文化センター	ディスカバー・ニッケイ、ブラジル日本文化福祉協会、ブラジル日本研究教会、ブラジル日本移民史料館	2008.09.20	現在の日系コミュニティの抱える問題点やアイデンティティ、ブラジル社会への貢献などに焦点をあて、さまざまな経験をしてきた日系ブラジル人を招き、自らの体験談を語ってもらう講演会。全米日系人博物館のウェブサイト「ディスカバー・ニッケイ」による企画で、ブラジル日本研究協会、ブラジル日本文化福祉協会、ブラジル日本移民史料館の協力を実施。

## 【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	期間	事業内容
37	新規貸し出しパネル制作（「浮世絵展」）	2009.02.09 ～ 2009.03.31	浮世絵レプリカ70点による展示。貸し出し用に額装、運搬用木箱を作成。
38	ブラジル日本人移民百周年事業記念DVD、JBNテレビとの共同制作番組のDVD購入	2009.03.31	図書館、執務用、寄贈用にセット購入。貸し出し備品としても活用。

ロンドン日本文化センター

合計額 154,058,452 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ロンドン日本文化センター備付展示セット運営	ヨーク、エディンバラ、ウィッシュウ	ヨーク大学、エディンバラ大学、Clyde Valley High School-Wishaw	ヨーク大学、エディンバラ大学、Crewe and Nantwich County Council	2008.04.01 ~ 2008.12.31	ロンドン日本文化センター所有の「日本の世界遺産」展示パネルを貸与し、展示。

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	"Girlish Hardcore" to "Exchange": Shiroshima Hitsujiya & Friends	ロンドン	ロンドン日本文化センター	チャプター・アーツセンター	2008.04.01	指輪ホテルの主宰者、羊屋白玉ならびに、ダンサーの川口隆夫、尹明希の3人を迎え、指輪ホテルの活動内容や日本の演劇・ダンス事情、そして英国で公演される新作『Exchange』の紹介を行うトークを実施。
3	日本企業の社会貢献活動(CSR) 調査結果報告会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	パブリック・リソースセンター	2008.04.08	『英・仏・独における日本企業の社会貢献活動に関する調査報告書』の完成を記念し、調査結果報告会を実施。調査の報告を岸本幸子(パブリック・リソースセンター)が行い、福川恭子(ブラッドフォード大学ビジネス・スクール講師)及び加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)が講演。
4	Beyond Passage to the Future	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ウォルバーハンプトンアートギャラリー	2008.04.10	国際交流基金巡回展の関連事業として、Hayward Galleryの片岡真実を招へいし、新世代に所属する日本の現代美術作家の紹介ならびに日本美術の動向と今後の展望に関するレクチャーを実施。
5	シリーズ：日英交流を動かした人々第1回「Nagasaki and Madame Butterfly」	ロンドン	ロンドン日本文化センター	財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所	2008.06.11	江戸時代から明治期に活躍した、スコットランド出身の商人トーマス・B・グラバーに関する講演会。講師はブライアン・パークガフニィ(長崎総合科学大学教授)。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	公開ドラマリーディング 「うちやまつり」 (A Playreading of Uchiya Matsuri)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	トラバースシアター	2008.06.16	深津篤史『うちやまつり』の英語版戯曲のリーディングを、英国の俳優・演出家を招いて実施。リーディング後、深津篤史とKatherine Mendelsohn (Literary Manager, Traverse Theatre) との対談を実施。
7	Peter Cave Book Launch "Japanese Primary School and its Relevance for Britain"	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.30	ピーター・ケープ (マンチェスター大学講師) の日本の教育に関する著作出版記念講演会。同講師は、国際交流基金日本研究フェローとして訪日し、日本の初・中等教育について研究。
8	Japanese Cinema for Busy People II	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.07.09 ~ 2008.07.30	日本映画に関する全4回の連続セミナー。前年度実施した第1回が好評であったのを受けて第2回を実施。 7月9日：日本映画と政治・社会問題 7月16日：日本の大衆映画 7月23日：日本の独立系映画 7月30日：女性映画人たち
9	The Ear Doesn't Hear 'There', Always 'Here': Yukio Fujimoto in conversation with David Cunningham	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アイコンギャラリー	2008.07.10	藤本由紀夫 (サウンドアーティスト) と英国のアーティストDavid Cunninghamとの対談形式で、藤本の作品と思想を紹介するアーティストトークを実施。また、同氏が持参した小規模作品をセミナールーム内に展示し、トークの前に、実際に参加者に作品を体験してもらう機会を提供。
10	Japanese Cinema: Up Close and Personal	ロンドン	ロンドン日本文化センター (セミナー) およびパークバックシネマ (上映会)		2008.07.11 ~ 2008.07.13	British Film Instituteで開催される日本映画特集上映会「Japanese Gems」にあわせてセミナーを開催。佐藤忠男 (映画評論家) による基調講演の後、佐藤忠男、映画監督の橋口亮輔 (『ハッシュ!』)、想田和弘 (『選挙』) によるディスカッションを実施。後日、右2作品の上映会を実施。
11	第2回「Blue Eyed Samurai, Meeting Anjin」	ロンドン	ロンドン日本文化センター	財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所、全日本空輸、メドウェイ市	2008.09.11	江戸時代初期に、徳川家康の外交顧問としても活躍した三浦按針 (William Adams) に関する講演会。講師は、按針の菩提寺である浄土寺の住職、逸見道郎。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	Artists Open Doors : Japan/UK	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Centre for Research into Creation in the Performing Arts (ミドルセックス大学)	2008.09.26 ~ 2008.09.27	日英両国からダンスの専門家を招き、日英のコンテンポラリーダンスシーンとコンテンポラリーダンスを巡る文化・社会的問題を検証する2日間のシンポジウムを開催。また、日本人アーティスト ケンタローによる簡単なパフォーマンス及び勅使川原三郎の新作をビデオで紹介する機会を提供。
13	第3回「Sir Ernest Satow」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.10.14	明治時代の駐日英国公使、また、キリシタン版等の研究により日本学の基礎を築いたアーネスト・サトウに関する講演会。講師はイアン・ニッシュ (London School of Economics名誉教授)。
14	Japanese Cinema for Busy People II Special: The History and Development of Japanese Pink Film (by Japsper Sharp)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.12.03	British Film Instituteで実施された「Wild Japan」特集上映会に合わせ、日本のピンク映画ジャンルに関し、日本映画専門家Japsper Sharpによるレクチャー。今回の講義では、日本のピンク映画の特質と日本映画産業における貢献等に焦点を当て、日本映画の一面を担う同映画の歴史と発展を紹介。
15	公開ドラマリーディング "A Playreading of Halcyon Days" (「ハルシオン デイズ」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	キッチンシンクマシン	2009.01.16	鴻上尚史作『ハルシオン デイズ』の英語版戯曲のドラマリーディングを、現地の俳優・演出家を招いて実施。リーディング後、鴻上尚史とKenneth Rae (ロンドンギルドホール大学講師)による対談を実施。
16	第4回「Basil Hall Chamberlain - An Amused Guest In All」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.05	元東京帝国大学教授バジル・ホール・チェンバレンに関する講演会。彼の研究や生活、またラフカディオ・ハーンとの関係などを紹介。講師はリチャード・パウリング (ケンブリッジ大学教授)。
17	第5回「The Chosyu Five」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.13	幕末に英国に留学に来た、伊藤博文、井上馨ら「長州五傑」に関する講演会。講師はアンドリュー・コビング (ノッティンガム大学)。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	The Japanese Anime Weekend	ダブリン (アイルランド)	アイリッシュフィルム インスティテュート		2009.03.28 ~ 2009.03.29	アイルランド共和国ダブリンのIrish Film Instituteにて、日本アニメの上映ならびに、英国より日本アニメの専門家Helen McCarthyを派遣して講演会を実施。上映作品は、『Naruto』『Sword of the Stranger』『Metropolis』『Ghost in the Shell 2』の4本。
19	Lost and Revived: 19th Century Japanese Culture and the Kanda Festival	ロンドン	ロンドン日本文化センター	セインズベリー日本藝術研究所	2009.03.31	17世紀から始まり、江戸・明治期など時代とともに変質を遂げた日本の祭礼文化、神田明神祭の歴史、文化的変遷と社会背景についての講演。講師は、木下直之（東京大学文化資源学）。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	主催映画祭: Reality Fiction	ロンドン、ブリストル、シェフィールド、ベルファースト、エジンバラ	Insutitute of Contemporary Arts、ウォーターシェッド、ショールーム、Queen's Film Theatre、フィルムハウス	Institute of Contemporary Arts、ウォーターシェッド、ショールーム、Queen's Film Theatre、フィルムハウス	2009.02.06 ~ 2009.03.19	事実をベースとする日本映画作品の中から、秀作6本を選んで巡回上映を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	A-level Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	EDEXCEL	2008.04.25 ~ 2008.01.14	A-level（大学入学資格試験）に関する情報提供及びワークショップを実施。
22	英国日本語教育学会(BATJ)共催セミナー	ロンドン、カーディフ	ロンドン日本文化センター、ロンドン大学(School of Oriental and African Studies)、カーディフ大学	英国日本語教育学会	2008.05.17 ~ 2009.03.16	英国日本語教育学会と共催で日本語教育に関するセミナーを6回実施。
23	日本語教師研修会（教授法研修）	ロンドン、グラスゴー	ロンドン日本文化センター、Celtic Learning Centre他		2008.05.28 ~ 2009.01.21	英国の日本語教師を対象とした、日本語教授法、教材作成などをテーマとする研修会を実施。
24	Talking Contemporary Japan	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.05 ~ 2009.03.12	上級日本語学習者を対象に、日本語能力をブラッシュアップしながら日本文化について学ぶ講座を3ターム実施。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	StepOutNet Training Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.06.24 ~ 2009.03.16	日本語教育プロモーションのためのStepOutNet事業を担当するボランティア・グループのレベルアップを図るための研修・ワークショップを実施。
26	Nihongo Cup	ロンドン	在英国大使館	ジャパニーズ・ランゲージ・コミティ (Association for Language Learning) 在英国大使館	2008.06.28	英国の中等教育機関に在籍する日本語学習者を対象とする日本語スピーチコンテストを実施。
27	日本語教師研修会 (リフレッシャーコース)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2008.07.21 ~ 2008.07.25	ノンネイティブ日本語教師を対象とする5日間の日本語ブラッシュアップ・コースを実施。
28	Language Show	ロンドン	Olympia	JP-BOOKS	2008.10.31 ~ 2008.11.02	外国語教育に関する総合見本市に日本語ブースを出展。
29	GCSE Day	ロンドン	ロンドン日本文化センター	EDEXCEL	2008.11.14	GCSE (中等教育修了試験)に関する情報提供及びワークショップを実施。
30	大学生のための日本語スピーチコンテスト	ロンドン	ロンドン大学 (School of Oriental and African Studies)	英国日本語教育学会	2009.02.21	英国及びアイルランドの大学で日本語を学ぶ大学生を対象としたスピーチコンテストを日本語専攻の部と選択科目の部に分けて実施。
31	Head Start	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.02.23	日本語教育プロモーションのため、日本語教育未導入校の校長や外国語科の主任教諭を対象に、日本語の特性、各種サポートプログラムの紹介、導入校による事例紹介、初歩的なモデルレッスン体験などを実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ロンドン日本文化センターでは、日本語教育関係資料を中心に収集する図書館を運営。視聴覚資料含む資料数約8,000点。年間利用者数約1,700人。年間貸出点数約2,000点。

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	ウェブサイト運営	2008/04/01 ~ 2009/03/31	ウェブサイトをリニューアルの上、運営管理を行った。ウェブサイトは各種事業案内、公募事業案内等で構成。使用言語は英語。 年間アクセス数：138,155件。 URL：http://www.jpif.org.uk/
34	e-bulletin発行	2008/04/01 ~ 2009/03/31	国際交流基金事業や公募助成事業の案内をはじめ、日本文化紹介事業を伝えるメールマガジンを発行（毎月）。延べ29,828人に発送。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
35	日本研究・知的交流事業助成； University College Cork(Library Support)	コーク大学	2008.04.01 ~ 2009.12.31	コーク大学に対し、日本関係研究書購入費用の一部を助成。
36	文化事業協力助成； Transitions	ビリストンギャラリー	2008.04.04 ~ 2008.06.14	Bilston Galleryでのクラフト展の出品作家の一人として、日本からジュエリー作家の山田端子を招へい。作品展示とトークを実施。作品輸送費の一部を助成。
37	文化事業協力助成； Katherine Aoki, Hideko Inoue and Tomoko Takahashi	マーケットギャラリー	2008.04.11 ~ 2008.04.27	グラスゴーのビジュアルアートフェスティバルの一環として、日本より高橋知子（アンチクール）を招へい。ライブパフォーマンスとワークショップを実施。ワークショップにかかる経費の一部を助成。
38	日本研究・知的交流旅費支援プログラム； Brian Ayers		2008.05.20 ~ 2008.05.30	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成した。 対象者：Brian Ayers 所属機関：ノーフォーク博物館 研究テーマ：日本中世考古学
39	文化事業協力助成； Tiger Festival 2008	テラコッタフィルム	2008.05.29 ~ 2008.06.22	東アジアの映画上映を専門とするタイガー映画祭で、『嫌われ松子の一生』など2本の新作日本映画を上映。広報費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
40	日本研究・知的交流事業助成; How the East Asia media debates the Asian Past in the Present	ケンブリッジ大学	2008. 05. 31	ケンブリッジ大学主催のメディアの国際比較に関する会議に関し、参加者の宿泊費の一部を助成。
41	文化事業協力助成; Japan in Scotland III	トラバースシアター	2008. 06. 11 ~ 2008. 06. 17	劇作家の深津篤史を招へいし、エジンバラのトラバースシアターにて『うちやまつり』の公開ドラマリーディングならびに関連トークを実施。渡航費ならびに宿泊費の一部を助成。
42	文化事業協力助成; The Art of Kabuki	ヘイスティングミュージアム	2008. 06. 22 ~ 2008. 10. 05	Hasting Museum所蔵の浮世絵を整理し、初めて展覧会の形で一般公開。カタログ制作費の一部を助成。
43	文化事業協力助成; Chelsea Festival : Yoko Nishi Concert	チエルシーフェスティバル	2008. 06. 26	ロンドン、チエルシー・フェスティバルのプログラムのひとつとして、琴演奏者・西陽子のコンサートを開催。渡航費の一部を助成。
44	文化事業協力助成; Yukio Fujimoto: Lecture/Musical demonstration	アイコンギャラリー	2008. 07. 10 ~ 2008. 07. 20	サウンドアーティスト、藤本由紀夫の実演とトークを、バーミンガムのIkon Galleryで実施。交通費と宿泊費の一部を助成。
45	文化事業協力助成; Hardy Boys and Gilmore Girls : A Project by Artsts Jay Chung and Q Takeki Maeda	キュービットギャラリー	2008. 07. 11 ~ 2008. 08. 17	ドイツを拠点とする日本人と中国系アメリカ人のアーティストデュオ、Jay Chung and Q Takeki Maedaの個展。Q Takeki Maedaの渡航費ならびに宿泊費の一部を助成。
46	文化事業協力助成; Park Nights: Pavillion & Practice	サーペンタインギャラリー	2008. 07. 25	サーペンタインギャラリーのパビリオン建築の関連事業として、パビリオンや仮設建築をテーマに討論会を実施。日本からは、建築家の藤本壮を招へい。航空運賃の一部を助成。
47	文化事業協力助成; The Conquest of Imperfection : Masaki Fujihata exhibition	コーナーハウス	2008. 08. 22 ~ 2008. 10. 19	マンチェスターのコーナーハウスで、藤幡正樹の個展を開催。謝金の一部を助成。
48	文化事業協力助成; Netori and Homage to Leonin	エジンバラカレッジオブアート	2008. 08. 23 ~ 2008. 08. 28	エジンバラの植物園にて、日本人パフォーマンスグループNovia Liustraのサウンドスカルプチャーを紹介。Novia Liustraの交通費の一部を助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
49	文化事業協力助成; Colour out of Space	オープンミュージック	2008.09.05 ~ 2008.09.07	実験音楽を専門とする音楽フェスティバルのプログラムの一部として、巻上公一のコンサートを開催。航空運賃の一部を助成。
50	文化事業協力助成; Zen Calligraphy and Painting by Tesshu Yamaoka	ヴィクトリア&アルバート美術館	2008.09.03 ~ 2009.12.14	ヴィクトリア&アルバート美術館にて、山岡鉄州と関係者の書画の展覧会を開催。ちらし作成費の一部を助成。
51	文化事業協力助成; Ambient・Vista Residency (Shio Fukuhara)	アンビエンテ	2008.10.01 ~ 2008.11.30	ロンドンの芸術団体アンビエンテが、美術作家福原志保を招へいし、レジデンスプログラムと展覧会を実施。交通費ならびにカタログ制作費の一部を助成。
52	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Karolina Bieszczad-Roley		2008.10.04 ~ 2008.10.17	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Karolina Bieszczad-Roley 所属機関: プルネル大学 研究テーマ: 舞踏及び舞踏と写真の関係について
53	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Justin McGuirk		2008.10.30 ~ 2008.11.04	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Justin McGuirk 所属機関: Icon Magazine 研究テーマ: 現代日本デザインの状況
54	文化事業協力助成; Aurora 2008	オーロラ	2008.11.12 ~ 2008.11.15	Norwichで毎年実施されるアニメを初めとするあらゆるムービングイメージの映画祭に、恩田晃を招へい。ライブを行った。渡航費の一部を助成。
55	文化事業協力助成; Performance at First 2008 at Royal Opera House	チサトミナミムラカンパニー	2008.11.18 ~ 2008.11.19	ロンドンの振付家南村千里率いるダンスカンパニーが、ゲストダンサーを交えて、ロイヤルオペラハウスの招へいでダンス公演を実施。ゲストダンサーの謝金の一部を助成。
56	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Yu Zheng		2008.12.04 ~ 2008.12.06	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者: Yu Zheng 所属機関: ロイヤルハロウェイ大学 研究テーマ: マネジメントの移転について (中国における日本企業子会社の例)

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
57	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Shino Arisawa		2008. 12. 20 ~ 2009. 01. 11	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者：Shino Arisawa 所属機関：ロンドン大学 研究テーマ：日本における女性音楽家と伝統音楽
58	日本研究・知的交流旅費支援プログラム; Christopher Harding		2008. 12. 27 ~ 2009. 04. 16	在英国研究者等の訪日研究に際し、旅費を助成。 対象者：Christopher Harding 所属機関：エディンバラ大学 研究テーマ：1920-50年日本とインドにおける心理療法の先駆者及びその出現
59	文化事業協力助成; Pain Jerk UK Tour	ノーファイ	2009. 01. 20 ~ 2009. 01. 27	日本人ミュージシャン、Pain Jerkの英国コンサート。Pain Jerkの渡航費、謝金、日当の一部を助成。
60	文化事業協力助成; A Season of Japanese Contemporary Films 2009	ジャパンデスク・スコットランド	2009. 02. 13 ~ 2009. 03. 06	グラスゴー大学にて日本の現代映画の上映会を実施。会場費の一部を助成。
61	文化事業協力助成; Tomoo Hamada Residency at Leach Pottery	リーチポッタリー	2009. 03. 02 ~ 2009. 03. 14	バーナード・リーチの業績を記念した陶芸芸術センターに、濱田友緒を招へい。実演・ワークショップ、ならびに展覧会を実施。作品制作費の一部を助成。
62	日本研究・知的交流事業助成; Interrogating Okinawa, Meanings	シェフィールド大学	2009. 03. 06 ~ 2009. 03. 07	シェフィールド大学主催による「沖縄」をテーマとした研究大会（研究発表・音楽公演・映画会等）に対して、その費用の一部を助成。

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
63	英国ジャパン・ソサエティ連盟総会	ロンドン日英協会	2008. 06. 23	英国各地の日本協会代表者が一堂に会する年次情報交換会に対し会場等を提供。
64	In Harmony with All Creation: Miyazawa Kenji	ロンドン日英協会	2009/03/04	ロンドン日本協会の主催するロジャー・パルバースによる宮沢賢治に関する講演会に対し、会場を提供。

ブダペスト日本文化センター

合計額 48,476,702 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ブダペスト日本文化センター所蔵展示セット巡回展	ブダペスト(ハンガリー)、セゲド、ベオグラード(セルビア)	ターリフ劇場、ブダペスト市内公立小学校、ベオグラード国際図書展等		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センターが所蔵する「日本の現代建築」「日本の世界遺産」等の写真パネル、および「日本人形」「凧・独楽」をハンガリーおよび周辺諸国の団体に貸し出し、計12回の巡回展示を実施。
2	岡本由梨展覧会「オウムと詩人」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.06.27 ~ 2008.08.31	和紙や折り紙の伝統にヒントを得て、自らの拾い上げた日常の様々な印象や感動などを、紙を通して表現するフランス在住の日本人芸術家、岡本由梨の作品シリーズ「イメージの小箱」を展示。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	現代サーカス公演「Gai-Kotsu」	ブダペスト	現代芸術の館 (TRAFO)	TRAFO	2008.09.25 ~ 2008.09.27	フランスで活躍する日本人パフォーマン・アーティスト金井圭介のブダペスト公演を、会場である現代芸術の館 (TRAFO) と共催で実施。

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	講演会「日本におけるCSR」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.05.16	平成19年度知的交流フェローとして滞日研究を行ったKUN Attilaを講師に迎え、日本の企業の社会的責任に関する講演会を実施。
5	講演会「日本の伝統音楽」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.06.20	リスト音楽アカデミーで東アジアの楽器について研究するSALVI Nora氏を講師に迎え、日本の伝統音楽に関し、箏のデモンストレーションを交えた一般向けの講演会を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	講演会「日本における外国人移民労働者」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.07.03	DUX Laszlo (セゲド大学准教授) を講師に迎え、日本における外国人移民労働者の状況について一般市民向けの講演会を実施。
7	日本研究セミナー「日本の農業政策」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.09.17	日本の農業政策を専門とするBENET Ivan (セゲド大学准教授) を講師に迎え、関連する研究分野の学生及び研究者を対象としたセミナーを実施。
8	日本研究セミナー「現代日本社会」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.10.17	ウィーン大学日本学科において現代日本社会についての研究を行う Wolfram MANZENREITER 教授を講師に迎え、社会学及び現代日本に関連する研究を専門とする学生及び研究者を対象としたセミナーを実施。
9	講演会「ハンガリーにおけるジャポニズム」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.10.31	PAPP Katalin (国立西洋美術館学芸員) と GELLER Katalin (ハンガリー科学アカデミー研究員) による、ハンガリー美術史におけるジャポニズムの影響についての一般向け講演会。
10	建築講演会	ブダペスト	ハンガリー現代建築センター	ハンガリー現代建築センター	2008.11.15 ~ 2008.11.17	ハンガリー現代建築センターと共催で 浅利幸男 (建築家) の講演会を実施。
11	寄席文字レクチャー・デモンストレーション	ブダペスト	カーロリ・ガーシュパール大学及びエトヴェシ・ロラード大学講堂		2008.11.13 ~ 2008.11.14	平成20年度文化庁文化交流使である橘右門 (寄席文字書家) を講師としてロンドンから招へいし、カーロリ・ガーシュパール大学でのワークショップ及びエトヴェシ・ロラード大学での講演会を実施。
12	講演会「武道の思想」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.11.21	SZABO Balazs (エトヴェシ・ロラード大学博士課程学生) による、武道を中心とした日本思想史についての一般向け講演会。
13	講演会「温泉」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.01.16	平成19年度基金知的交流フェローとして訪日した RATZ Tamara (コドラーニ・ヤーノシュ大学観光学部准教授) による、日本の温泉文化、観光文化に関する一般向け講演会。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	講演会「神楽舞と舞踏について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.02.06	平成20年度基金内田フェローとして訪日したBATA Rita（舞踊家）が、同氏の創作に関連の深い神楽舞や舞踏について、訪日時々の活動報告を踏まえながら講演。

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本映画クラブ	ブダペスト	ウルクモズゴー映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2008.04.01 ～ 2009.03.31	ハンガリー国立フィルムアーカイブとの共催により、通年で毎月2回、欧州フィルムライブラリーの16mmフィルムを使用した日本映画上映会を実施。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家活動	ブダペスト及び中東欧諸国の主要都市			2008.04.01 ～ 2009.03.31	国際交流基金本部から派遣される日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家により、日本語教育関連の調査や日本語教師・日本語教育に関する支援活動を実施。
17	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育研修会	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.04.01 ～ 2009.03.31	ハンガリーにおける日本語教育の活性化および質の向上を目的に、ハンガリー各地の日本語教育従事者を対象として、日本語教授法、ハンガリー日本語教育事情等をテーマとした研修会を1年間で5回実施。
18	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教材作成事業	ブダペスト			2008.04.01 ～ 2009.03.31	年々増加するハンガリーの日本語学習者に向けた2冊構成の日本語教材の作成を実施。平成19年度から作成準備を開始、平成20年度は執筆・編集作業を行った。2011年に第一分冊を刊行予定。
19	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育シンポジウム	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.09.12 ～ 2008.09.13	「ハンガリー日本語教育のこれからを考える」をテーマとして、ハンガリーの日本語教育従事者による発表およびディスカッションを実施。



## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
20	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センターに併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施。所蔵図書：約11,310冊、会員数：3,711名、来館者数：月間約600人、貸出数は月間約480点。 日本語学習者、日本文化に関心のある若者にとって使いやすい図書館とするため、日本語教材や最新の日本の雑誌や図書に重点を置いて集書を実施。

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
21	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ブダペスト日本文化センター・ウェブサイト（ハンガリー語、日本語、英語で閲覧可能）を整備、拡充し、幅広い対象に向けた事業の広報を実施。 URL： <a href="http://www.japanalapitvany.hu/?setlang=ja">http://www.japanalapitvany.hu/?setlang=ja</a>
22	ニュースレター発行	2008.04.01 ~ 2009.03.31	事業の報告や案内を掲載したニュースレターを発行し、ハンガリー国内の関係機関に配布。

## 【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	日本語講座	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級から中級者を対象とした講座を8クラス開講。

## 【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	アニメコン参加	ブダペスト	ペトゥーフィ・チャールノク	ハンガリーアニメ協会	2008.09.27 ~ 2008.09.28	ハンガリーアニメ協会が主催するアニメファンのイベント「アニメコン」において、日本文化・日本語紹介イベント、及び写真パネルの展示を実施。

## 【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	第15回ブダペスト国際図書展	ブダペスト	ミレナーリシュ		2008.04.24 ~ 2008.04.27	第15回ブダペスト国際図書展の日本ブースにおいて、日本関係図書約2,000点を出展。
28	中東欧地域日本語教育ネットワーク会議	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009.02.14 ~ 2009.02.15	ブダペスト日本文化センターが管轄する中東欧諸国の日本語教育関係者をブダペストに招へいし、各国の日本語教育事情についての報告や意見交換、及びネットワーク構築に向けたディスカッションを実施。
29	東欧巡回日本映画祭	ブダペスト	ウルクモズゴー映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2009.02.09 ~ 2009.02.15	ハンガリー国立フィルムアーカイブとの共催により、本部フィルムライブラリー所蔵の35mmフィルムを使用した日本映画祭を実施。計7作品を上映。

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成機関	期間	事業内容
30	俳句本出版プロジェクト	ナプクート出版社	2008.04.01 ~ 2008.12.31	Napkut出版社による俳句をテーマとした書籍の出版に対する支援。
31	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 国際会議出席旅費助成		2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーの日本語教育関係者が国外での会議に出席し発表する際の旅費の一部を助成。
32	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 プロジェクトサポート	ハンガリー日本語教師会	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーで日本語教育を担う団体が実施するイベント（外国語教育フェスティバルへのブース出展など）に対し、経費の一部を助成。
33	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語講座給与助成	ハンガリー国内の高校、民間語学学校等	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハンガリーの日本語教育機関で、日本語講座の維持・拡大のために教員を新たに雇用する学校・大学などに対し、教員の給与の一部を支援。平成19年度に支援を開始した3機関とあわせ、平成20年度に新たに採用した7機関、計10機関に対して助成を実施。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
34	現代日本人芸術家4人展	MONOギャラリー	2008.04.29 ~ 2008.05.29	ブダペスト市内のギャラリーMONOが企画する、4人の日本人芸術家の作品展覧会に対する助成。
35	ハルチャ・ヴェロニカコンサート	ハルチャ・ヴェロニカ・カルテット	2008.05.24	日本をテーマに音楽活動を行っているハルチャ・ヴェロニカのコンサートに助成。
36	第4回東アジア展	アートハイカ芸術協会	2008.06.21 ~ 2008.07.06	アートハイカ古代芸術協会の主催による、日本および東アジアの陶芸を紹介する展覧会への助成。
37	ネクストマッシュルームプロモーション日本現代音楽公演	バルトーク音楽祭	2008.07.10	毎年夏に開催されるハンガリー有数の音楽祭バルトーク音楽祭にて公演を行う日本の現代音楽アンサンブル「ネクストマッシュルームプロモーション」の招へい旅費の一部を、主催団体であるフィルハーモニアブダペスト社に対して助成。
38	ハンガリー折り紙協会大会・展覧会	ハンガリー折り紙協会	2008.08.08 ~ 2008.09.30	ハンガリー折り紙協会が創設20周年を記念して国内外の折り紙専門家を招いて行う大会及び展示会に対し、経費の一部を助成。
39	現代建築写真「SENSAI」展	ZAPS(スロヴェニア建築・空間設計協会)	2008.09.01 ~ 2008.09.30	スロヴェニア・リュブリャナで行われる現代日本を代表する建築作品の写真や資料を集めた展示会の作品輸送費の一部を助成。
40	現代日本美術展	Europa Authentica協会	2008.10.04 ~ 2008.10.25	日本で活躍する若手芸術家の作品約30点を集めてブダペスト市内のギャラリーで行われる展覧会に対し、カタログ作成費の一部を助成。
41	日本文化と武道フェスティバル	Goshinkan武道連盟	2008.10.07 ~ 2008.10.22	武道団体が主催して行われる日本文化紹介イベントに対し、会場借料と広報費の一部を助成。
42	国際盆栽フェスティバル	大学盆栽クラブ	2008.10.17 ~ 2008.10.18	ブダペスト市動植物園で開催される国際盆栽フェスティバルに主催する大学盆栽クラブに対し、国外の盆栽作家招へい旅費の一部を助成。
43	ボスニア折り紙ワークショップ	ボスニア・日本友好協会(ボスニア・ヘルツェゴビナ)	2008.10.27 ~ 2008.10.28	英国在住の折り紙専門家を招へいしてボスニアで行われる折り紙のワークショップに対し、専門家旅費の一部を助成。
44	日本人若手女性写真家展覧会	ルーメン写真協会	2008.11.01 ~ 2009.01.31	日本で活躍する20代の若手女性写真家3名の写真展について、写真家の招へい旅費の一部を、主催者であるルーメン写真協会に対して助成。
45	ジャズフェスティバル "Alternativa 2008"	Uni jazz文化活動支援協会(チェコ)	2008.11.27	日本人ジャズアーティストを招いて行われるチェコのジャズフェスティバルに対して助成。

海外事務所

	事業名	助成機関	期間	事業内容
46	日本人DJコンサート	Music Moon Kft.	2008.12.06 ~ 2008.12.13	ブダペスト市内で行われる、ハンガリーで著名な日本人DJ Ishihara Shigeruとハンガリー音楽家の共同公演に対して助成。
47	『八百万の神』：大場めぐみ 公演・展覧会	TUV Rheinland Hungaria Akademia財団	2009.02.02 ~ 2009.02.28	日本の舞踏家大場めぐみの写真展及びハンガリーの舞踏家との共同公演に対して助成。
48	『春の音』日本ハンガリー友好 コンサート	シュディ・アンド・カンパニー	2009.03.20	リスト音楽院に留学中の日本人とハンガリー人学生による、クラシック音楽を通じた両国の交流を目的としたジョイントコンサートに助成。

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	都市	期間	事業内容
49	日本文化紹介DVD貸出		2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本に関連する事業を実施する外部団体に向けて、事務所が所有する日本紹介映像のDVDを貸与。

モスクワ日本文化センター

合計額 70,752,460 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	細江英公『死の灰』展覧会	モスクワ	ストロガノフ記念モスクワ国立芸術産業大学	ストロガノフ記念モスクワ国立芸術産業大学	2009.03.16 ~ 2009.03.30	世界的に高い評価を得ている現代日本写真の代表的な作品を紹介。 関連事業として、3月16日細江英公、木田俊一（染め摺り師）のトークショーを実施。

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本文化・日本文学連続講義	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.02.19 ~ 2009.03.13	平成20年春の旭日小綬章受章者で、「源氏物語」の翻訳者として著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュエシナ（日本文学者、翻訳家）による4回の日本文化、日本文学に関する講義を実施。また三遊亭楽麻呂（落語家）による落語についての特別講義を1回実施。

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	日本語講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2008.11.21 ~ 2009.03.28	「源氏物語」の翻訳者として著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュエシナ（日本文学者、日本語教師）を講師に迎えて、主に初級者を対象にした日本語講座（初級前期、初級中期、初級後期、初中級の4クラス）を実施。

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
4	図書館運営	2009.01.27 ~ 2009.03.31	2009年1月27日に開館。 集書方針は、あらゆる分野における日本関連のロシア語訳、欧米語訳、日本語文献で、情報の新しいもの。 貸出しは開始していないため、会員はなし。 蔵書数401点；視聴覚資料30点；来館者数550名。

## 【教室事業】

	事業名	期間	事業内容
5	生花講座	2008.12.03 ~ 2009.03.19	草月、池坊各流派による生け花講座を実施。
6	折り紙講座	2008.12.06 ~ 2009.03.28	モスクワの折り紙クラブより講師を1名招いて、毎週土曜日に実施。

カイロ日本文化センター

合計額 45,493,141 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	木下和個展	カイロ	カイロ・オペラハウス ギャラリー	カイロ・オペラハウス	2009.01.01 ~ 2009.01.10	長年にわたりエジプトを旅し風物を油絵に描いてきた画家、木下和の作品展を開催。
2	浮世絵セット作成・貸出	サナア (イエメン)		在イエメン大使館	2008.08.02 ~ 2008.08.07	リトグラフの浮世絵を簡易額装し、イエメンの日本文化週間のために貸出。

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	津軽三味線・尺八コンサート	カイロ	カイロ・オペラハウス 小ホール	カイロ・オペラハウス	2009.03.23	山中信人（津軽三味線奏者）、小濱明人（尺八奏者）を日本より派遣、コンサートを実施。

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本の写真芸術に関するセミナー	カイロ アレキサンドリア	El Sawy Culture Wheel Alexandria Center of Arts	El Sawy Culture Wheel Alexandria Center of Arts 日本写真家協会	2008.07.28 ~ 2008.08.05	巡回展「現代日本の写真展」にあわせて、日本写真家協会と共催で平木収（写真評論家）をエジプトに派遣。カイロ、アレキサンドリアの展示会場において展覧会の展示内容に即したレクチャーを実施。
5	日本文学研究サロン	カイロ	カイロ日本文化センター		2008.12.15	アインシャムス大学客員教授として派遣されている浦田義和（佐賀大学教授）を講師に招き「日本近代文学とジェンダー—太宰治文学と女性」という演目で講演会を実施。進行とコメントーターはカイロ大学文学部のアハメド・ファトヒ准教授。

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	中東日本語教育セミナー	カイロ	Flamenco Hotel	中東日本語教師連絡会	2008.08.24 ~ 2008.08.25	中東地域の日本語教師を対象とした、スキルアップとネットワーク強化を目的としたセミナーをカイロにて実施。
7	日本語能力試験成績優秀者表彰式	カイロ	カイロ・オペラハウス		2009.03.14	日本語学習奨励を目的に、平成20年度日本語能力試験カイロ受験者の合否通知手交と各級の成績優秀者表彰を実施。

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
8	図書館運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	カイロ日本文化センター内スペースにて図書館を運営。週5日間（金・土曜日休館）。

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	広報誌『WAVES』作成	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国際交流基金の活動を広く紹介するとともに、基金事業と関連づけた日本情報を提供することを目的に、年2回、広報誌『WAVES』を発行。
10	ウェブサイト運営	2008.04.01 ~ 2009.03.31	カイロ日本文化センターの事業紹介、募集案内などを随時更新。英語・アラビア語の2言語で配信。 URL : <a href="http://www.jfcairo.org/">http://www.jfcairo.org/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	カイロ日本文化センター 初級日本語講座				2008.04.01 ~ 2009.03.31	3年間で6つのレベルを修了する設計で、初級レベルの日本語講座を運営。
12	カイロ日本文化センター 中級・上級日本語講座				2008.04.01 ~ 2009.03.31	初級修了者のために、更に高い日本語運用能力の修得を目的とした中級および上級の日本語講座を運営。



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	アレキサンドリア日本語講座	アレキサンドリア	ファロス大学	アレキサンドリア名誉領事館	2008.04.01 ~ 2009.03.31	エジプト第二の都市アレキサンドリアにおいて、2007年より開設した日本語講座の運営。アレキサンドリア名誉領事館との共催で、ファロス大学の施設を借用して実施。基金は専任講師1名を派遣。

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	華道講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2008.04.01 ~ 2009.03.31	未生流の専門家を講師に迎え、各回5回のコースを年4回実施。
15	折り紙講座	カイロ	El Sawy Culture Wheel	El Sawy Culture Wheel	2008.07.01 ~ 2009.03.31	カイロの民間文化施設、El Sawy Cultural Wheelにて、3回で修了するコースを四半期毎に開催。
16	凧ワークショップ	アレキサンドリア	Atelier Alexandria, Qaitbay Fort	Bibliotheca Alexandrina	2008.07.08 ~ 2008.07.09	アレキサンドリア市において、児童を対象とした凧制作のワークショップを開催。基金スタッフが日本の凧制作を、エジプト人専門家がエジプトの凧制作を指導。
17	お茶会	カイロ	カイロ日本文化センター	茶道同好会	2008.12.02 2009.03.03	カイロ在住日本人を中心とする茶道同好会によるデモンストレーションを開催。秋と春の年2回実施。
18	日本文化祭（ファロス大学）	アレキサンドリア	Phalos University	Phalos University	2009.02.22 ~ 2009.02.23	アレキサンドリア市の私立大学ファロス大学の要請に応じ、二日間の総合日本文化紹介イベントを、主に同大学の学生を対象に実施。中近東フィルムライブラリー所蔵の映画上映、折り紙ワークショップ、茶道体験、日本語レッスン、日本関連書籍展示を実施。